

配布資料一覧

議題1	資料1-1	令和7年度におけるスポーツ団体に対する補助(案)
	資料1-2	令和7年度スポーツ関連当初予算(案)一覧表
議題2	資料2-1	令和7年度和歌山県生涯スポーツ振興基本方針(案)
	資料2-2	令和7年度和歌山県競技力向上対策基本方針(案)
議題3	資料3	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における運動・スポーツに対する愛好度について
報告事項1	資料4	令和6年度における本県スポーツの成果と課題について
報告事項2	資料5	和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケートの結果報告について
報告事項3	資料6	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果等について
報告事項4	資料7	全国高等学校総合体育大会及びヨット競技大会について
報告事項5	資料8	学校(運動)部活動の地域連携・地域移行について
報告事項6	資料9	パリ2024オリンピック・パラリンピック本県出場者の結果について
報告事項7	資料10	第78回国民スポーツ大会総合成績について
報告事項8	資料11	第23回全国障害者スポーツ大会における和歌山県選手団の競技結果について

令和7年度におけるスポーツ団体に対する補助

本県のスポーツの振興及び奨励並びに施設の充実を促進することを目的とする事業について補助を行う。

補助先団体名	補助対象事業	金額 (単位:千円)
公益社団法人和歌山県スポーツ協会	国民スポーツ大会・近畿ブロック大会派遣	78,780
	和歌山県スポーツ少年団総合競技大会	530
	スポーツ振興推進	17,208
	トップアスリート育成	109,247
	コーチスキルアップ	6,017
	計	211,782
各ハイスクール強化校運営委員会	ハイスクール強化校指定	16,000
各市町村体育協会等	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝選手派遣	867
和歌山県障害者スポーツ協会	障害者スポーツ振興 (各部会活動及び大会開催)	400
公益社団法人和歌山県スポーツ協会への加盟団体等	スポーツ振興助成(スポーツ大会開催)	3,500
近畿スポーツ推進委員研究協議会事務局	令和7年度近畿スポーツ推進委員研究協議会	500
和歌山県高等学校体育連盟	高等学校体育・スポーツ振興	2,465
	全国高等学校総合体育大会関係会議等派遣費補助	300
和歌山県中学校体育連盟	中学校体育・スポーツ振興	710
和歌山県盲学校・ろう学校体育振興会 和歌山県特別支援学校体育連盟	特別支援学校体育・スポーツ振興	259
	第42回近畿盲学校水泳競技大会	140
全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会 和歌山県実行委員会	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会	21,270

【参考：関係法規】

◇スポーツ基本法(平成23年度法律第78号)

(地方公共団体の補助)

第34条 地方公共団体は、スポーツ団体に対し、その行うスポーツの振興のための事業に関し必要な経費について、その一部を補助することができる。

(審議会等への諮問等)

第35条 国又は地方公共団体が第33条第3項又は前条の規定により社会教育関係団体(社会教育法(昭和24年法律第207号)第10条に規定する社会教育関係団体をいう。)であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第9条第2項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会(特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務(学校における体育に関する事務を除く。)に係る補助金の交付については、その長)がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。この意見を聴いた場合においては、同法第13条の規定による意見を聴くことを要しない。

◇社会教育法(昭和24年法律第207号)

(社会教育関係団体の定義)

第10条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

(審議会等への諮問)

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が審議会等(国家行政組織法(昭和23年法律第120号)第8条に規定する機関をいう。第51条第3項において同じ。)で政令で定めるものの、地方公共団体にあっては教育委員会が社会教育委員の会議(社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関)の意見を聴いて行わなければならない。

令和7年度スポーツ関連当初予算一覧表

(単位:千円)

事業名		令和6年度	令和7年度	増減	事業内容
1	障害者スポーツ振興	29,125	31,273	2,148	障害者スポーツの振興、障害者の自立及び社会参加を促進するため、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣や、各種スポーツ大会等の開催を行う。
2	和歌山県タレント発掘・育成	12,367	13,947	1,580	トップアスリートを目指す優れた素質を有する子どもを対象に、育成プログラムを実施する。競技団体と連携し、県内の児童・生徒に競技選択・競技転向の機会を提供する事業を実施する。
3	国民スポーツ大会・近畿ブロック大会派遣	82,857	78,780	▲ 4,077	県スポーツ協会が行う国民体育大会及び同近畿ブロック大会への本県選手派遣に対し補助する。
4	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催	18,732	19,977	1,245	市町村対抗ジュニア駅伝競走大会を開催し、児童生徒の体力向上に資するとともに、地域におけるスポーツ気運の醸成を図る。
5	広域スポーツセンター育成	811	811	0	「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成に関し、適切な指導、助言、その他必要な支援を行う。
6	スポーツ管理運営	46,417	49,249	2,832	本県のスポーツの振興を図るため、スポーツに関する各事業に補助を行うとともに、各種事業を開催する。
7	三四六総合運動公園管理運営	50,870	192,430	141,560	三四六総合運動公園のうち、旧南紀スポーツセンター部分に係る施設の維持管理に対する支援を行う。
8	スポーツキャンプ誘致の推進	5,750	11,312	5,562	県内で行う国内外ナショナルチームのキャンプをサポートするとともに、トップレベルスポーツ選手との交流を通じて、県民のスポーツに対する意識や関心の向上、促進を図る。
9	トップアスリート育成	111,861	116,342	4,481	ジュニア選手発掘に始まるジュニア・少年・成年の一貫指導体制による計画的・戦略的強化により、国民スポーツ大会の入賞やオリンピック等の日本代表選手の輩出などトップアスリートを育成する。
10	コーチスキルアップ	6,015	6,017	2	各競技の中心的指導者にコーチングスキルを向上させるシステムを構築する。併せて、次世代の強化を担う指導者を養成するシステムも構築する。
11	スポーツ医・科学サポート	18,091	19,128	1,037	紀の国わかやま国体に向けて構築したスポーツ医・科学サポートの内容や連携関係を継承するため、トレーナー・ドクター派遣、マルチサポート、医・科学サポートを引き続き行う。
12	さあ スポーツだ！プロジェクト	9,487	9,987	500	生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、わかやまりレーマラソンの開催や、マスターズスポーツ体験会を実施する。
13	ハイスクール強化校指定	16,000	16,000	0	本県高校生の競技力向上を図り、県全体のスポーツ強化に繋げる。
14	マスターズスポーツ推進	0	2,116	2,116	スポーツを核とした「元気な和歌山」を実現するため、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催準備を進めるとともに、各スポーツ大会等と連携した「関西マスターズゲームズ2025」を開催する。
15	県立体育館・武道館維持運営管理	66,046	73,438	7,392	県立体育館、県立武道館の運営管理及び設備改修工事を行う。
16	和歌山ビッグ愛・ビッグホエール・ビッグウエーブ維持運営管理	526,504	575,459	48,955	和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホエール及び和歌山ビッグウエーブの運営管理及び設備改修工事を行う。

令和7年度スポーツ関連当初予算一覧表

(単位:千円)

事業名	令和6年度	令和7年度	増減	事業内容
17 ジュニアハイスクール指定	6,600	0	▲ 6,600	本県中学生の競技力向上を図り、県全体のスポーツ強化に繋げる。
18 第78回国民スポーツ大会近畿ブロック大会開催	38,553	0	▲ 38,553	国民スポーツ大会近畿ブロック大会開催に対する補助。
19 サポートセンタースポーツ施設運営	31,378	28,583	▲ 2,795	県障害児者サポートセンターのプールを適切に管理・運営する。
20 学校体育等指導	5,966	6,298	332	児童生徒の体力向上を図るため体力調査を行い、結果の分析に基づく施策を実践する。 ※組織改編により和歌山・海プロジェクト等追加
21 運動部活動推進	60,442	66,318	5,876	部活動指導員の配置や各種学校体育大会の運営及び選手派遣に対する助成を行う。
22 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催	21,270	21,270	0	高校生を中心に積極的な支援活動を行い、心に残る大会とするとともに、和歌山の魅力を引き続き全国に発信する。(令和6年度まで固定開催)
23 令和8年度全国高等学校総合体育大会開催準備	2,800	22,643	19,843	令和8年度インターハイにおいて本県で実施する競技の開催準備を行う。
合計	1,138,817	1,330,105	191,288	

令和 7 年度 和歌山県生涯スポーツ振興基本方針（案）

1 目的

いつでも、どこでも、いつまでも、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に生涯にわたってスポーツに親しめるよう各種スポーツ大会の開催、スポーツ少年団事業、総合型地域スポーツクラブの育成、指導体制の確立等を充実する。

また、生涯スポーツ振興の観点から市町村を支援し、地域のスポーツ活動のより一層の推進を図る。

2 関係事業等**(1) スポーツに親しむ機会の充実**

県民の誰もが、それぞれの体力、年齢、技能、興味及び目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも、ともにスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ大会や各地域で行われるスポーツイベント、各職場等におけるスポーツ大会などを後援するとともに、その充実を図る。

(2) スポーツ少年団事業の推進

「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供する」「スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる」「スポーツで人々をつなぎ地域づくりに貢献する」というスポーツ少年団の理念に基づき、各種大会や交流事業を推進し、スポーツ少年団組織の充実と青少年の健全育成を図る。

① スポーツ少年団総合競技大会

各地方の代表が集い、交流大会を通じて団員同士の交流を図ることで、青少年の自主性や社会性を育てる。

② 指導者及びリーダーの育成

単位団の育成・指導にあたる指導者及びリーダーの育成を図る。

③ 組織整備強化事業

各地方のスポーツ少年団活動を積極的に促進するために、県スポーツ少年団指導者協議会の充実を図る。

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成事業の推進

生涯スポーツ社会の実現を図るため、子供から高齢者まで誰もが気軽に参加でき、定期的・継続的に活動できる場として、総合型地域スポーツクラブの育成を推進する。

(4) 広域スポーツセンター

総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動全般について効果的・効率的に支援を行う。

- ・「総合型クラブ」の創設・育成と登録認証制度に関する支援
- ・クラブマネジャー・指導者育成に関する支援
- ・スポーツ情報の提供
- ・「総合型クラブ」のスポーツ交流大会等の開催

(5) 指導者体制の確立

コーチングアシスタントやスタートコーチ（教員免許状所持者・スポーツ少年団）等の公認スポーツ指導者資格（公益財団法人日本スポーツ協会）や公認パラスポーツ指導者資格（公益財団法人日本パラスポーツ協会）の取得を促すとともに、ライフステージに応じた各種スポーツの機会に携わる指導者の資質・指導力向上のため、講習会や研修会を開催する。

(6) 障害者スポーツの振興

障害の有無に関わらず、スポーツは生きがいづくりや地域コミュニティ形成、健康増進等の面から重要であり、県では県障害者スポーツ大会等各種スポーツ大会の開催や、指導員の配置などを実施し、障害者スポーツの振興を図る。

(7) スポーツへの参加促進

① スポーツクラブ等の育成

地域における日常的なスポーツ活動を促進するため、スポーツ少年団をはじめ地域のスポーツクラブを育成する。

② 第25回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

第25回大会を開催し、児童生徒の体力向上に資するとともに、地域におけるスポーツ機運の醸成を図る。（令和8年2月開催）

③ さあスポーツだ！プロジェクト

生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、「スポーツをやってみよう！」と呼びかけを実施するとともに、リレーマラソンや各種スポーツ体験会の開催等、スポーツにふれ合う機会を創出する。

④ ワールドマスターズゲームズ2027 関西の機運醸成

大会の機運醸成、知名度向上（広報PR等）、参加者獲得に向けた取り組みを中心に実施する。

県内開催競技 5競技7種目

陸上競技（ハーフマラソン、駅伝）、ダンススポーツ、セーリング（セーリング、ウインドサーフィン）、射撃（ライフル）、バレーボール（インドア）

⑤ 関西スポーツ振興推進協議会・関西広域連合実施事業への参画

関西経済連合会が実施している関西スポーツ振興ビジョン、関西広域連合が実施している関西広域スポーツ振興ビジョンの取り組みに参画する。

⑥ スポーツキャンプ誘致の推進

国内外ナショナルチームのキャンプをサポートするとともに、トップレベルスポーツ選手との交流を通じて、県民のスポーツに対する意識や関心の向上、促進を図る。

令和7年度誘致予定：東京2025世界陸上出場国 等

令和7年度

和歌山県の生涯スポーツ振興事業の予算(案)概要

スポーツ協会事業

県事業

広域スポーツセンター育成 (811千円)

総合型地域スポーツクラブの育成支援

- 創設クラブ 県内20市町に60クラブ(設置準備中含む)
- 事業内容 ・総合型クラブ和歌山県協議会の運営支援
・クラブマネジャー等の運営者育成
・各ブロック別事業の開催
・登録認証制度に係る会議の開催及び円滑な運営

総合型地域スポーツクラブ指導者等研修会

- スポーツ少年団、総合型クラブ、スポーツ推進委員等を対象としたスポーツ振興に係る研修会

スポーツ協会事業

スポーツ少年団活動への支援 (530千円)

第56回和歌山県スポーツ少年団総合競技大会

- 開催地 東牟婁・西牟婁地方
- 実施競技 軟式野球、サッカー、バレーボール、剣道、柔道
少林寺拳法

県事業

障害者スポーツの振興 (31,273千円)

第24回和歌山県障害者スポーツ大会

- 開催地 紀三井寺陸上競技場 他
- 実施競技 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング
ポッチャ

各種スポーツ大会及び教室や指導員の配置など

県事業

青少年の健全育成、スポーツに親しむ気運の醸成

第25回和歌山県市町村対抗

ジュニア駅伝競走大会 19,977千円

- 開催日 令和8年2月8日(日)<予定>
- 区間・距離 10区間、21.1km
- チーム編成 小学生男女各2名、中学生男女各3名
- 出場チーム 市町村代表 45チーム程度

「さあ スポーツだ！プロジェクト」 9,987千円

- リレーマラソンの開催 令和7年11月23日(日)
- マスターズスポーツ体験会の開催(2回実施)

「ワールドマスターズゲームズ2027関西の機運醸成」

大会の機運醸成、知名度向上(広報PR等)

- 県内開催競技 5競技7種目
陸上(ハーフマラソン、駅伝)、ダンススポーツ、
セーリング(セーリング、ウインドサーフィン)、
射撃(ライフル)、バレーボール(インドア)

「スポーツキャンプ誘致の推進」 11,312千円

- 国内外のナショナルスポーツチーム等のキャンプ誘致を実施することにより、県民のスポーツに対する意識や関心を一層高める。

上記の青色部分は県スポーツ協会の実施事業。ただし、オレンジ色部分は県事業

令和 7 年度和歌山県競技力向上対策基本方針

1 目 的

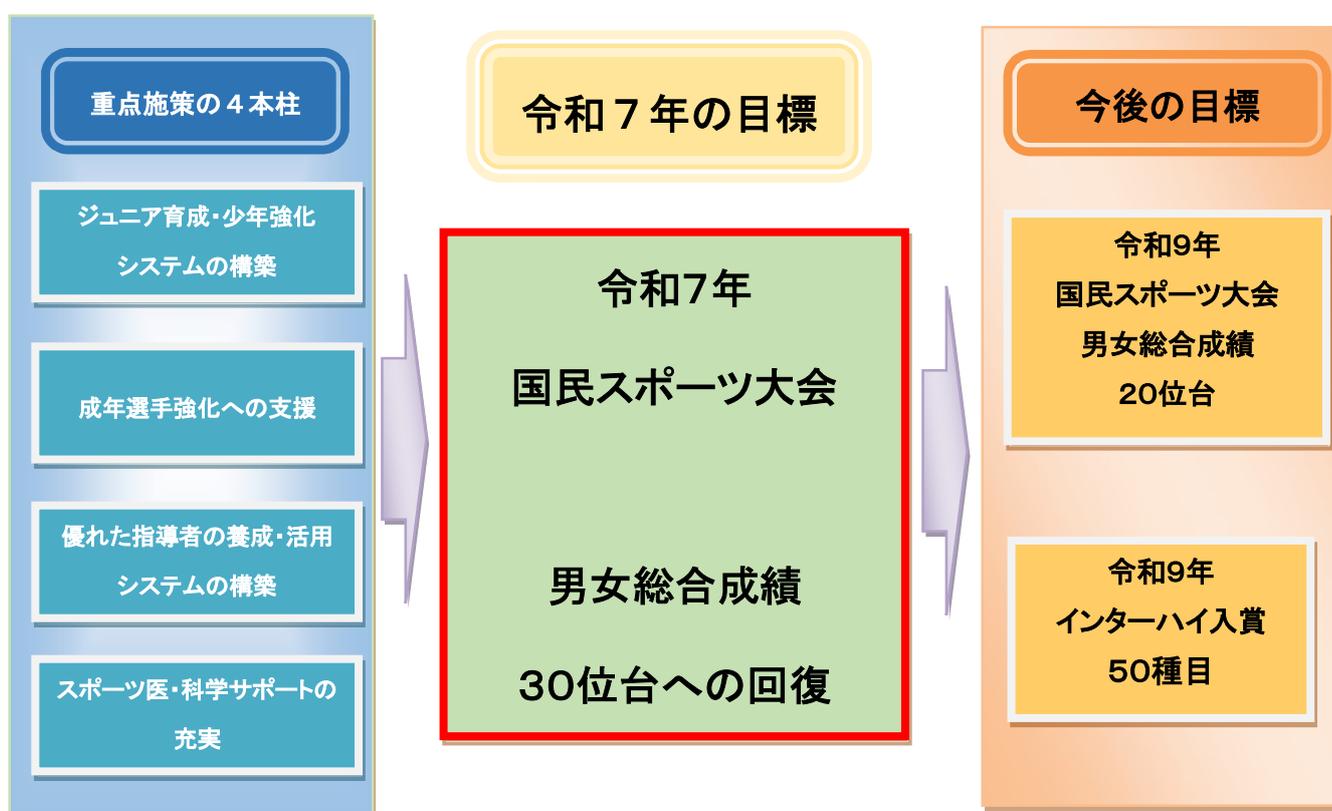
本県を代表する競技者が、国際競技大会や全国大会で優秀な成績を収めることは、多くの県民に夢と感動を与え、郷土愛を育み、元気な和歌山を実現するとともに、本県のスポーツ振興に大きく寄与するものである。

よって、今後も関係機関・団体と連携した効果的な育成、強化事業を展開することで、本県の競技力を向上させる。

2 方 策

関係機関・団体と連携し、競技力の向上施策に取り組んできたが、令和 6 年佐賀国民スポーツ大会において、男女総合成績は 47 位と 2004 年の埼玉国体以来 20 年ぶりの最下位となった。

今後、以下に掲げる目標の達成に向けて、県、県スポーツ協会及び関係機関・団体が連携して重点施策の 4 本柱からなる競技力向上施策を更に推進していくこととする。



1 ジュニア選手育成・少年選手強化システムの構築

紀の国わかやま国体に向けてターゲットエイジを発掘・育成・強化してきたノウハウを活かし、ジュニア選手育成・少年選手強化システムを構築する。そして、成年種別の活躍へと繋げる。

(1) ジュニア・少年・成年強化〔ジュニア・少年〕

国スポの少年種別選手や成年種別のふるさと選手として活躍する選手を育成するため、国スポ実施競技を対象に年間を通じて発掘事業、強化合宿、県外遠征等を実施し、ジュニア選手の育成を図る。

また、国スポの少年種別において優秀な成績を収めるため、国スポ実施競技を対象に年間を通じて県外遠征や強化合宿等を実施し、競技力の向上を図る。

(2) 和歌山県タレント発掘・育成事業〔ジュニア〕

○ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

トップアスリートを目指す優れた素質を有する子どもを、「ゴールデンキッズ」として認定し、計画的・継続的に育成プログラムを実施する。

○スポーツマッチングプロジェクト～やっ Cha る!!～

幅広いこどもが様々な競技スポーツを体験することにより、自分の運動機能の特性や適性を発見することのできる「選択と機会」の場を提供する。

(3) スペシャルアスリートサポート〔少年〕

トップレベルの競技力を有する本県の国スポ少年種別選手やオリンピック競技大会を目指す選手を支援し、競技力の向上を図る。

(4) ハイスクール強化校指定事業〔少年〕

県内の高等学校運動部を特別に指定し、当該競技の強化拠点となる活動を展開させるとともに、競技力の向上を図る。

2 成年選手強化への支援

国スポに向けた競技団体の強化事業、成年強化の母体となって活動している企業チームやクラブチームの活動維持等について支援する。

(1) ジュニア・少年・成年強化

国スポの成年種別において優秀な成績を収めるため、国スポ実施競技を対象に年間を通じて県外遠征や強化合宿等を実施し、競技力の向上を図る。

(2) スペシャルアスリートサポート

トップレベルの競技力を有する本県の国スポ成年種別選手やオリンピック・パラリンピック競技大会を目指す選手を支援し、競技力の向上を図る。

(3) トップレベル・スポーツクラブ活性化支援

スポーツクラブの運営組織・財政基盤の確立を促進するとともに、トップレベルの競技力を有するスポーツクラブとして、企業・行政・地域住民の支援によるクラブの自立を目指す。

(4) きのくにふるさと選手派遣

本県小学校、中学校、高等学校を卒業した『ふるさと選手』の中から、全国で活躍する選手を指定し、国スポの県代表選手選考会に出場する環境を整える。

3 優れた指導者の養成・活用システムの構築

各競技の中心的指導者を対象に、コーチングスキルを向上させるシステム及び次世代の強化を

担う指導者を養成（公認指導者資格取得を含む）するシステムを構築する。

（１） トップ強化コーチ招へい

中央競技団体等の優秀な指導者を招へいすることにより、高度な技術や戦略等を習得する。

（２） コーチ派遣育成

優秀な指導者の養成及び資質向上のため、「チーム和歌山コーチ塾」等を開催する。

また、次世代の強化を担う指導者を「きのくにコーチ」として任命し、県内や全国各地で開催される研修会、国内優秀指導者の下での短期研修、国スポ強化チームの強化合宿、県外遠征、全国大会等に派遣し、優れた指導者を養成する。

4 スポーツ医・科学サポートの充実

紀の国わかやま国体に向けて構築したスポーツ医・科学サポートの内容や関係機関との連携を継承する。

（１） トレーナー・ドクター派遣

国スポ、近畿ブロック大会、強化練習・遠征にトレーナーやドクターを派遣する。

（２） マルチサポート

専門機関によるアンチ・ドーピング活動、スポーツ歯科サポート、女性アスリートサポートを実施する。また、専門機関や競技団体との連携強化を目的とした各種会議、講習会を開催する。

（３） 医・科学サポート

専門機関において、メディカルチェック等の医・科学チェックを受けるとともに、トレーニングや心理等の医・科学支援を受ける。

令和7年度

和歌山県の競技力向上関連事業の予算概要

合計 171,434千円 (170,934千円)

スポーツ協会・県事

トップアスリート育成事業

116,342千円

- 1 ジュニア・少年・成年強化
競技団体が実施する遠征、強化合宿等の強化事業への補助
- 2 スペシャルアスリートサポート
トップレベルの競技力を有する本県国スポ選手やオリンピック・パラリンピック候補選手個人への補助
- 3 トップレベル・スポーツクラブ活性化支援
トップレベルのチームスポーツへの補助
- 4 きのくにふるさと選手派遣
トップレベルの競技力を有する本県ふるさと選手への補助
- 5 競技力向上対策会議運営
会議の開催、国スポ等の競技力分析に係る費用
- 6 特殊競技用器具整備事業
特殊競技用器具の整備に係る費用

スポーツ協会事業

コーチスキルアップ事業

6,017千円

- 1 トップ強化コーチ招へい
日本トップレベルの優秀な指導者を招へいするための補助
- 2 コーチ派遣育成
次世代を担う指導者の養成（きのくにコーチ）、資質向上研修会の開催や全国大会等への派遣を補助

スポーツ協会事業

スポーツ医・科学サポート事業

19,128千円

- 1 トレーナー・ドクター派遣
国民スポーツ大会や近畿ブロック大会、強化練習会等にトレーナーとドクターを派遣
- 2 マルチサポート
アンチ・ドーピング活動やスポーツ歯科サポート等スポーツに関わる啓発及びトレーナーに係る研修会等を実施
- 3 医・科学サポート
スポーツに必要なトレーニングや心理、栄養等の「医・科学チェック」、「医・科学支援」、「医・科学講習会」を実施

県事業

和歌山県タレント発掘・育成事業

13,947千円

本県の継続的な競技力向上のため、競技スポーツにおける潜在的なタレントの発掘及び育成を行う

【ゴールデンキッズ発掘プロジェクト】

各関係団体と連携し、県内の優れた素質を有することもに、発達段階に応じた育成プログラムを実施

【スポーツマッチングプロジェクト～やっCharる!!～】

幅広い子どもが様々な競技スポーツを体験することにより、自分の運動機能の特性や適性を発見できる「選択と機会」の場を提供

県事業

ハイスクール強化校指定事業

16,000千円

高等学校の運動部を指定し、遠征等を実施するための補助

金額の（ ）は令和6年度

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(以下、「全国調査」という。)における運動・スポーツに対する愛好度について

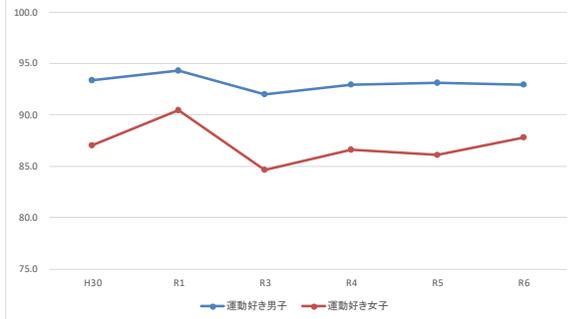
令和5年度第2回和歌山県スポーツ推進審議会(令和6年3月26日)

- (村瀬委員) 体力合計点の全国順位をあまり強調すべきではない。やはり体育の愛好度というのをまず出すべき。数字の一喜一憂で評価すべきではないと思う。

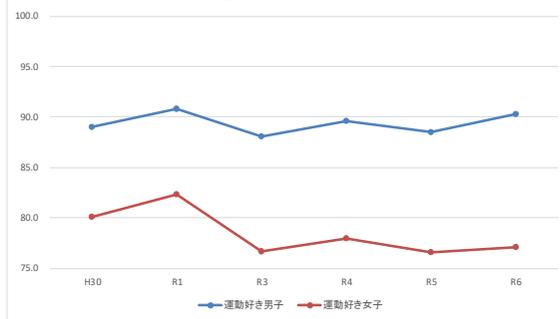
令和6年度第1回和歌山県スポーツ推進審議会(令和6年7月30日)

- (清水委員) 昨年度3月の村瀬会長の意見に共感している。推進計画、指標が当面変わることがないのは理解しているが、この意見について今年度に何かしらの動きがあるのか知りたい。愛好度を測るような何か調査・分析をされる予定はあるか。
- (村瀬会長) この調査の体力合計点は測定方法で変わるもの。要は、それが生涯スポーツの実践に繋がっていくのか。この数値が高いかどうか、そのまま生涯スポーツに繋がるかという、ちょっと疑問。どのようにそこへ繋がっていくのかというのは、やっぱり好き嫌いというのが一番重要なんじゃないか。

全国調査で、運動・スポーツをすることが好きだ・やや好きだと回答した割合(小学5年生)



全国調査で、運動・スポーツをすることが好きだ・やや好きだと回答した割合(中学2年生)



【参考:全国調査とスポーツ実施率の関係性】

全国調査で運動・スポーツをすることが好きだ・やや好きだと回答した割合		全国	和歌山県	岩手県
小学5年生	男子	93.3%	92.9%	94.1%
	女子	86.2%	87.8%	87.8%
中学2年生	男子	90.3%	90.3%	92.5%
	女子	76.8%	77.1%	80.1%
成人の週1回以上のスポーツ実施率		52.5%	53.5%	68.8%

👉 全国調査で愛好度が高い岩手県は、成人のスポーツ実施率も高い

〈これからの方向性〉

- 運動やスポーツが好きな児童生徒の育成を目指し、体育・保健体育科の授業改善に向けた取組を行う。(モデル校における授業研究会、取組事例集の作成及び公開、体育指導に関する研修会 等)
- 中学校生徒がスポーツに継続して親しむことのできる機会の確保に向け、部活動指導員等の配置により専門的な指導が受けられる持続可能な体制の整備や市町村における地域クラブ活動の充実に向けた推進体制の整備等の促進を図る。
- こどもたちが安心・安全に部活動に取り組むことができるよう、運動部活動指導の手引等に基づく適切な指導・運営、安全管理の徹底及び事故防止に取り組む。
- こどもから大人まで幅広い世代が、スポーツを楽しめる機会を創出するため、誰もが気軽に参加できるスポーツイベント等を開催することで、県民のスポーツに対する愛好度を高める。(「わかやまスポーツ体験会」を県内広域で開催、「わかやまりレーマラソン～パンダRUN～」の継続した開催、「スポーツマッチングプロジェクト～やっChaる!!～」の実施 等)

→ 県民が自主的・自発的にスポーツとふれあい、日常的にスポーツに親しむことで、生涯にわたり生活の質の向上が図れる社会の実現をめざします。

令和6年度における本県スポーツの成果と課題

1 学校と地域における子供のスポーツ環境の充実

■成果と課題

1. 幼児期における運動遊びに関する指導の充実

支援訪問等の機会をとらえて、幼児が自発的に取り組む様々な遊びを中心に、多様な動きを経験・獲得できる環境構成の工夫などについて指導助言を行った。

また、情緒に障害のある幼児に運動の機会を提供し、親子でスポーツに親しみ、体力づくりに資することを目的に「情緒障害児特別体操教室」を開催した。

2. 学校における体育活動に関する指導の充実

学習内容を明確にした授業展開の在り方を探るため、モデル校を指定し、公開授業に向けた取組や授業研究会を通して、学校体育指導者の資質向上を図ることができた。また、小・中・高等学校等の教員を対象に、体育指導に関する研修会を実施し、授業改善を図った。運動することもとそうでないこどもの二極化が見られることから、運動やスポーツが好きな児童生徒の育成を目指し、更なる教員の指導力向上、授業改善に向け、引き続き取組を進める。

持続可能な運動部活動の推進に向けて部活動指導員等を配置することで、専門的な指導が受けられる持続可能な体制を整えるとともに、運動部活動の地域展開等に向けた地方別意見交換会等を開催することで、市町村における推進体制の整備や地域クラブとの連携の促進を図った。

また、こどもたちが安心・安全に部活動に取り組むことができるよう、運動部活動等指導者研修会を開催し、適切な部の運営及び指導に対する共通理解を図った。しかし、暴力・ハラスメント等の根絶には至っていないことから、今後も運動部活動指導の手引等に基づく適切な指導・運営、安全管理の徹底及び事故防止に取り組む。

3. 子供を取り巻く社会のスポーツ環境の充実

伊都地方で開催した第55回和歌山県スポーツ少年団総合競技大会では、軟式野球、サッカー、バレーボール、剣道、柔道、少林寺拳法の6競技を実施し、1,590名が参加した。

第24回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会を実施し、43チーム、743名が参加した。

情緒に障害のある児童に運動の機会を提供し、親子でスポーツに親しみ、体力づくりに資することを目的に「情緒障害児特別体操教室」を開催した。

■指標及び実績

指標	R9 目標	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学校5年生）の全国順位	男女とも 10位以内	男16位 女11位	男16位 女15位	—	男18位 女20位	男18位 女22位	男16位 女17位	男22位 女15位
全国体力・運動能力、運動習慣等調査（中学校2年生）の全国順位	男女とも 15位以内	男25位 女21位	男23位 女12位	—	男35位 女22位	男27位 女28位	男29位 女29位	男24位 女20位

参考数値

全国体力・運動能力、運動習慣等調査	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きだ・やや好きだと回答した割合（小学校5年生）	男93.4% 女87.0%	男94.3% 女90.5%	—	男92.0% 女84.6%	男92.9% 女86.6%	男93.1% 女86.1%	男92.9% 女87.8%
運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きだ・やや好きだと回答した割合（中学校2年生）	男89.0% 女80.1%	男90.8% 女82.3%	—	男88.1% 女76.7%	男89.6% 女78.0%	男88.5% 女76.6%	男90.3% 女77.1%

2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

■成果と課題

1. スポーツに親しむことができる環境整備の推進

第8回わかやまりレーマラソン～パンダ RUN～（県内外参加者数：1,996名）及びスポーツ体験会（2回）を紀三井寺公園他で開催した。

ワールドマスターズゲームズ 2027 関西の開催に向けた更なる機運醸成のため、関西マスターズゲームズ広域大会等（5大会）の開催を支援した。また、2027年の開催に向けて大会運営計画、競技実施内容について、競技団体、開催市町等と協議を行った。

2. 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

県スポーツ協会とともに、総合型地域スポーツクラブで活動する仲間が集い、子供から大人まで世代やクラブの枠を越えた交流の促進を目的に、和歌山県総合型地域スポーツクラブ実践交流会を開催した。

また、それぞれの地域で研修会を開催することにより、クラブの運営を担う人材の育成及び資質向上を図った。

3. スポーツ指導者の育成・支援

和歌山県新任スポーツ推進委員研修会や和歌山県スポーツ推進委員研究協議会を開催し、地域スポーツ振興の核となる指導者としての資質向上を図った。また、和歌山県地域スポーツ指導者等研修会を開催し、部活動地域移行に関する諸課題や人材育成について見識を深めた。

4. 障害者スポーツに関する取り組み

障害者の社会参加や健康増進、障害者に対する社会の理解の促進等を目的に第24回和歌山県障害者スポーツ大会、フレンドシップ2024（ボッチャ競技）及びゆうあいスポーツフェスタを開催した。

また、県障害者スポーツ協会と連携し、障害者に対するスポーツ教室や体験会、パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、普及に関する取り組みを行った。

■指標及び実績

指標	R9 目標	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
成人の週1回以上のスポーツ実施率	70%	—	—	—	52.2%	54.5%	—	53.5%

■参考数値【スポーツの実施状況等に関する世論調査（スポーツ庁）】

指標	第3期 スポーツ基本計画 (R4～R8)	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
成人の週1回以上のスポーツ実施率	70%	55.1%	53.6%	59.9%	56.4%	52.3%	52.0%	52.5%

3. 世界の舞台で活躍できる競技者の発掘・育成・強化

■成果と課題

1. ジュニア期からの一貫した強化体制の確立

国民スポーツ大会男女総合成績について、佐賀国民スポーツ大会では 47 位となり、前年度の鹿児島国体の 32 位から 15 位下げ、2004 年の埼玉国体以来 20 年ぶりの最下位となった。この結果を受け止め、来年度の滋賀国民スポーツ大会では、一つでも二つでも成績を上昇させるため、競技団体と更に連携し、競技力向上を目指す。

今年度立ち上げた、「スポーツマッチングプロジェクト～やっ Cha る!!～」を更に発展させ、より多くの子どもたちにスポーツに出会う機会を与える。ジュニア選手層の拡大と競技力の向上推進を目指すとともに、競技団体の組織強化を促し、強化体制を構築する。

2. スポーツ指導者の養成と活用

公認指導者資格更新のための和歌山県スポーツ指導者研修会を 2 回開催し、資格の更新・維持に努めるとともに、公認指導者養成講習会を実施し、資格登録者は前年度から 349 名増えた。（現登録者数 2,760 名）

また、中央競技団体等の優秀な指導者を招へいし、高度な技術や戦術・戦略の習得に努めた。また、「チーム和歌山コーチ塾」の開催や、競技団体から推薦された指導者を選考し「きのくにコーチ」として任命し、全国大会等に帯同させ、指導技能を学ばせることにより、優れた指導者を養成するシステムを構築する。

3. 高度なスポーツ医・科学分野の支援

選手や指導者が高度なスポーツ医・科学サポートを受けられるよう、専門機関と連携を図りながら、可能な範囲で強化練習会へのトレーナー派遣や心理サポート、映像サポート等のスポーツ医・科学サポートを充実させた。

また、女性アスリートサポートでは、関係機関と連携し、県内産婦人科医師との連携や女性アスリート育成支援のための情報提供等を行い、相談しやすい環境づくりに取り組んだ。

4. アンチ・ドーピング活動の推進

国民スポーツ大会等に出場する選手や監督を対象とした「アンチ・ドーピング研修会」を情報提供の形で開催するとともに、各競技団体に配置したスポーツファーマシストと連携し、「アンチ・ドーピングに係るアンケート調査」を実施することで、未然にドーピング違反を防止するなど、アンチ・ドーピング活動に取り組んだ。

5. スポーツ界のガバナンスの強化

県スポーツ協会理事会及び総会にあわせてスポーツ団体ガバナンスコード（一般スポーツ団体向け）に関する研修会及び説明会を開催し、各競技団体に遵守状況の自己説明と公表を行うよう働きかけた。また、県スポーツ協会においても、令和 6 年 10 月 25 日に、ガバナンスコードの遵守状況について、県スポーツ協会ホームページで自己説明と公表を行った。今後も公表を毎年継続するとともに、達成項目を増加させていく必要がある。

■指標及び実績

指 標	R9 目標	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
オリンピック・パラリンピック 競技大会における本県関係者の出場者数	15 名以上	—	—	—	—	13 名	—	8 名
国民体育大会男女総合 成績	20 位台	27 位	22 位	—	—	39 位	32 位	47 位
全国高等学校総合体育 大会での 8 位以上種目 数	50 種目	28 種目	30 種目	—	41 種目	37 種目	36 種目	32 種目

4 全国大会・国際大会の開催及び国際競技大会等に係るキャンプの誘致による 県民のスポーツに対する意識や関心の向上と県内各地域の活性化

■成果と課題

1. トップレベルの競技スポーツを身近で観戦したり応援したりする機会の充実
プロ野球ウエスタンリーグ（観戦者数：2,341名）及びバレーボールVリーグ（観戦者数：3,725名）の公式戦の開催を支援し、県民がトップレベルのスポーツを身近に感じる機会を提供することができた。
2. 国際競技大会等のキャンプ候補地としての効果的なアピールと更なる優位性の向上
ナショナルチーム等のスポーツキャンプの受入を行い、「パリ 2024 パラリンピック日本代表」事前合宿と「アジア・オセアニアビーチアルティメット選手権大会日本代表」事前合宿を支援した。子どもから大人までを対象とした体験会等の交流イベントを実施し、県民にトップレベルのスポーツを身近に感じる機会を提供することができた。
今後は、来年度開催される「東京 2025 世界陸上」などに出場する国外の代表チームを誘致していく。

■指標及び実績

指 標	R9 目 標	H30 実 績	R 元 実 績	R 2 実 績	R 3 実 績	R 4 実 績	R 5 実 績	R 6 実 績
国内外ナショナルチーム等の キャンプ年間誘致数	15 件	10 件	8 件	4 件	12 件	8 件	10 件	6 件 ※2月末現在

「和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート」の結果報告について

○調査の概要

1 調査目的

本調査の目的は、本県における今後のスポーツ振興方策を検討するため、県民の運動・スポーツ実施やスポーツライフに関する実情を把握することとする。

2 調査対象

母集団 和歌山県内に住所を有する20歳以上の男女

抽出方法 住民基本台帳を用いた居住地、年齢、性別による層化無作為抽出
(等間隔抽出法)

【内訳】「20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上」
の6つの世代別に、各市町村の人口を勘案し、原則として男女同数となるように配布。

抽出数 2,400人

3 調査期間

令和6年10月1日(火)～10月31日(木)

4 調査方法

郵送により配布・回収

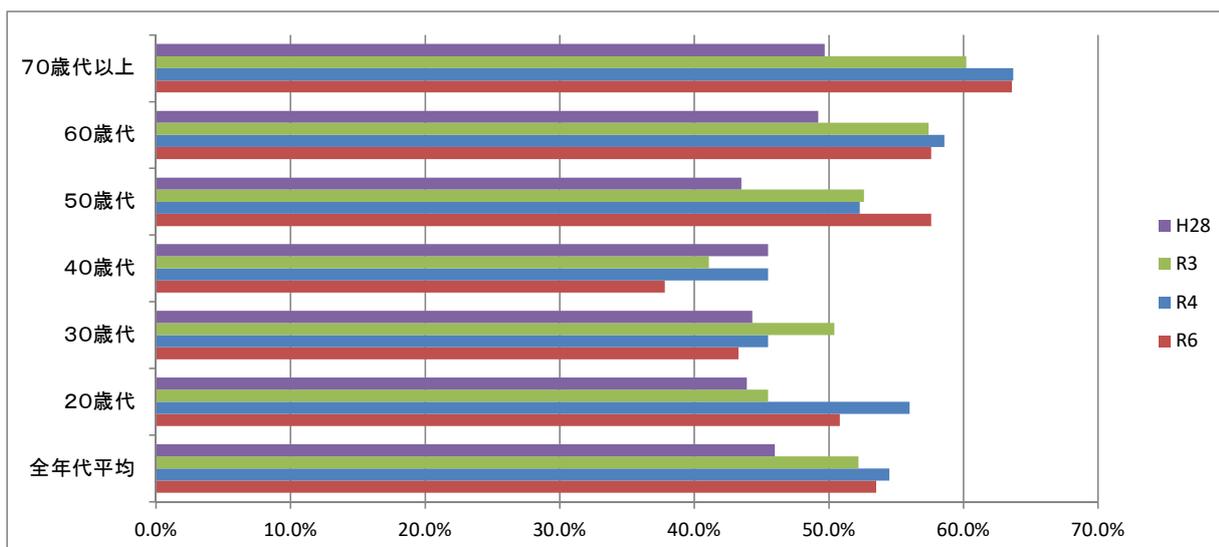
5 回収数

有効回答標本数 762人(回収率:31.7%)

6 調査項目

- 0) サンプルの属性
- 1) 和歌山県民のスポーツ参加への興味・関心
- 2) 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度
- 3) 和歌山県民の運動・スポーツ実施種目
- 4) 過去1年間の実施種目の中で最も重要な運動・スポーツ種目
- 5) 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由
- 6) 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因
- 7) 和歌山県民の今後行ってみたい運動・スポーツ種目
- 8) 今後最も行ってみたい運動・スポーツ種目
- 9) 運動・スポーツを行いたい人の行いたい理由
- 10) 和歌山県民のスポーツクラブ加入率
- 11) 過去1年間の直接的スポーツ観戦
- 12) 今後、直接観戦してみたいスポーツ
- 13) 過去1年間のテレビやインターネットでのスポーツ観戦
- 14) 過去1年間にスポーツに関する情報を得た媒体
- 15) 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体
- 16) 過去1年間のスポーツボランティア実施状況
- 17) スポーツボランティア実施意欲
- 18) ワールドマスターズゲームズ (WMG) について
- 19) 自治体に力を入れてほしいこと
- 20) 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目

【和歌山県民の運動・スポーツ実施状況】



週1日以上の運動・スポーツ実施率

	R6	R4	R3	H28
全年代平均	53.5%	54.5%	52.2%	46.0%
20歳代	50.8%	56.0%	45.5%	43.9%
30歳代	43.3%	45.5%	50.4%	44.3%
40歳代	37.8%	45.5%	41.1%	45.5%
50歳代	57.6%	52.3%	52.6%	43.5%
60歳代	57.6%	58.6%	57.4%	49.2%
70歳代以上	63.6%	63.7%	60.2%	49.7%

週3日以上実施率

	R6(※)	R4	R3
国	30.2%	29.0%	30.4%
和歌山	23.8%	23.3%	28.9%

※国：令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」より

和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度は、週3日以上実施者が23.8%、週1日以上3日未満実施者が29.7%という結果となり、これらを合わせた53.5%の人たちが週1日以上定期的に運動・スポーツを実施していることがわかった。和歌山県スポーツ推進計画が掲げる令和9年度の週1日以上実施者の目標値70%には至らない結果となった。また、令和4年度の調査結果（54.5%）と比較すると、1.0%減少した。

次に、年代別の調査結果をみると、令和4年度の調査結果と比較して、週1日以上実施者の割合は、50歳代以外の年代で減少となっている。年代別調査結果の特徴としては、働き世代と言われる30歳代と40歳代が実施率50%未満と少ない結果となり、その年代を境に年代が上がるにつれて定期的に運動を実施している者が増加する傾向にある。

和歌山県民の スポーツ生活に関するアンケート 調査報告書

2024年11月

和歌山県企画部企画政策局スポーツ課

【調査の概要】

①調査の目的

本調査の目的は和歌山県における今後のスポーツ振興方策を検討するため、県民の運動・スポーツ実施やスポーツライフに関する実情を把握することとする。

②調査対象

○母集団

和歌山県内に住所を有する20歳以上の男女

○調査対象の抽出方法

住民基本台帳を用いた居住地、年齢、性別による層化無作為抽出（等間隔抽出）

○調査対象の抽出数

2, 400人

③調査期間

2024年10月1日～10月31日

④調査方法

郵送法により配布・回収

⑤回収数

有効回答標本数：762（回収率31.7%）

⑥調査項目および目次

- 0) サンプルの属性
- 1) 和歌山県民のスポーツ参加への興味・関心
- 2) 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度
- 3) 和歌山県民の運動・スポーツ実施種目
- 4) 過去1年間の実施種目の中で最も重要な運動・スポーツ種目
- 5) 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由
- 6) 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因
- 7) 和歌山県民の今後行ってみたい運動・スポーツ種目
- 8) 今後最も行ってみたい運動・スポーツ種目
- 9) 運動・スポーツを行いたい人の行いたい理由
- 10) 和歌山県民のスポーツクラブ加入率
- 11) 過去1年間の直接的スポーツ観戦
- 12) 今後後、直接観戦してみたいスポーツ
- 13) 過去1年間のテレビやインターネットでのスポーツ観戦
- 14) 過去1年間にスポーツに関する情報を得た媒体
- 15) 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体
- 16) 過去1年間のスポーツボランティア実施状況
- 17) スポーツボランティア実施意欲
- 18) ワールドマスタースゲームズ (WMG) について
- 19) 自治体に力を入れてほしいこと
- 20) 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目

資料：調査票

0. サンプルの属性

図1. サンプルの性別 (n=756)

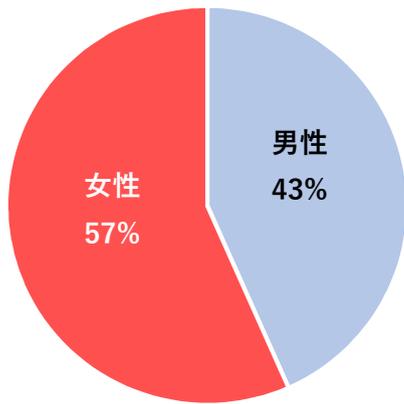


図2. サンプルの年代内訳 (n=753)

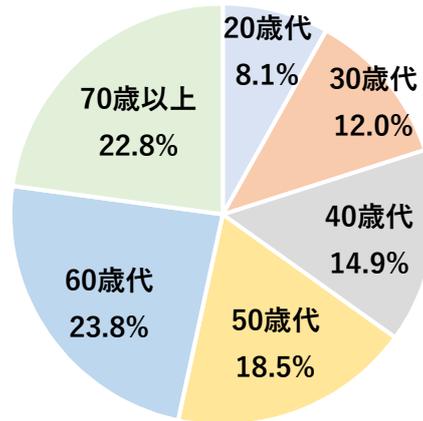


図3. サンプルの居住地 (n=746)

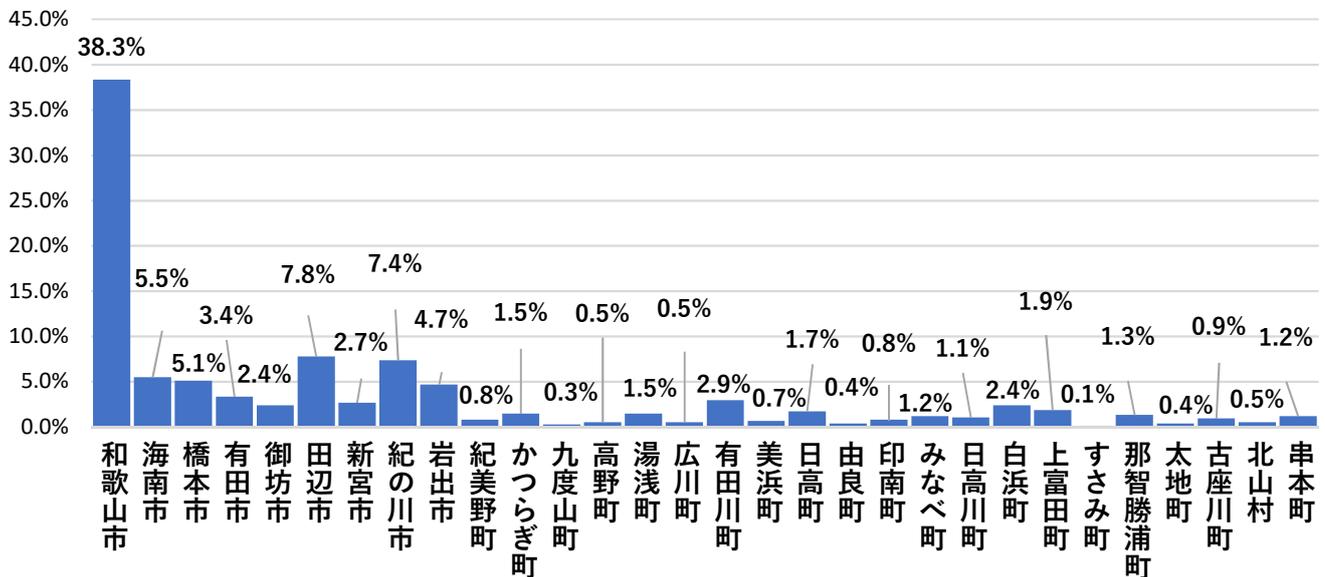
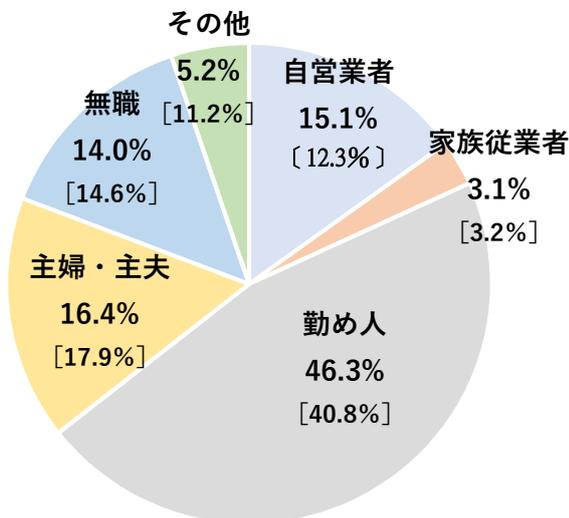


図4. サンプルの職業 (n=750)

※ [] 内の数値は2022年の調査結果



本調査におけるサンプル属性は、図1のとおり、女性の割合が57%と若干男性より多い。年代については図2のとおり50歳代以上が65.1%であり、若年層の回答が少ない結果となった。

職業の内訳については図4のとおり、過去の調査と比べ勤め人及び自営業が増える結果となった。

1. 和歌山県民のスポーツ参加への興味・関心

図5. 「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加への興味・関心
 ※ [] 内の数値は2022年の調査結果

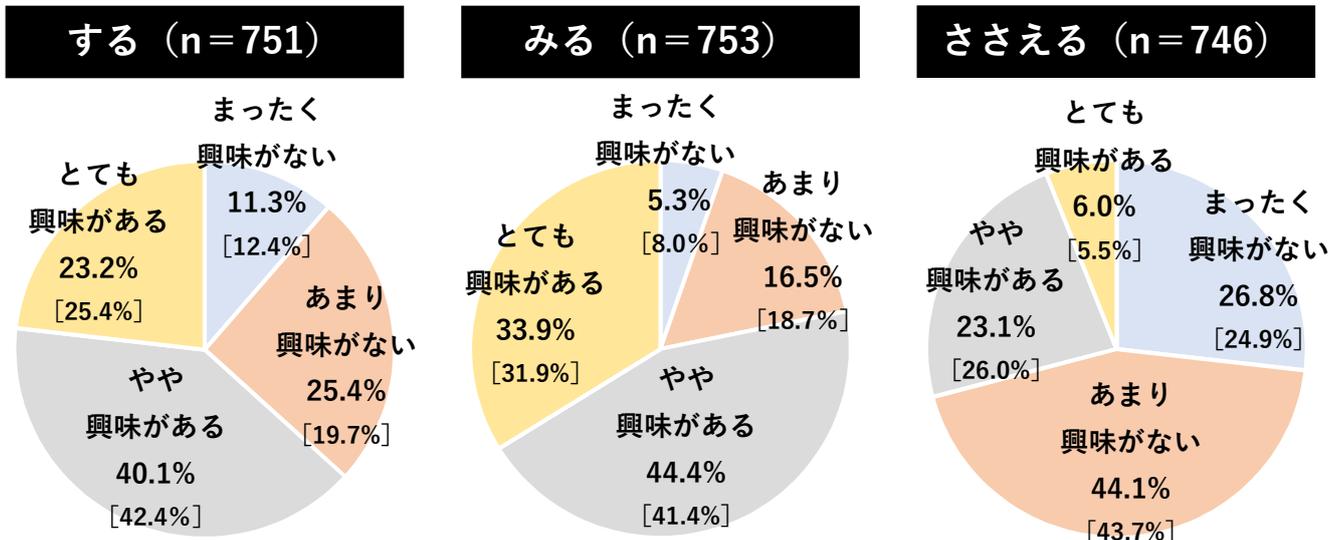


図6. 男女別「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加への興味・関心

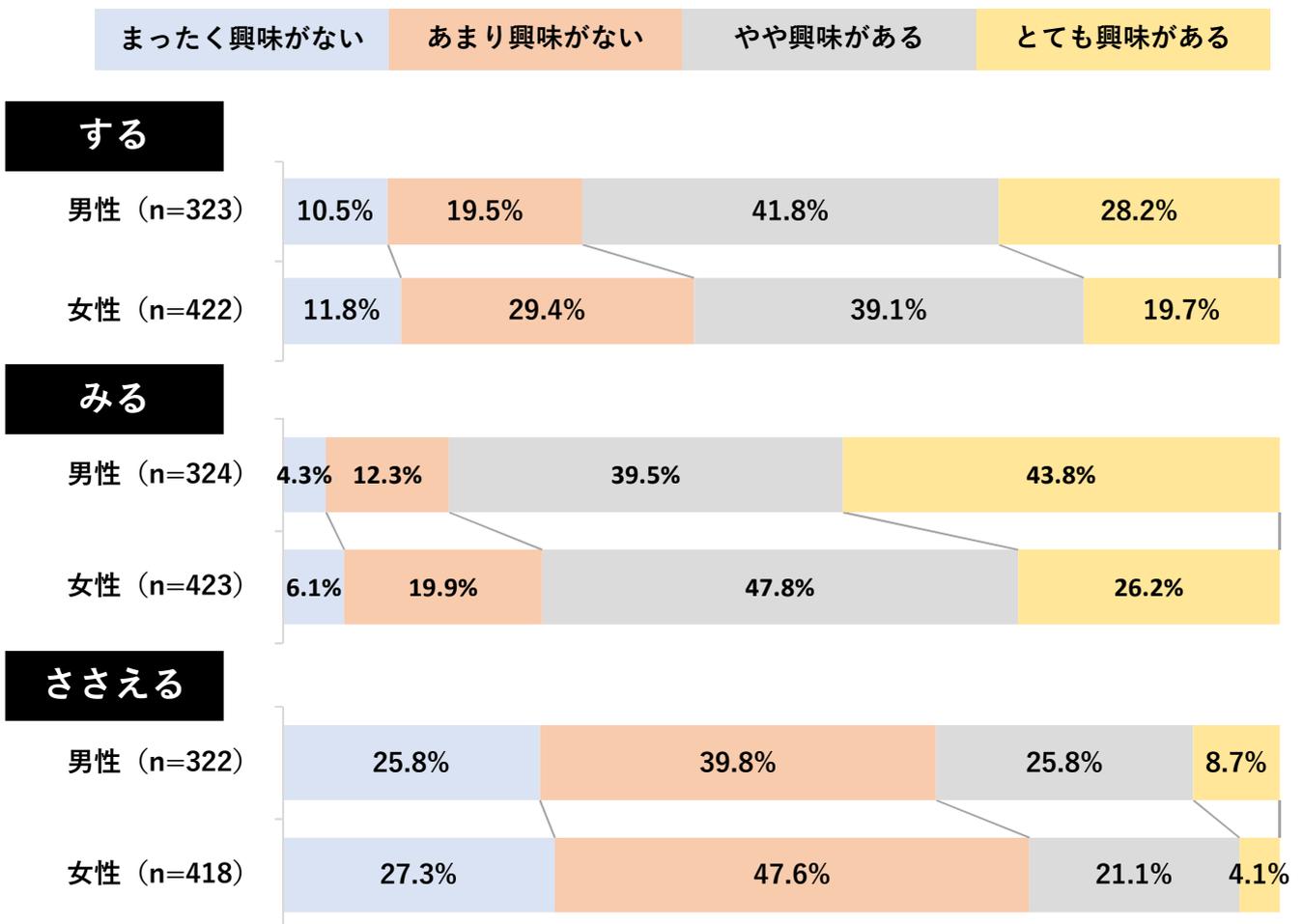


図7. 年代別「する」スポーツ参加への興味・関心

する

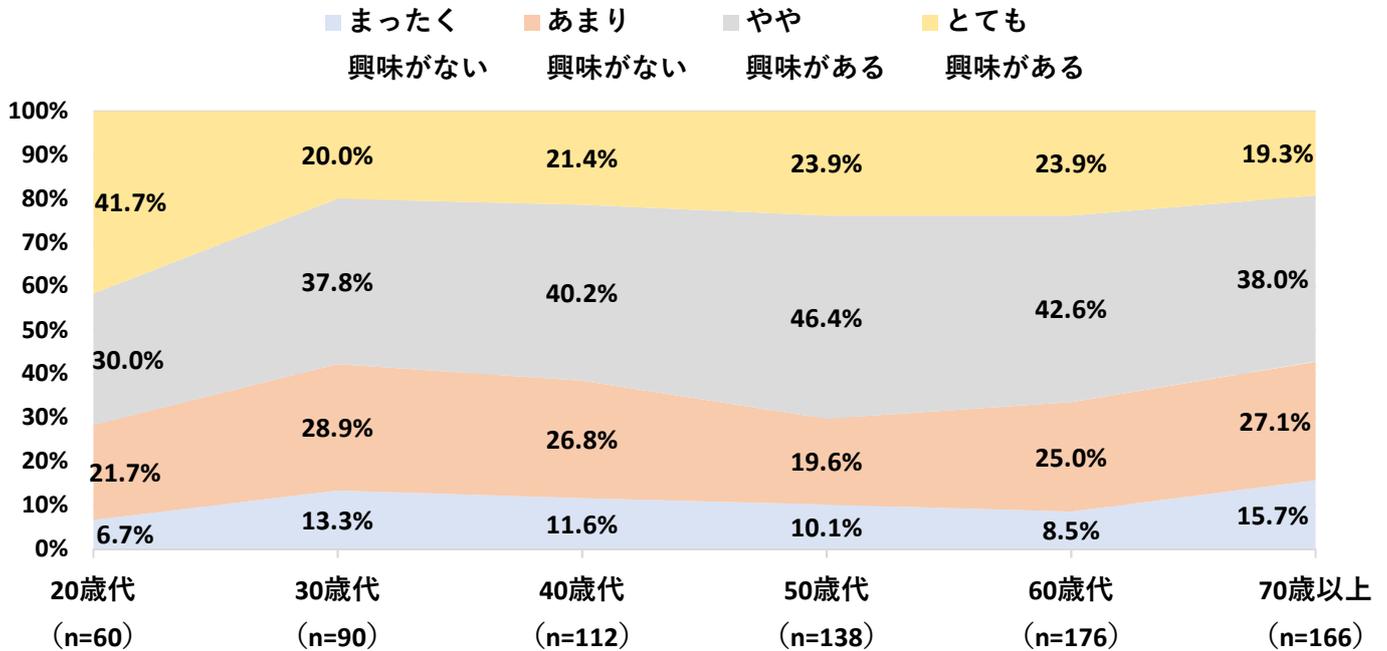


図8. 年代別「みる」スポーツ参加への興味・関心

みる

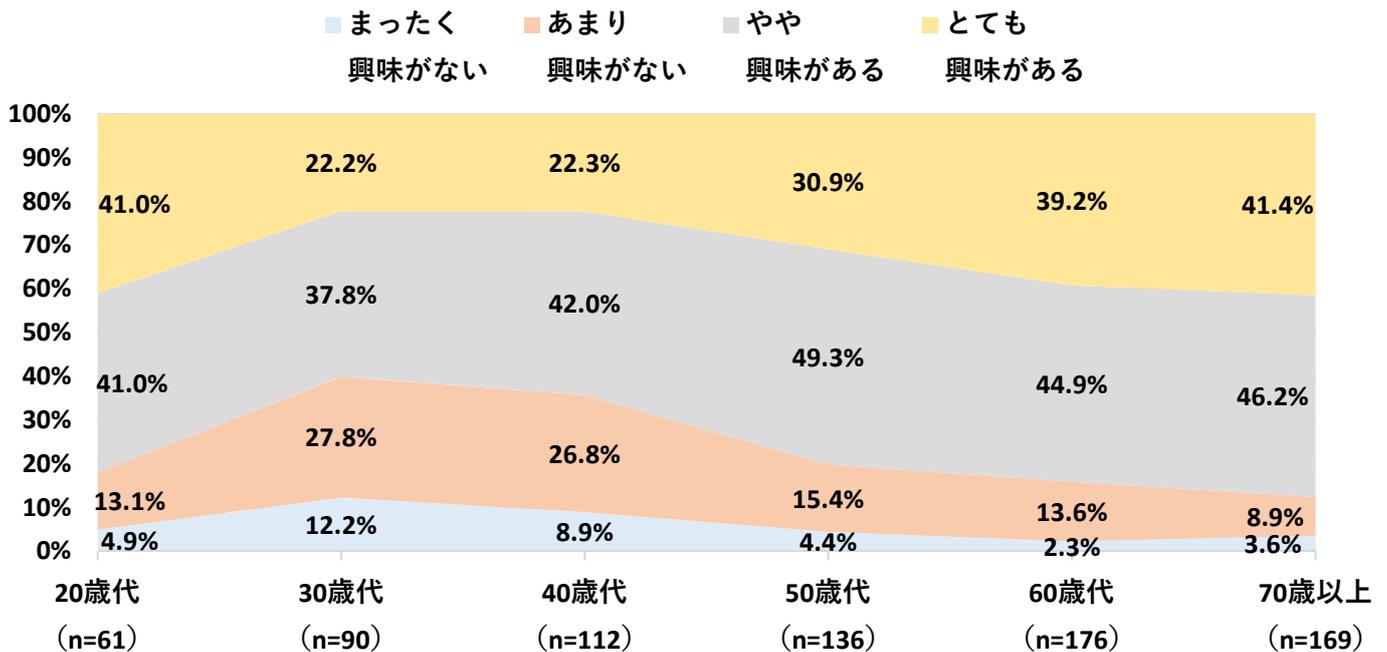


図9. 年代別「ささえる」スポーツ参加への興味・関心

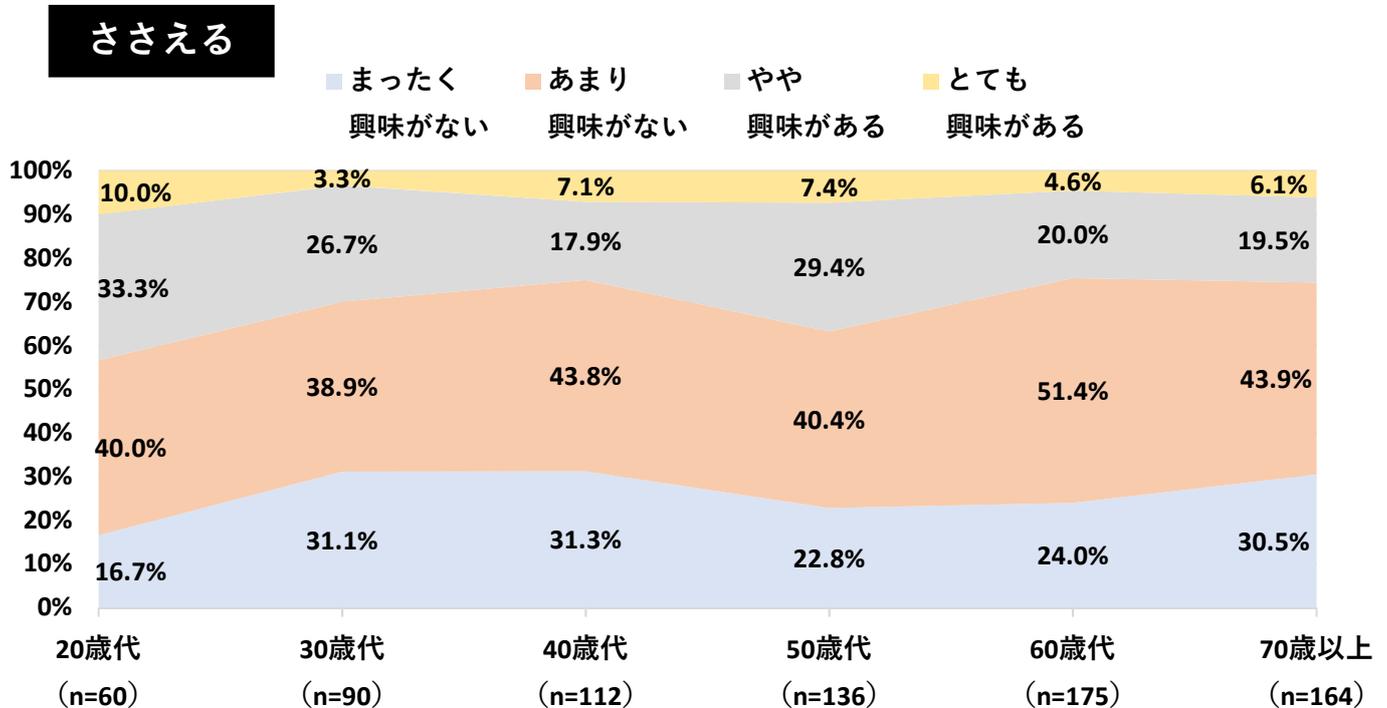


図5のとおり和歌山県民が最も「興味がある」（とても興味がある＋やや興味がある）とするスポーツへの興味・関心は「みる」スポーツであり、「とても興味がある」と「やや興味がある」を合わせて78.3%がそのように回答した。一方で「ささえる」スポーツについては、「興味がない」（あまり興味がない＋まったく興味がない）と回答した人が7割を超えて

おり、2022年の調査結果とほぼ同様の傾向がみられる。このことは、「ささえる」スポーツへの興味・関心を喚起し、啓発する必要性を示唆している。男女別（図6）に「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加への興味・関心を分析した結果、すべてのカテゴリーにおいて統計的な差異が観察され、男性よりも女性の方が興味・関心が薄いことが明らかになった。年代別（図7～9）の分析では、「する」「ささえる」スポーツ参加への興味は20歳代と50歳代で高い結果となった一方、「みる」ことへの興味は20歳代、50歳代だけでなく、60歳代以上でも年齢があがるにつれ「興味がある」と回答する割合が増加している。

「する」「みる」「ささえる」全てにおいて、30歳代から40歳代の興味は低くなっており、子育て世代への啓発・支援が本県の課題の一つであるといえる。

2. 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

図10. 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

※ [] 内の数値は2022年の調査結果

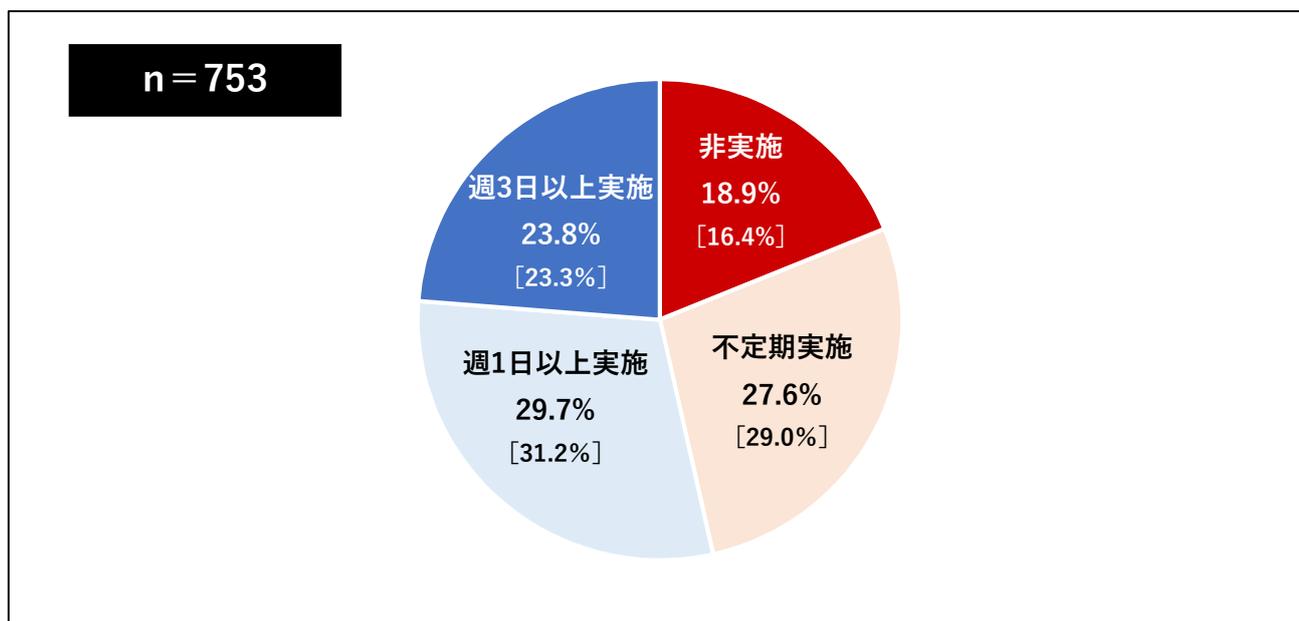
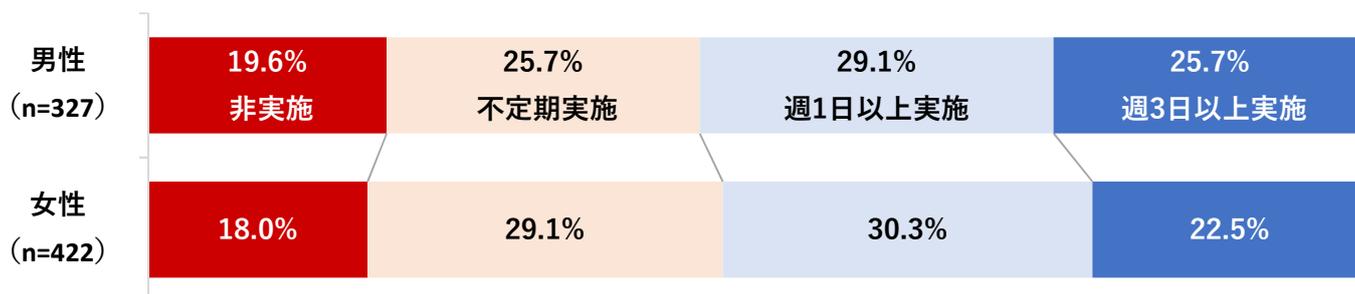


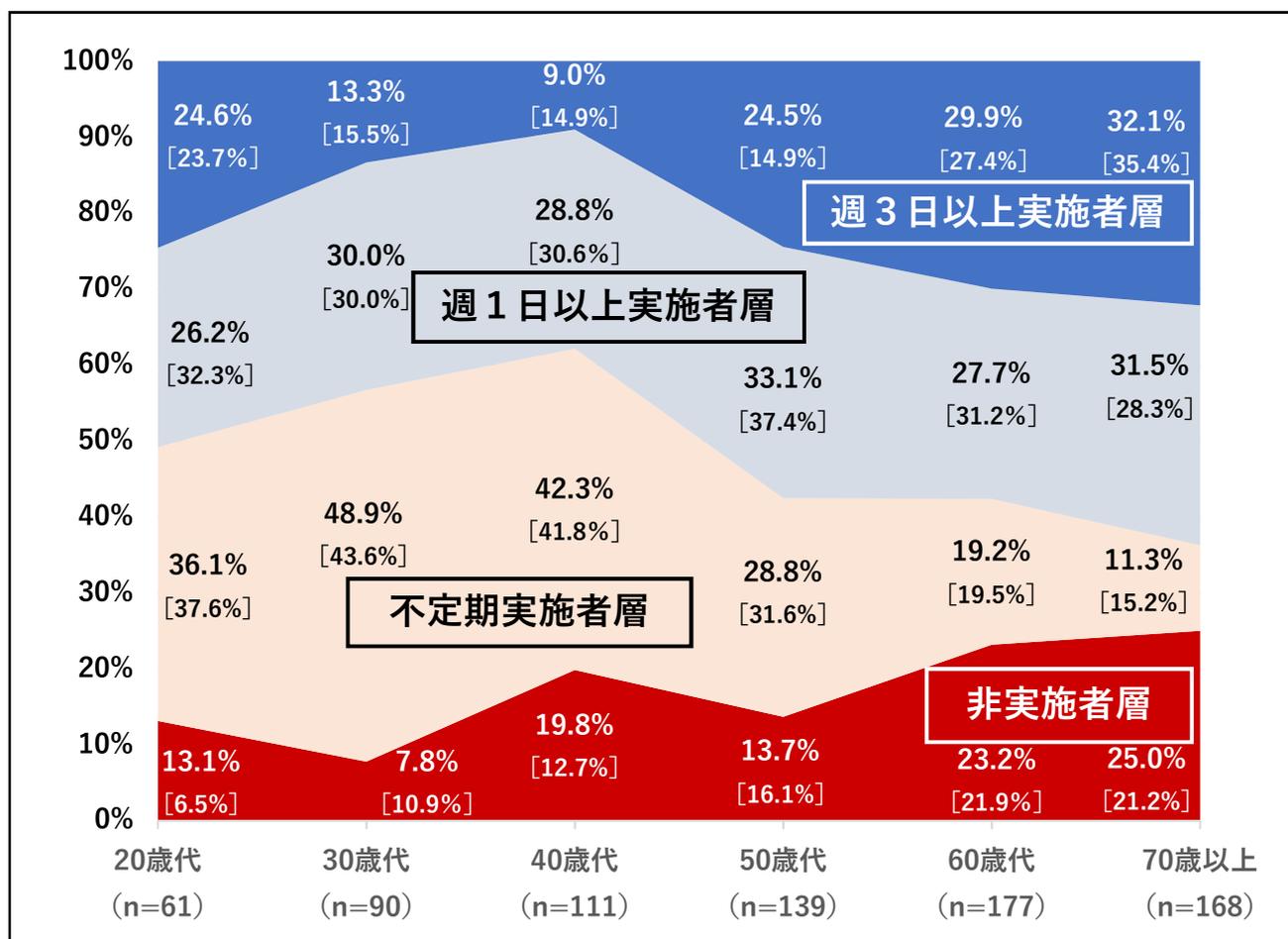
図11. 男女別・過去1年間の運動・スポーツ実施頻度



和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度について、週に3日以上実施している者は23.8%、週に1日以上3日未満実施している人は29.7%となり、定期的に運動・スポーツを行っている人は、これらを合わせた53.5%となった。この結果は、2022年の調査結果から1.0%低い結果となり、和歌山県スポーツ推進計画（2027年）の目標並びに第3期スポーツ基本計画が掲げる、「週1回以上のスポーツ実施率70%」、同基本計画「年1回以上のスポーツ実施率100%」「1日30分以上の運動を週2回以上実施者の増加」という目標全てに対し、至らない結果となった。2022年の調査結果と比較すると、「週1日以上の実施者」が1.5%減少、「非実施者」が2.5%増加しているが「週3日以上実施者」は0.5%増加していることが分かった。

男女別にみると、少数ではあるが女性の不定期実施者が多く、週3日以上実施者が少ない結果となった。

図12. 年代別・過去1年間の運動・スポーツ実施頻度
 ※ [] 内の数値は2022年の調査結果



次に、和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度を年代別に分析した。定期的実施者（週1日以上および週3日以上の実施者）の割合は、30歳代と40歳代が他の年代に比べて低い結果となった。2022年調査と比べると、50歳代の実施者が5.3%増えたが、その他の年代については減少する結果となった。非実施者層についても同様に30歳代と50歳代は減少したが、その他の世代では増加している。年代が上がるにつれ、実施・非実施が二極化する傾向は2022年調査より顕著になった。

2022年の調査結果同様に、いわゆる働き世代と言われる30歳～40歳代の定期的実施者を増加させることは、本県の運動・スポーツプロモーションを考える上で避けて通る事の出来ない事象となっている。

3. 和歌山県民の運動・スポーツ実施種目

図13. 過去1年間に実施した運動・スポーツ種目 (n=756)

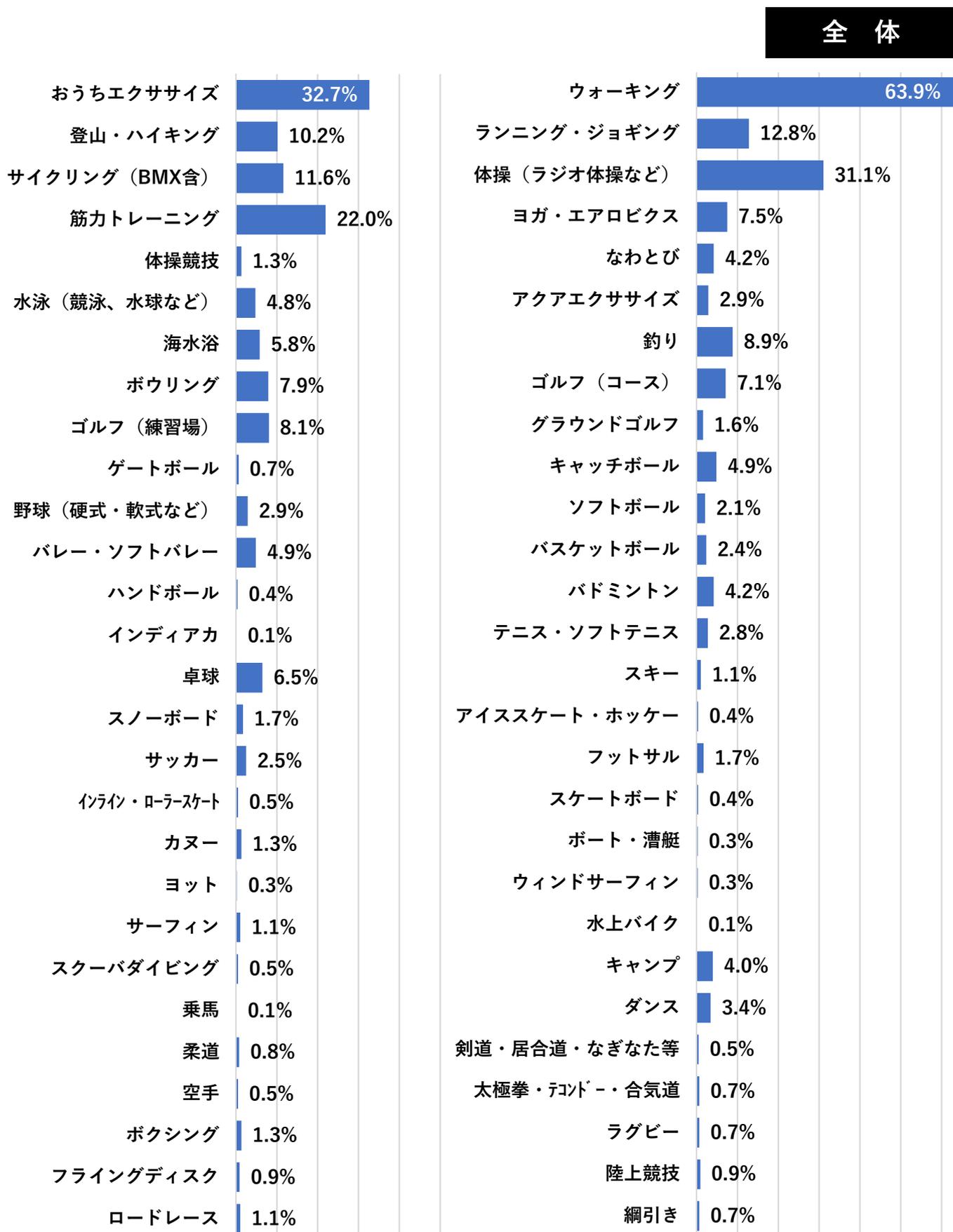


図14. 男性の過去1年間に実施した運動・スポーツ種目 (n=326)

男性

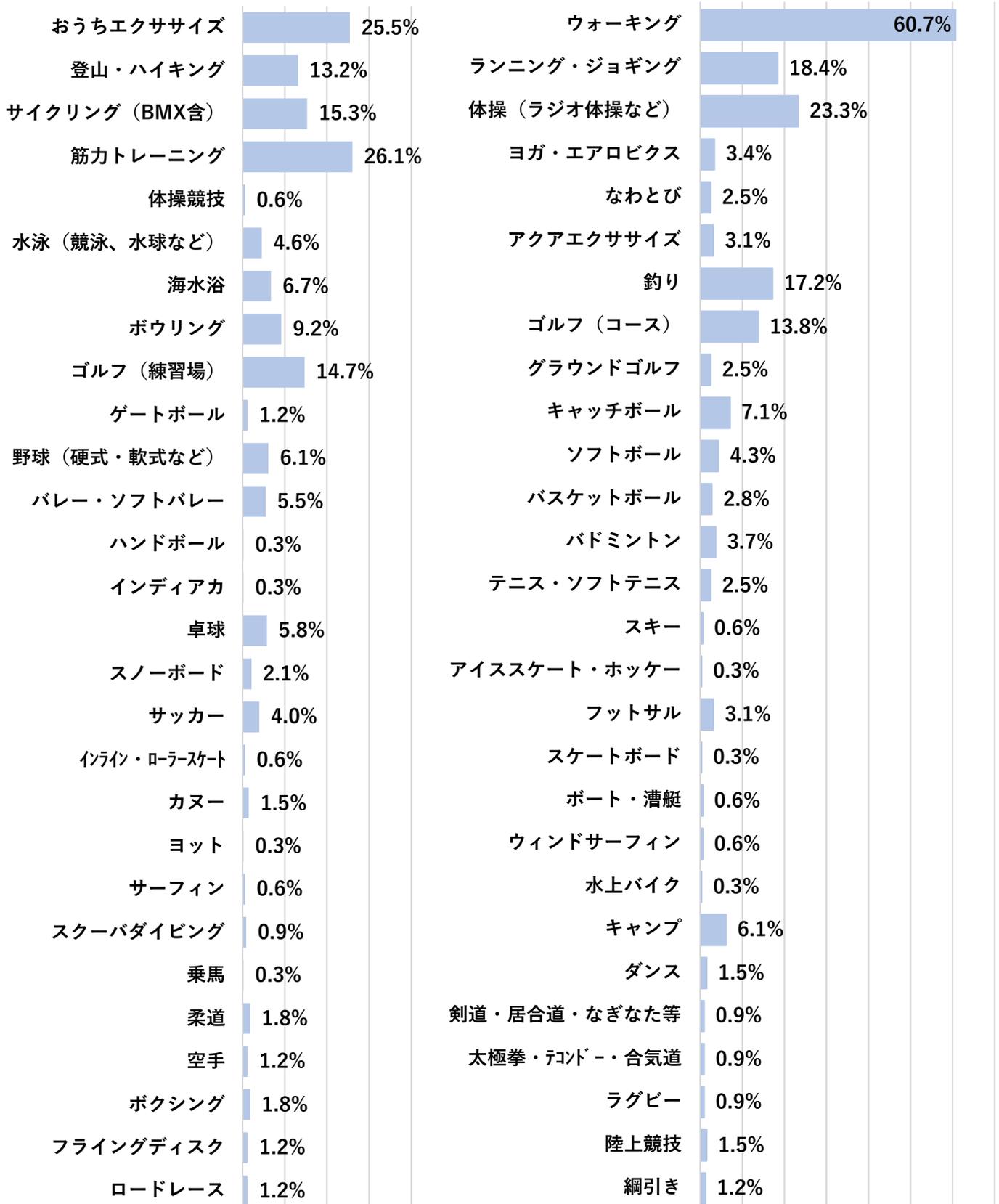
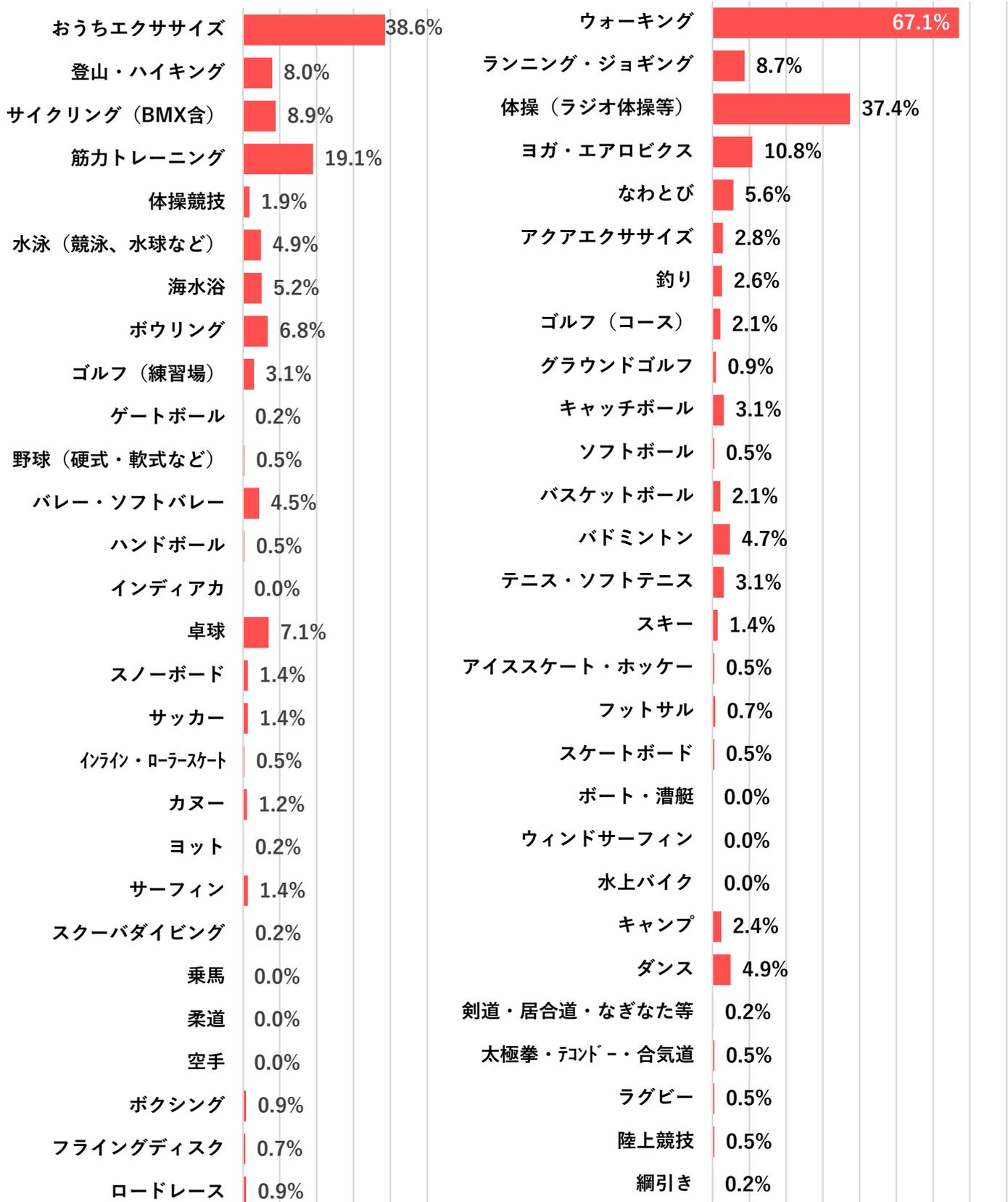


図15. 女性の過去1年間に実施した運動・スポーツ種目 (n=425)

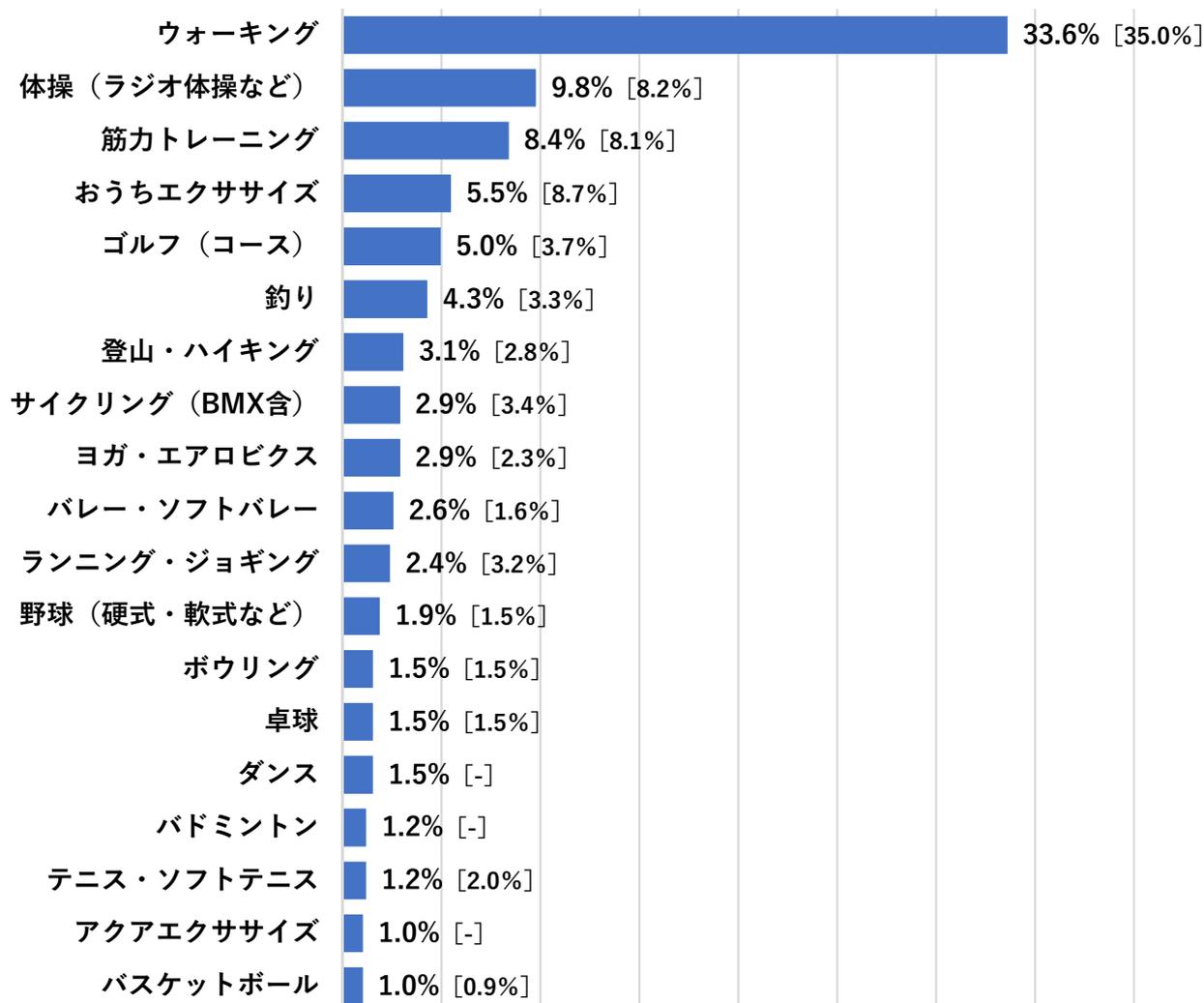
女性



和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施種目を、全体、男女別にグラフ化した。全体、男女別ともにウォーキングを筆頭にエクササイズ系種目を「実施した」と回答する人が多い結果となった。男性は釣り、球技等のチームスポーツやゴルフ、女性はおうちエクササイズ、体操（ラジオ体操など）、ダンス、ヨガ・エアロビクスが多い結果となり、男女間の志向の違いが確認できる。

4. 過去1年間の実施種目の中で最も重要な運動・スポーツ種目

図16. 過去1年間の実施種目の中で最も重要な運動・スポーツ種目
上位20種目 (n=583) ※ [] 内の数値は2022年の調査結果



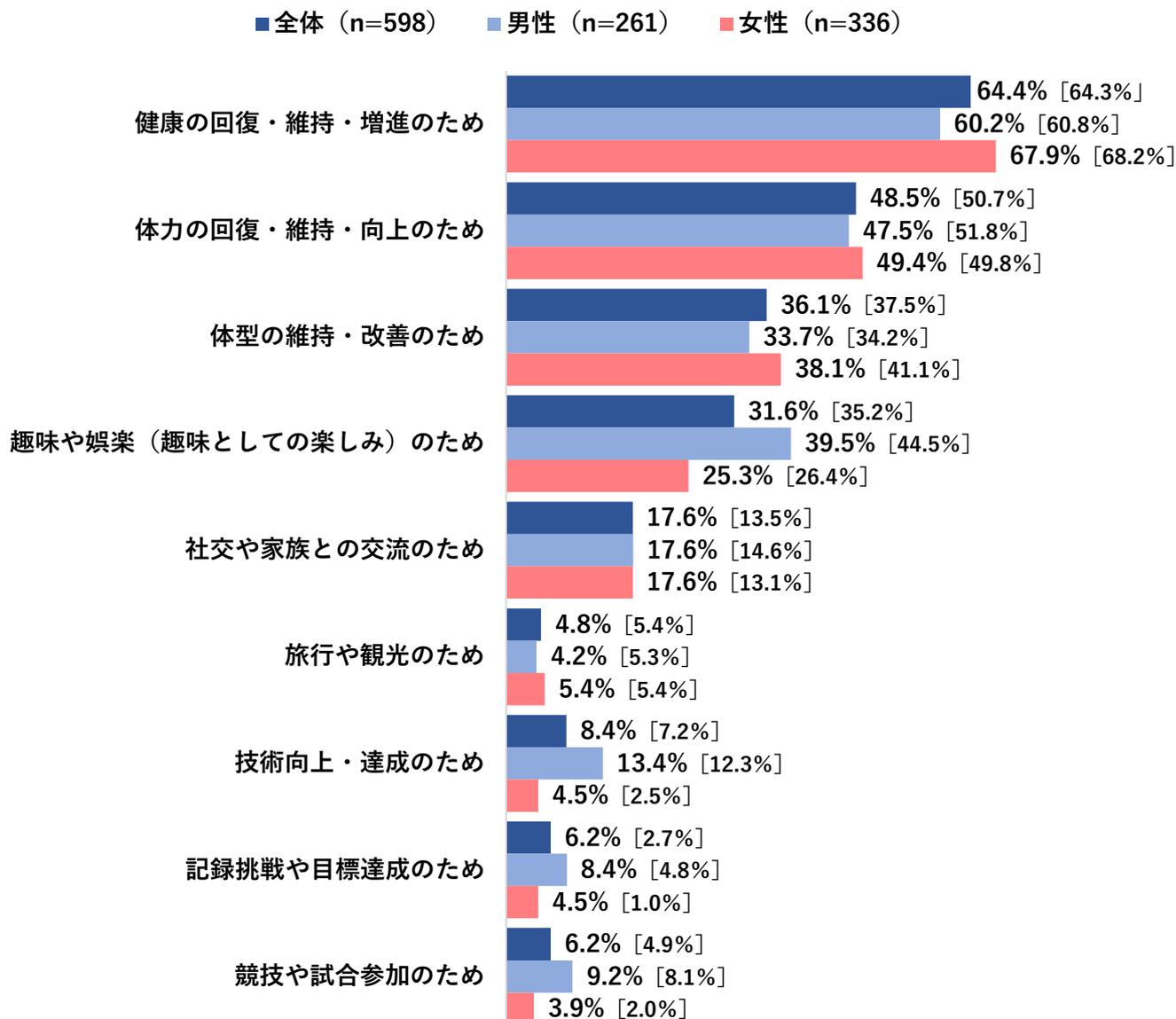
過去1年間に実施した種目の中で、最も重要な運動・スポーツ種目を挙げてもらったところ、最も選ばれたのはウォーキングで、その実施率は33.6%と非常に高い結果となった。ウォーキングは特に手軽に始められる運動であり、健康維持や体力増進に寄与するため、広く支持されていると考えられる。次に多く選ばれたのが体操 (ラジオ体操など) で9.8%を占め、そして筋力トレーニング (8.4%)、おうちエクササイズ (5.5%) が続く。これらの運動は主に自宅でできるものであり、コロナ禍において自宅での運動が重視されたことが影響を与えている可能性が考えられる。

2022年調査とほぼ同様の結果となっており、図が示すとおり、個人で実施可能な運動が好まれ、今後もこれらの運動が重要な役割を果たすことが予測される。

5. 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由

図17. 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由 [複数回答可]

※ [] 内の数値は2022年調査結果



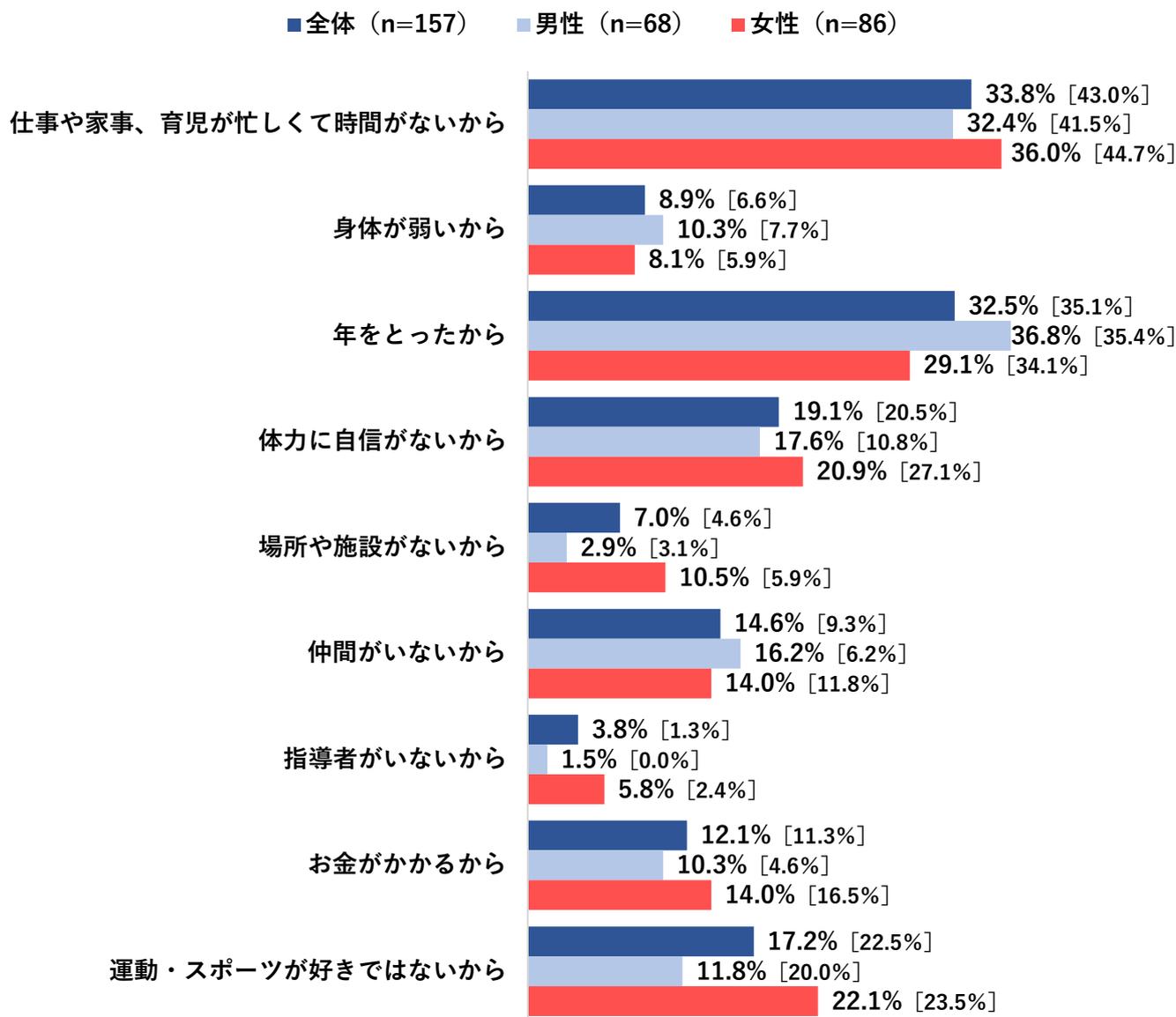
和歌山県民の運動・スポーツ実施理由は健康や体力、体型の維持を目的とする人が多く、その中でも性別による違いがみられる。女性は「健康の回復・維持・増進のため」「体型の維持・改善のため」、男性は「趣味や娯楽のため」「技術向上・達成のため」「競技や試合参加のため」といった面に目的意識が強く表れている。

この結果は、2022年調査と同じ傾向がみられ、和歌山県民の運動・スポーツ実施の理由に関する意識が一貫していることが分かる。

6. 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因

図18. 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因 [複数回答可]

※ [] 内の数値は2022年調査結果



運動・スポーツを実施しない人の阻害要因で、最も多い回答は「仕事や家事、育児が忙しくて時間がないから」、僅差で「年をとったから」となっており、この結果は、2022年の調査結果とほぼ一致する結果となった。

男女間の違いでは、「体力に自信がない」「お金がかかる」「運動・スポーツが好きではないから」といった理由が女性において多く、男性においては「年をとったから」といった理由が多くなる結果となった。また、「運動・スポーツが好きではないから」と感じる人は2022年調査から約5%減少しており、和歌山県スポーツ推進計画の取り組みの成果がみられる。

7. 和歌山県民の今後行ってみたい運動・スポーツ種目

図19. 和歌山県民の今後行ってみたい運動・スポーツ種目 (n=749)

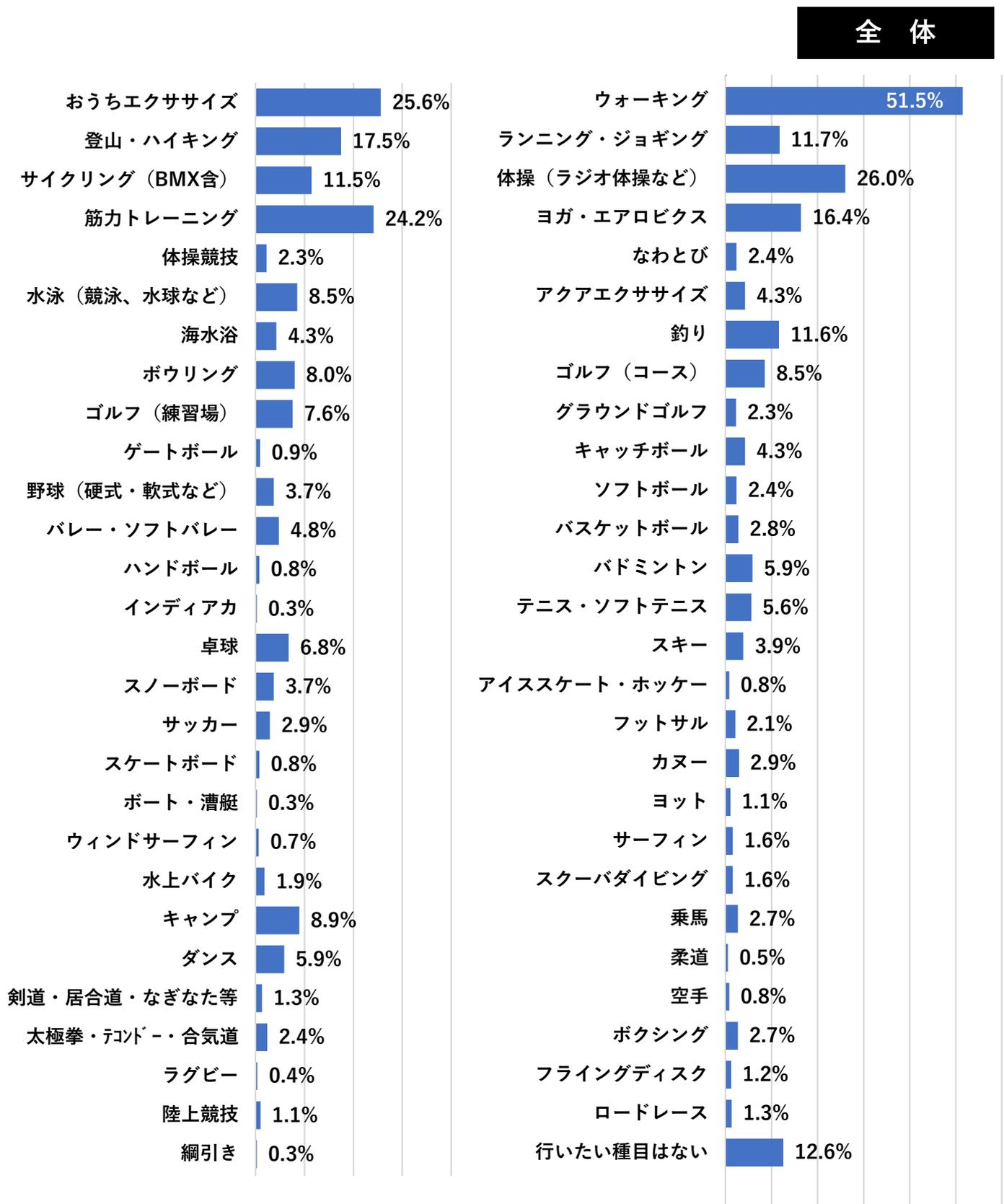


図20. 男性の今後行ってみたい運動・スポーツ種目 (n=326)

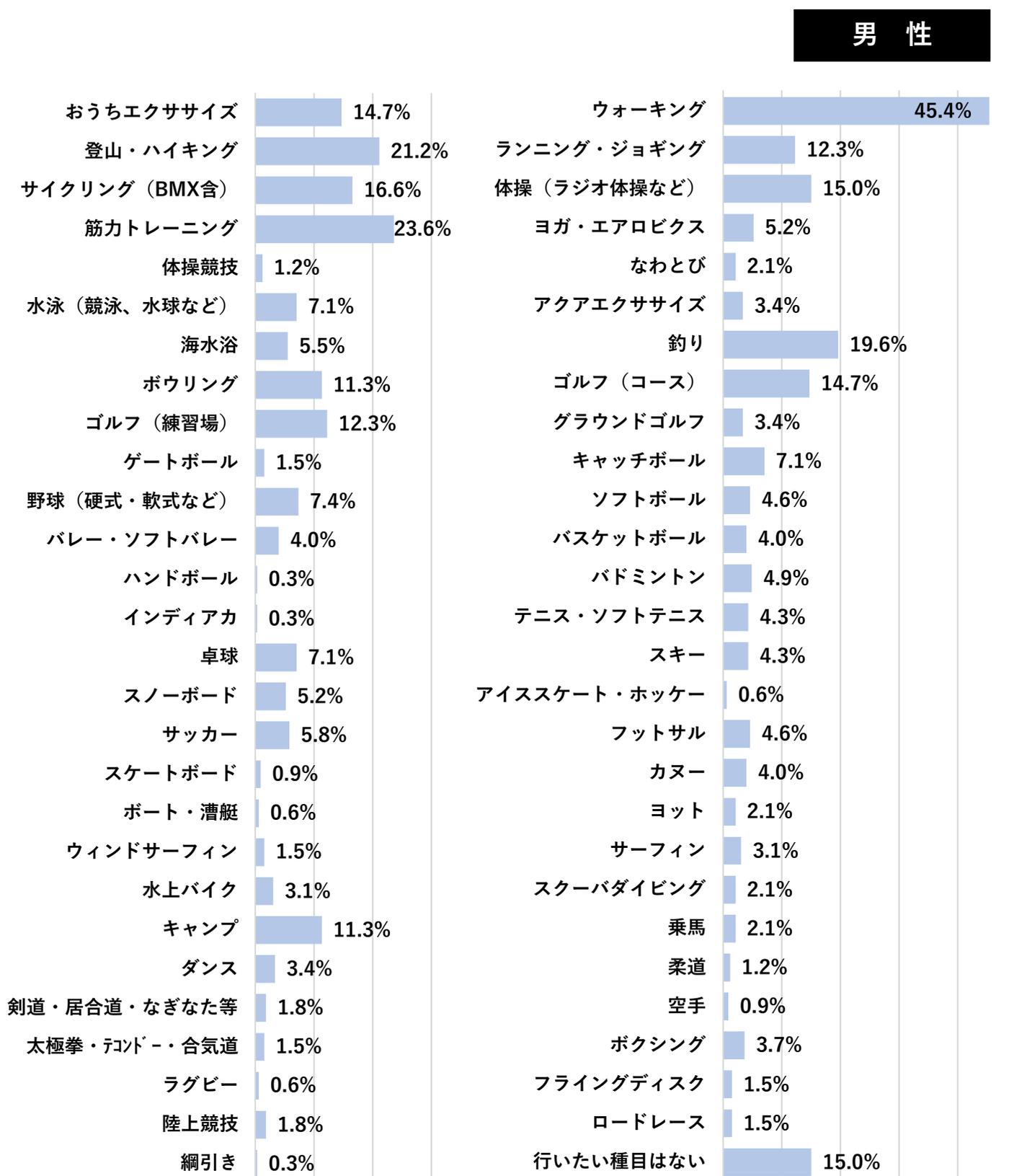
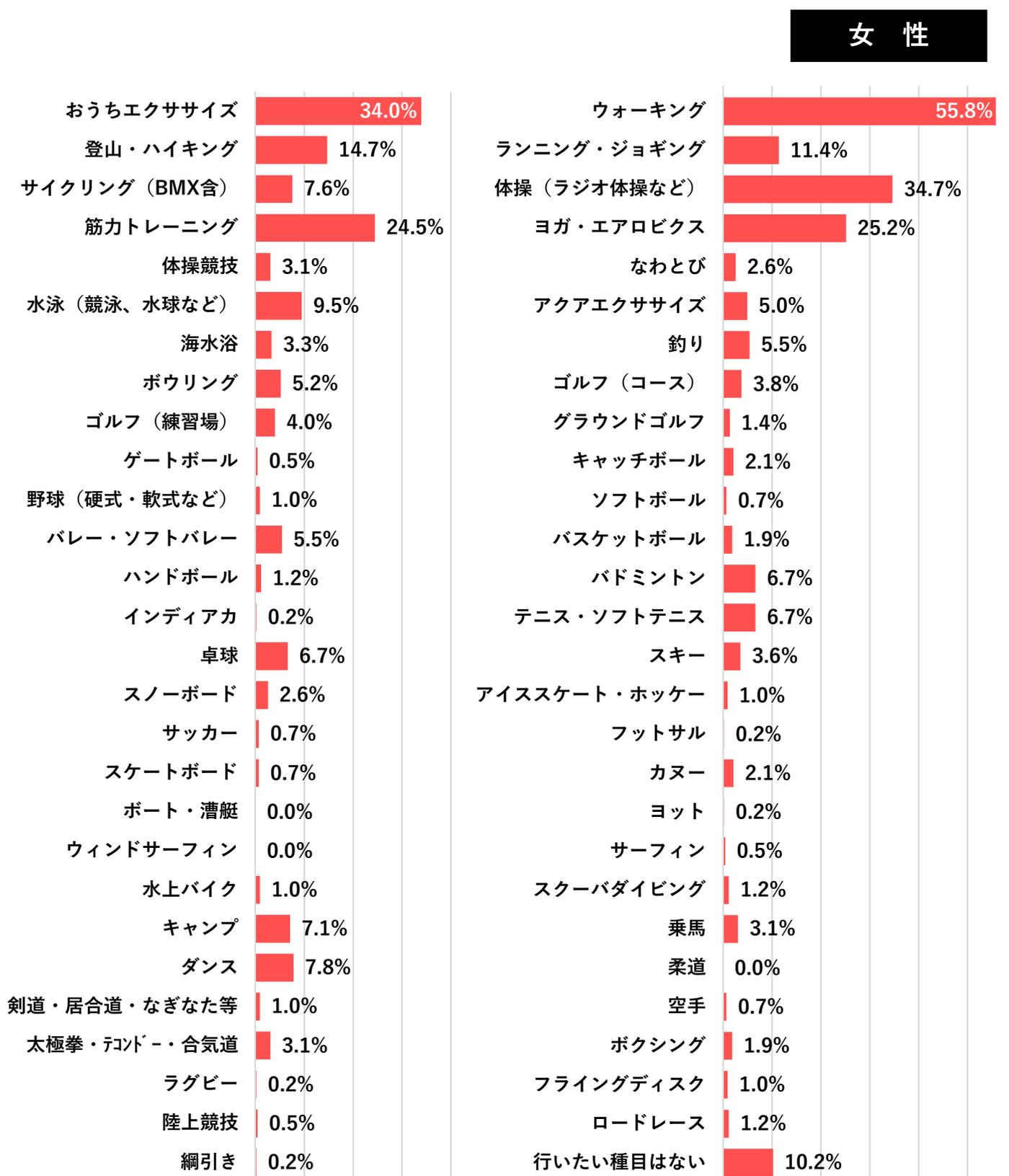


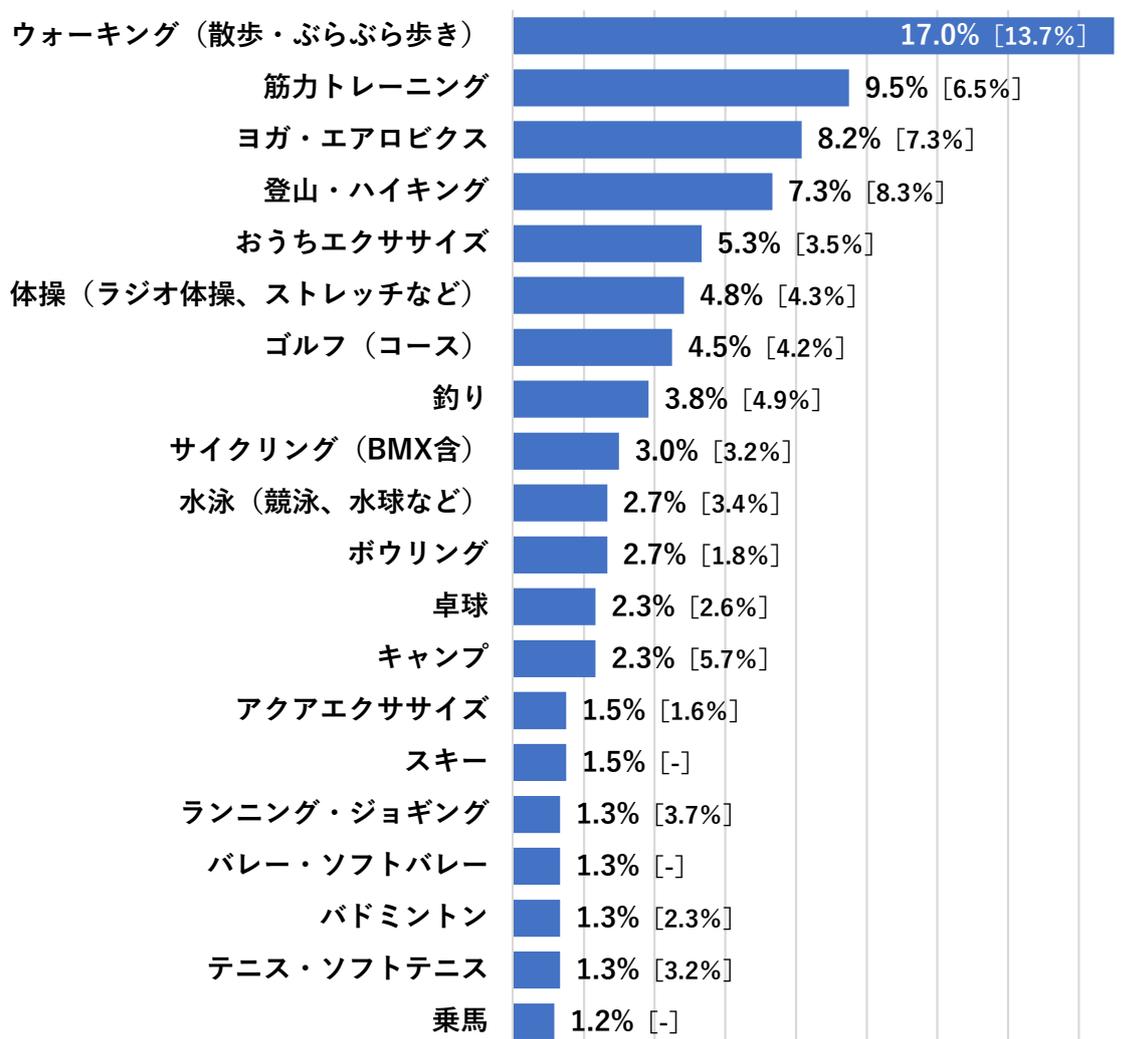
図21. 女性の今後行ってみたい運動・スポーツ種目 (n=421)



8. 今後最も行ってみたい運動・スポーツ種目

図22. 今後最も行ってみたい運動・スポーツ種目・上位20種目 (n=583)

※ [] 内の数値は2022年調査結果



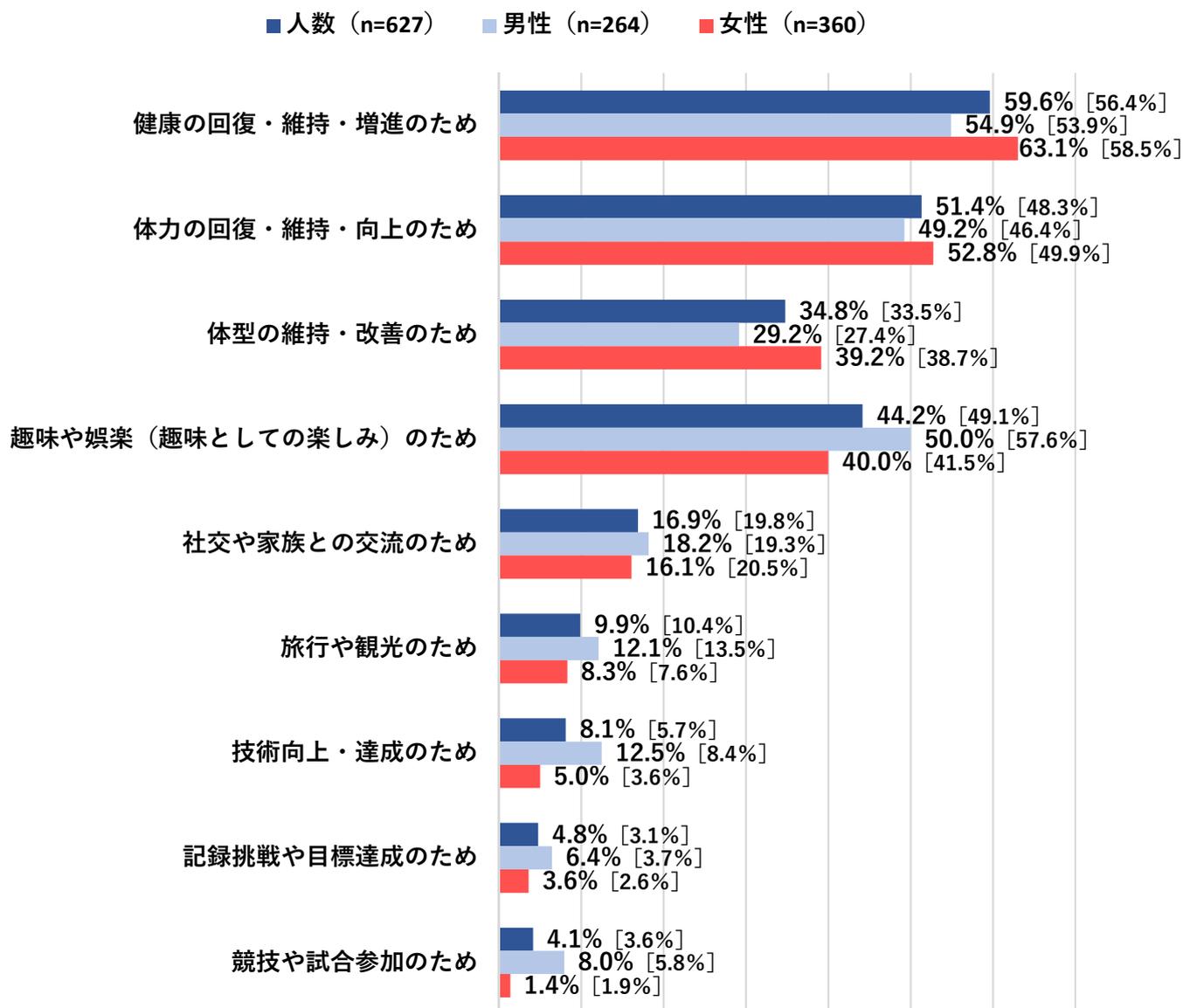
今後行ってみたい運動・スポーツ種目について多肢選択方式で回答してもらったものが、図19（全体）・図20（男性）・図21（女性）である。過去1年間の実施種目と同様、全体的に図中上方にあるエクササイズ系種目や1人で実施できる種目への回答が多い結果となった。男女別にみると、男性は登山やサイクリング、釣り、ゴルフ、キャンプといったアウトドア系の種目に興味を示しており、女性はおうちエクササイズや体操、ヨガ・エアロビクス、ダンス、といったインドア系の種目を重視するという顕著な違いがみられる。

また、今後最も行ってみたい運動・スポーツ種目が図22である。2022年調査と同様、ウォーキングを筆頭にエクササイズ系種目が増加しており、手軽に始められる種目が好まれる結果となった。キャンプについては2022年調査から半減しており、ブームの終焉がうかがえる。

9. 運動・スポーツを行いたい人の行いたい理由

図23. 運動・スポーツを行いたい人の行いたい理由 [複数回答可]

※ [] 内の数値は2022年調査結果



運動・スポーツを行いたい理由についての調査結果では、実施理由とほぼ同じ結果となったが、「健康の回復・維持・増進のため」が多くなる結果となった。男女間でも女性は「健康の回復・維持・増進のため」「体型の維持・改善のため」、男性は「趣味や娯楽のため」「技術向上・達成のため」「競技や試合参加のため」が多く、この結果はP14のスポーツの実施理由と同じ傾向がみられる。

競技志向の者は2022年調査同様に少なく、2027年のワールドマスターズゲームズの開催地の1つである本県として、競技スポーツへの関心を高める取り組みやイベントの開催、魅力を広げるための啓発活動などのより一層の推進が必要と考えられる。

10. 和歌山県民のスポーツクラブ加入率

図24. 和歌山県民のスポーツクラブ加入率 (n=891)

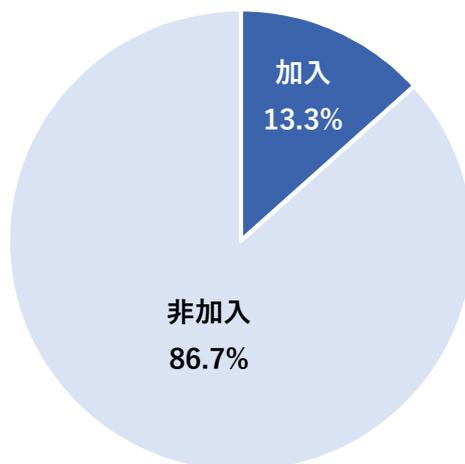
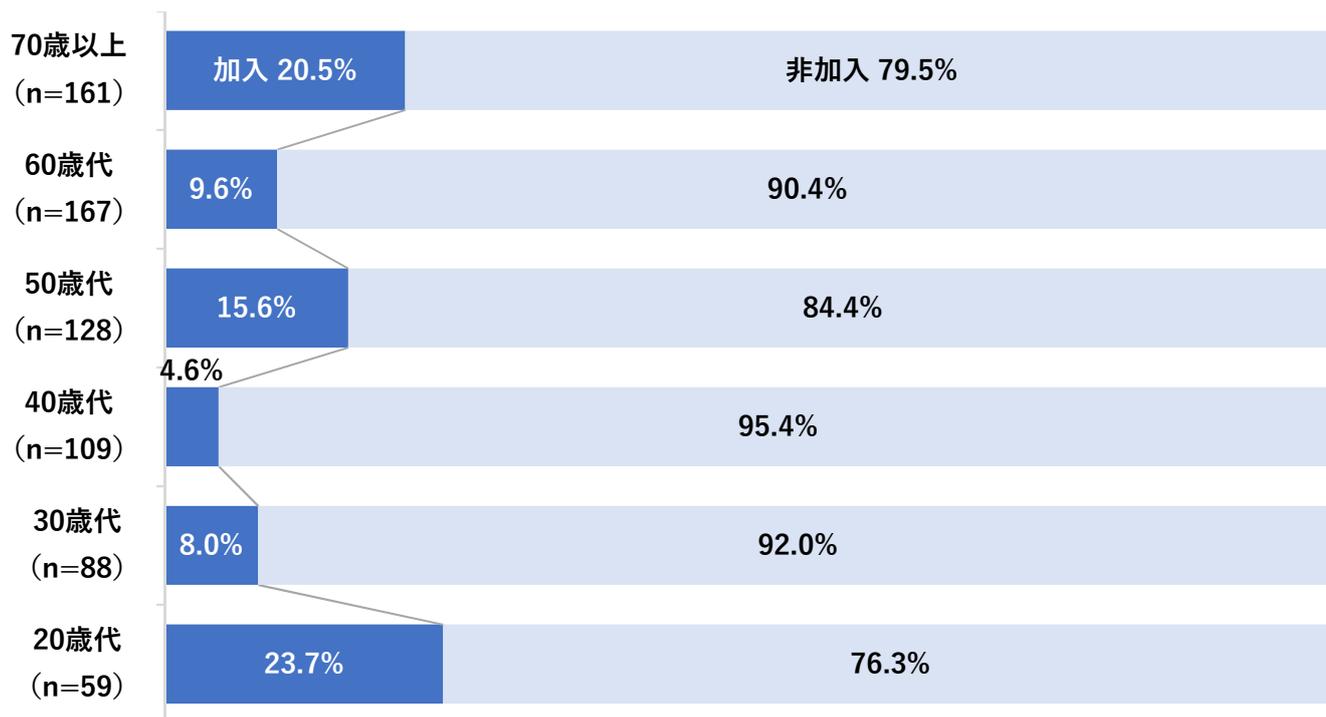


図25. 男女別スポーツクラブ加入率



図26. 年代別クラブ加入率



11. 過去1年間の直接的スポーツ観戦

図27. 過去1年間の直接的スポーツ観戦 [複数回答可] (n=742)

※ [] 内の数値は2022年調査結果

全 体

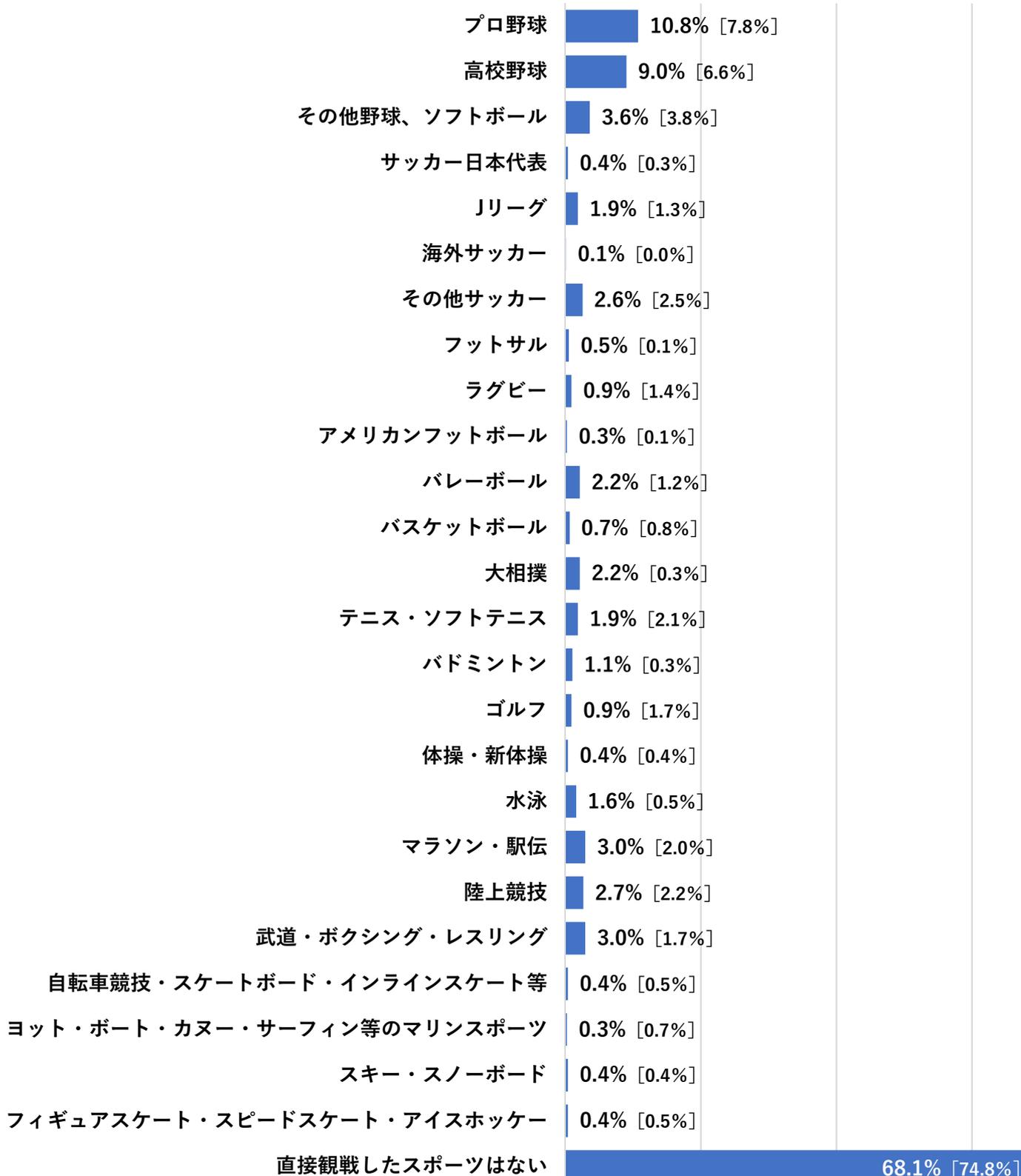
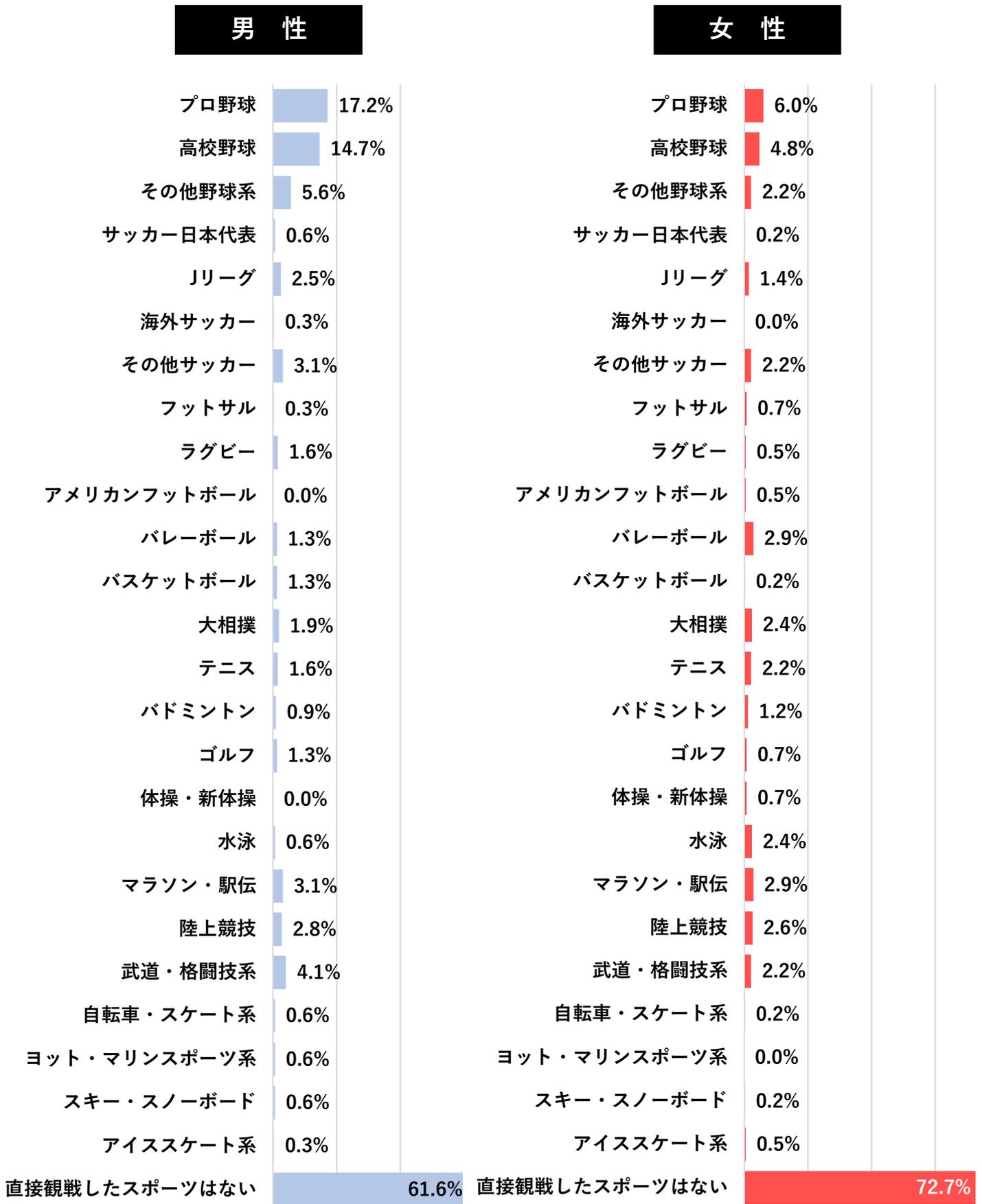


図28. 男女別・過去1年間の直接的スポーツ観戦 [複数回答可] (男性：n=320 女性：n=417)



12. 今後、直接観戦してみたいスポーツ

表1. 今後、直接観戦してみたいスポーツ

	種目名	出現数
球技・チーム スポーツ系種目	プロ野球	132
	高校野球	33
	その他野球	5
	ラグビー	5
	サッカー日本代表	33
	Jリーグ	12
	海外サッカー	1
	その他サッカー	3
	バレーボール	45
	ゴルフ	16
	バスケットボール	15
	テニス	11
	バドミントン	5
	アメリカンフットボール	1
ウォーキング・ ランニング系種目	マラソン・駅伝	9
	陸上競技	4
	水泳	4
	体操・新体操	0
	自転車競技	5
武道・格闘技系種目	大相撲	18
	武道・格闘技	9
シーズンスポーツ系種目	フィギュアスケート等	20
	スキー・スノーボード	0
	ヨット・マリンスポーツ系	3
その他		10

過去1年間の直接的スポーツ観戦についてたずねたところ、図27・28の結果となった。ほぼ全てのカテゴリーで観戦率が低いが、2022年の調査と比較すると全体（図27）の「直接観戦したスポーツはない」は6.7%減少している。男女間（図28）でみると、女性は男性より「直接観戦したスポーツはない」が11.1%高い結果となった。

今後、直接観戦してみたいスポーツについては、表1のとおり圧倒的に野球関連が多い結果となった。和歌山県民の直接スポーツ観戦への興味については、大半が野球観戦で占められているといえる。次点として、バレーボールやサッカー日本代表に興味が集まっている。しかし、直接観戦の実績としてバレーボールが2.2%、サッカー日本代表が0.4%と非常に低く、野球と比べ観戦ハードルの高さが感じられる。このことから、上位種目を県内・近隣県で開催することが、直接観戦者数増加への一歩であるといえる。

13. 過去1年間のテレビやインターネットでのスポーツ観戦

図29. 過去1年間のテレビやインターネットでのスポーツ観戦 [複数回答可] (n=754)

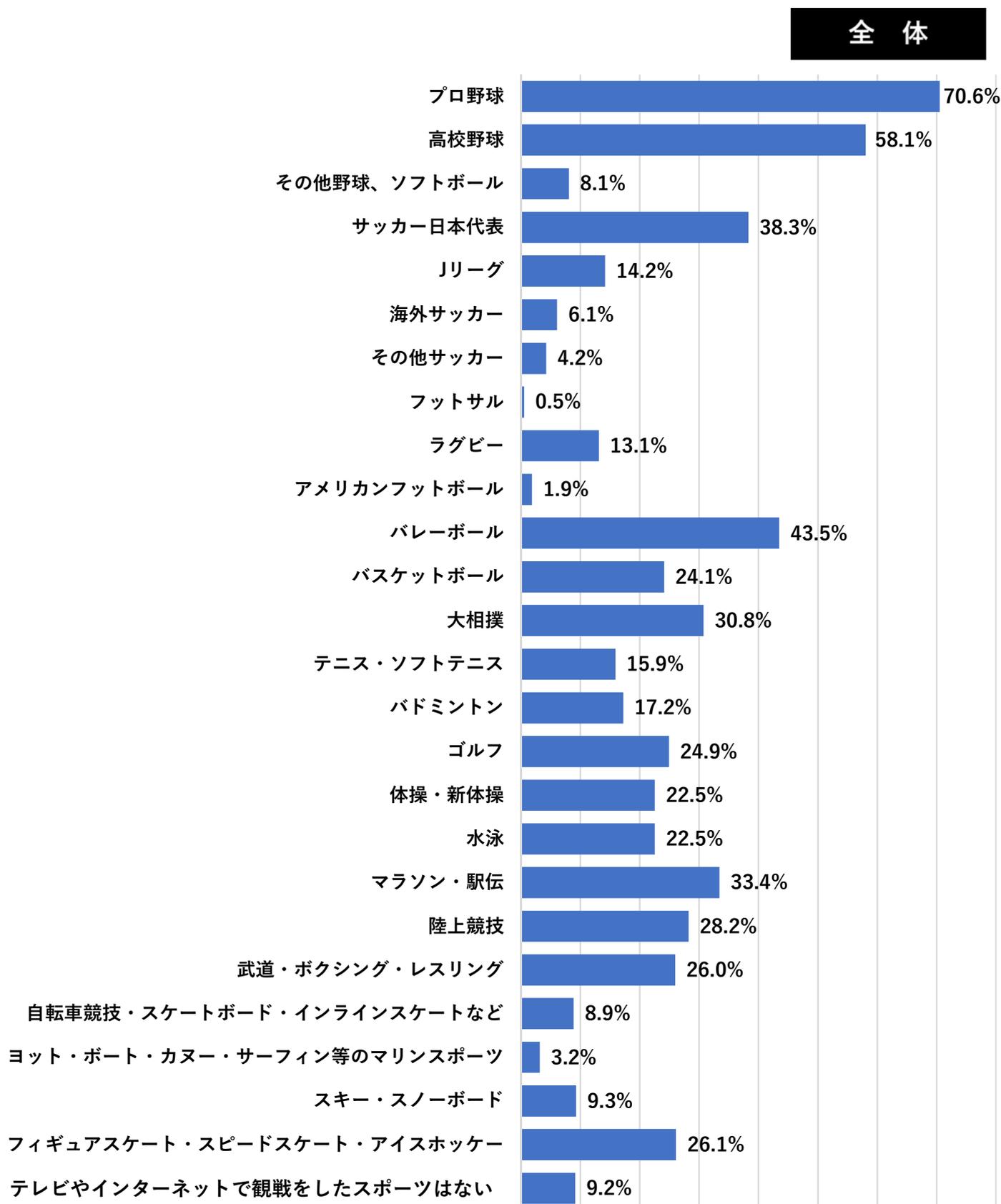
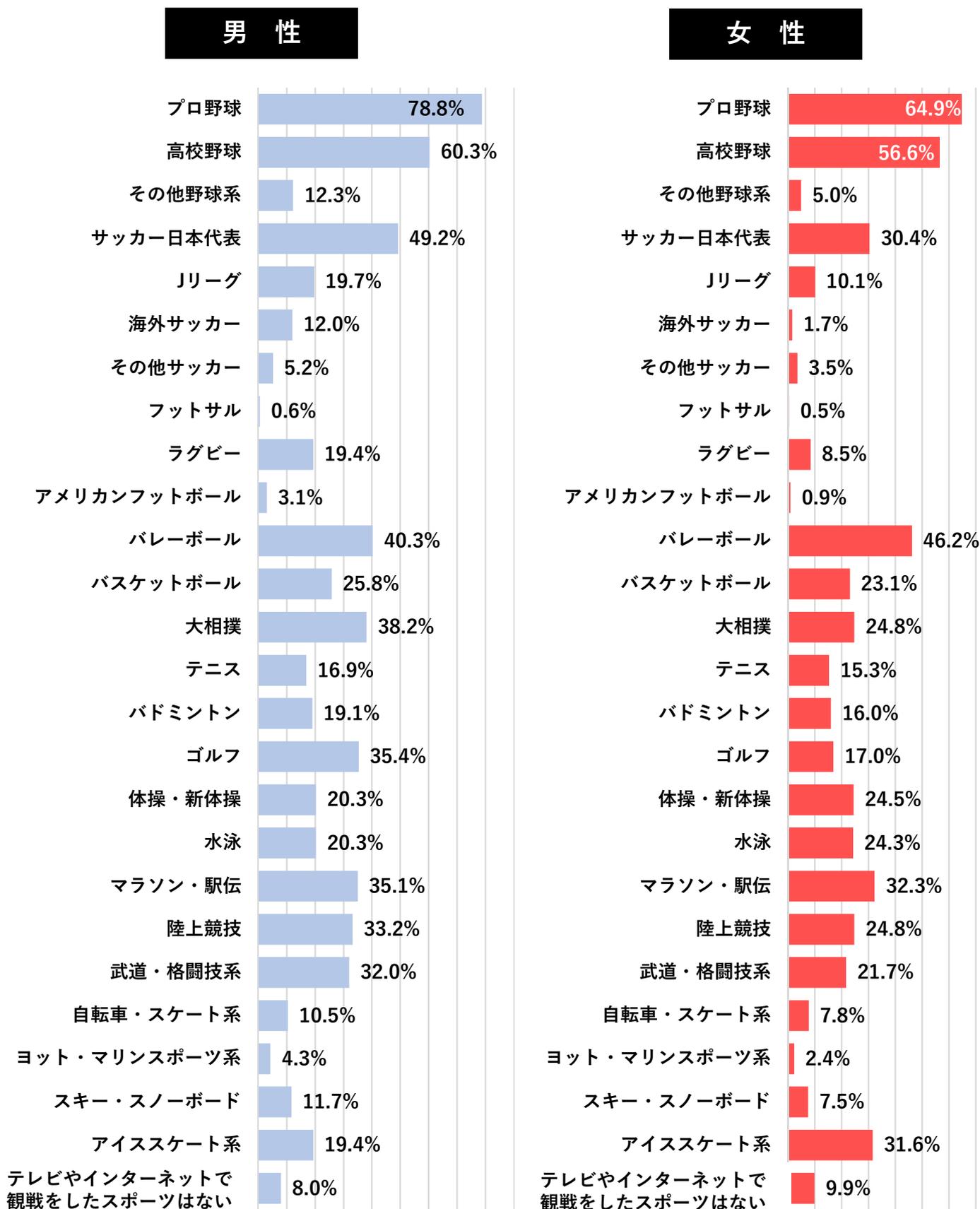


図30. 男女別・過去1年間のテレビやインターネットでのスポーツ観戦 [複数回答可]
 (男性：n=325 女性：n=424)



14. 過去1年間にスポーツに関する情報を得た媒体

図31. 過去1年間のスポーツ情報源 [複数回答可] (n=753)

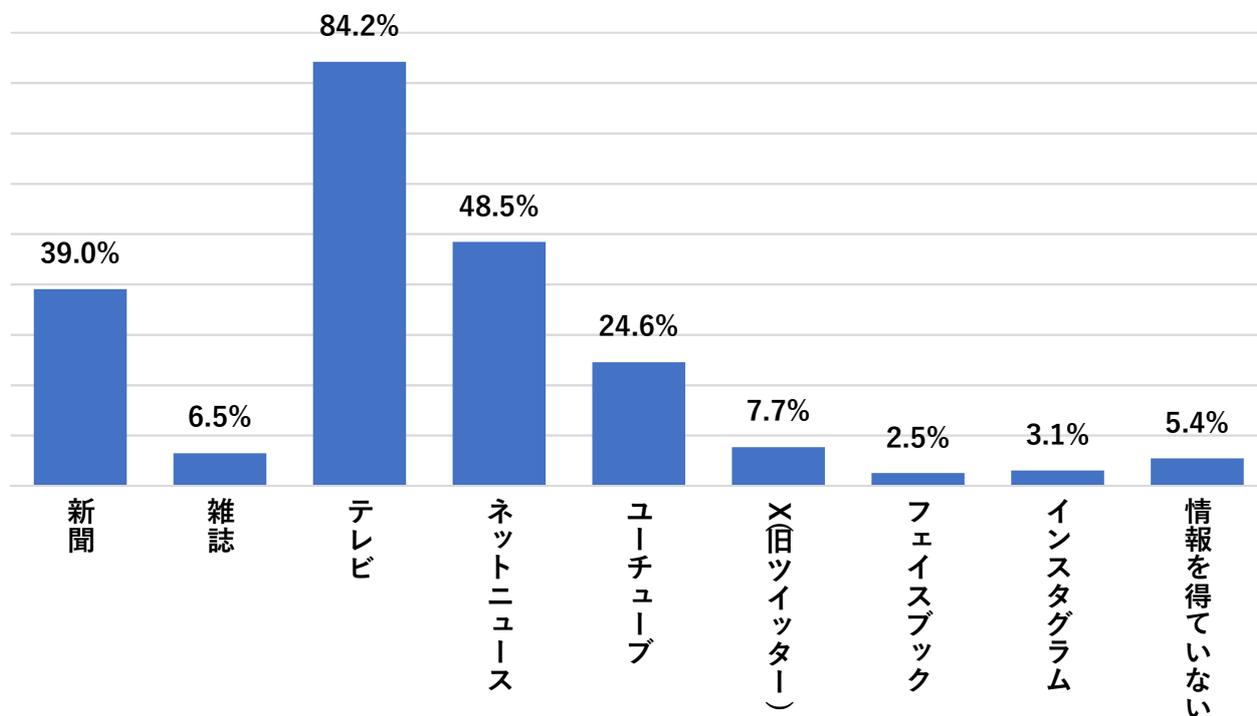
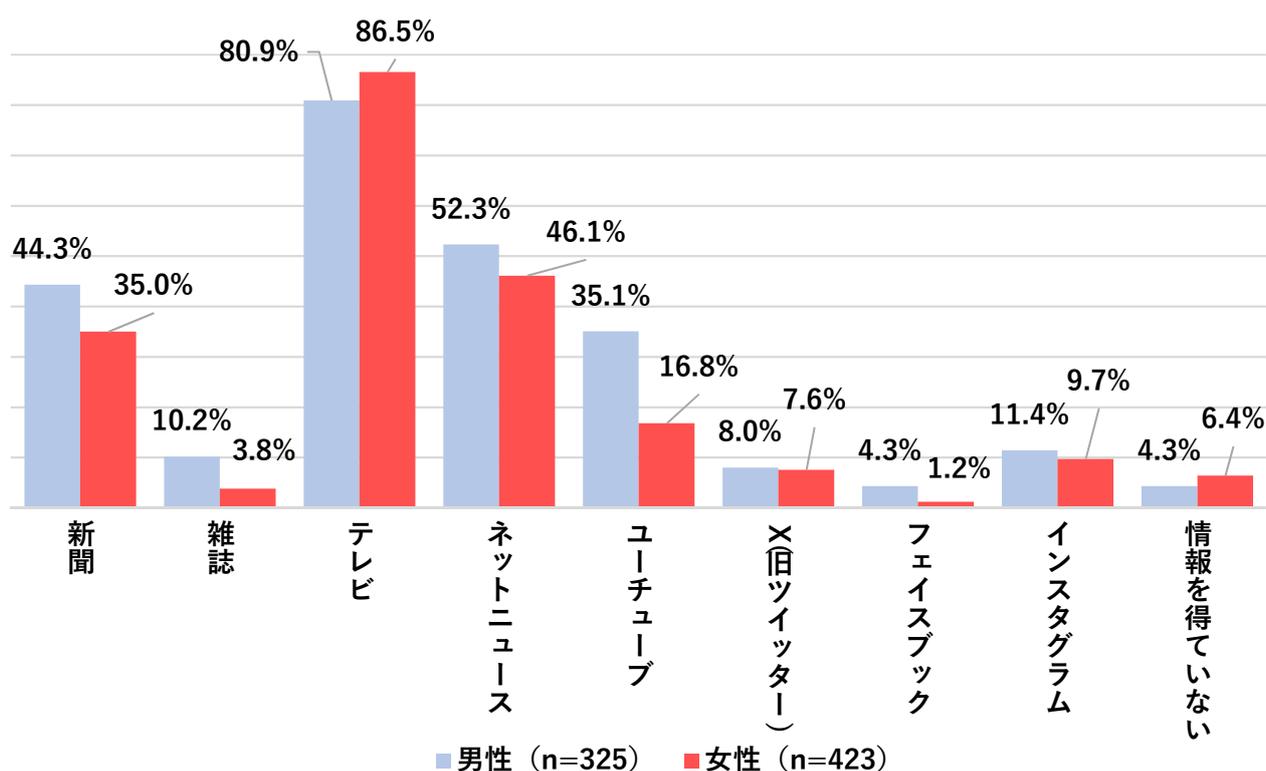


図32. 男女別・過去1年間のスポーツ情報源 [複数回答可]



15. 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体

図33. 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体 (n=752)

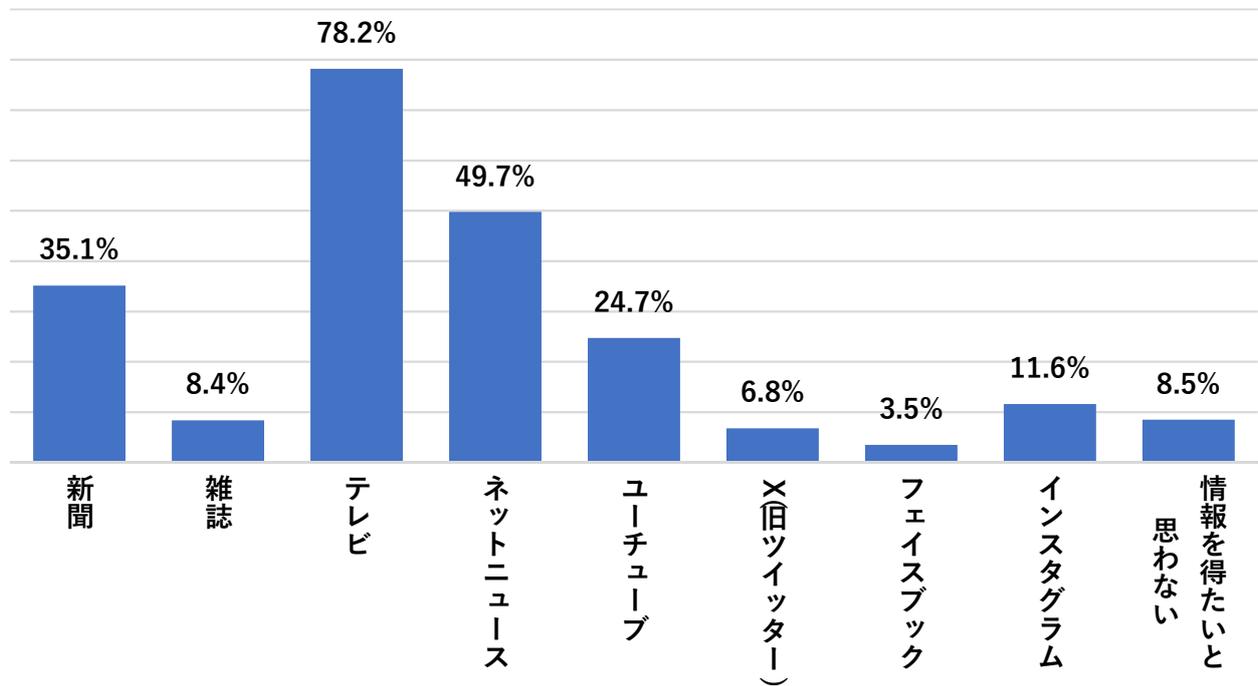
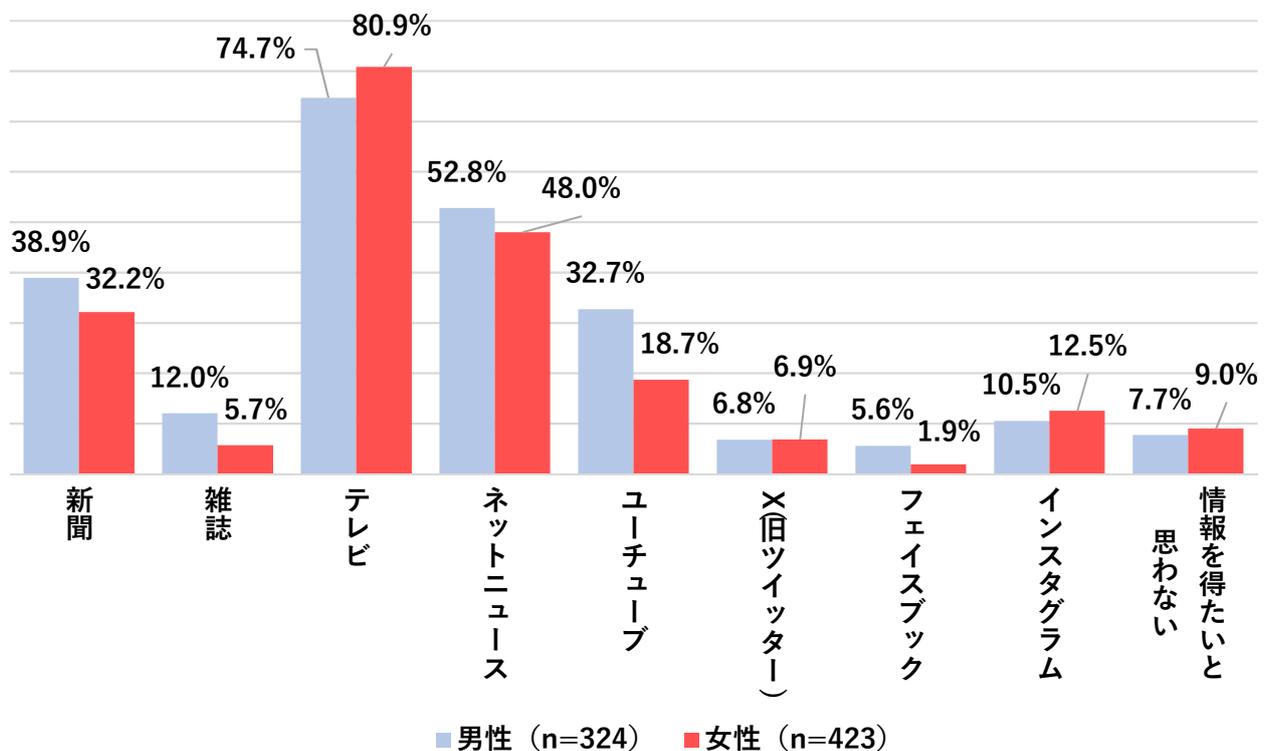


図34. 男女別・今後、スポーツに関する情報を得たい媒体



16. 過去1年間のスポーツボランティア実施状況

図35. 過去1年間のスポーツボランティア実施状況 (n=746)

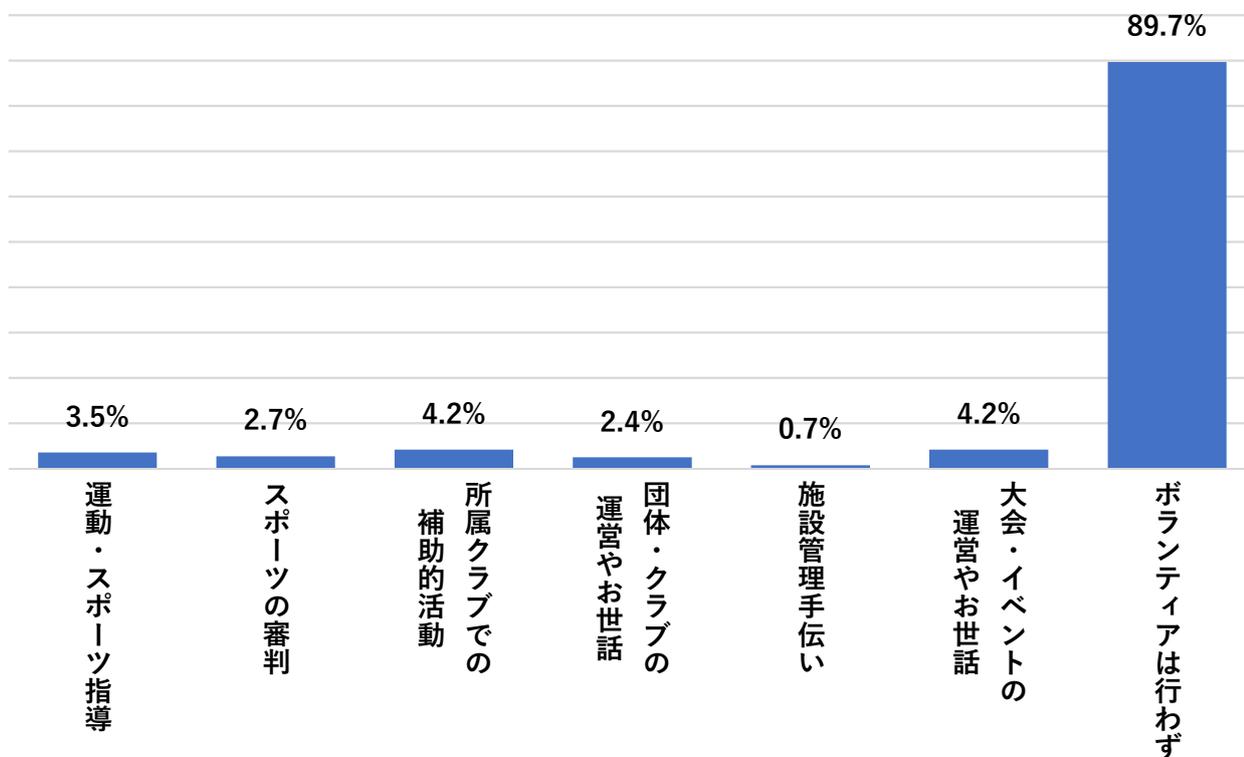
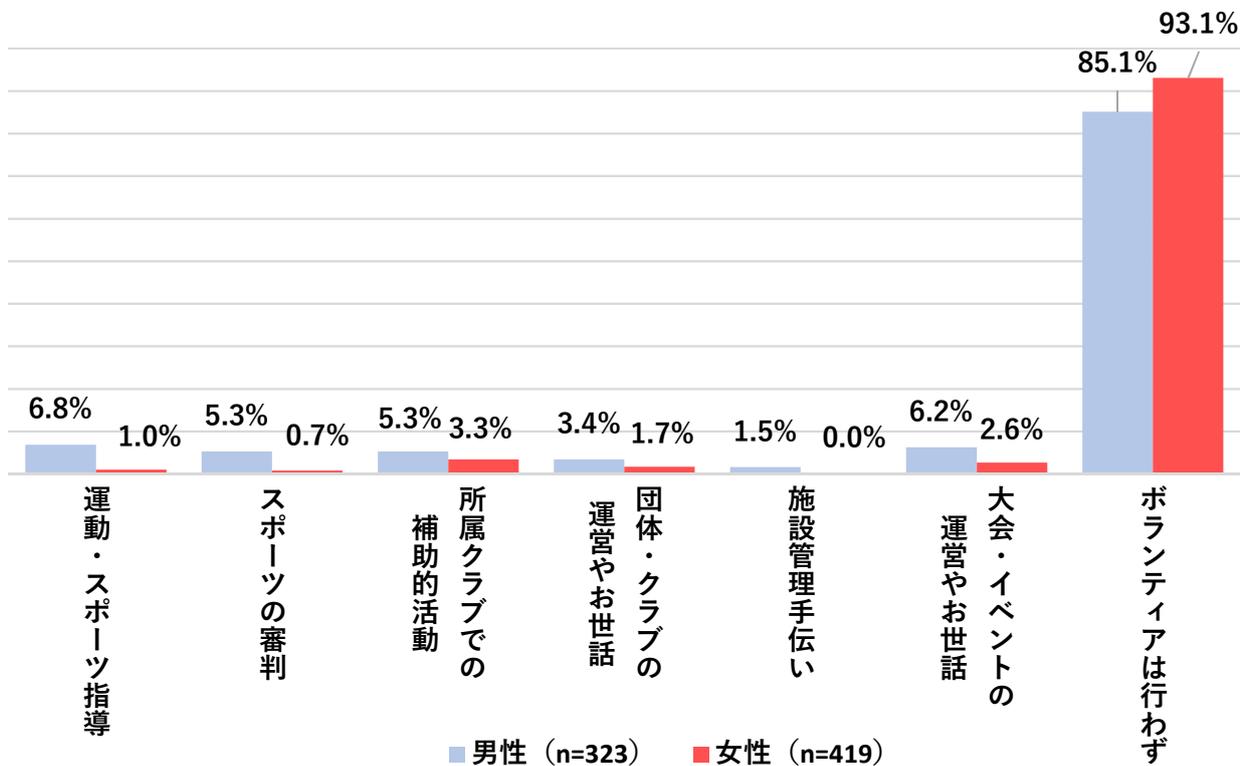


図36. 男女別・過去1年間のスポーツボランティア実施状況



17. スポーツボランティア実施意欲

図37. スポーツボランティア実施意欲

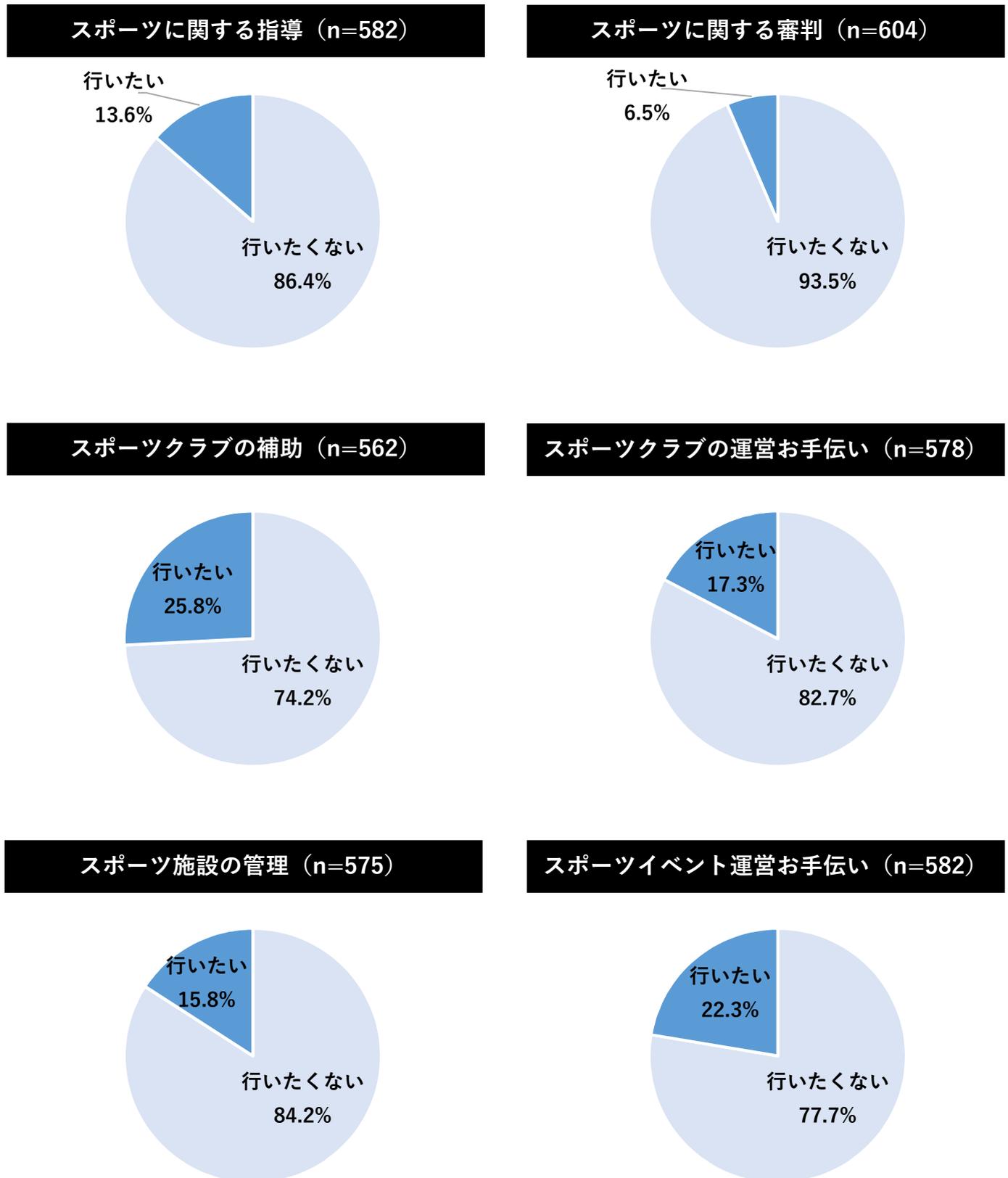
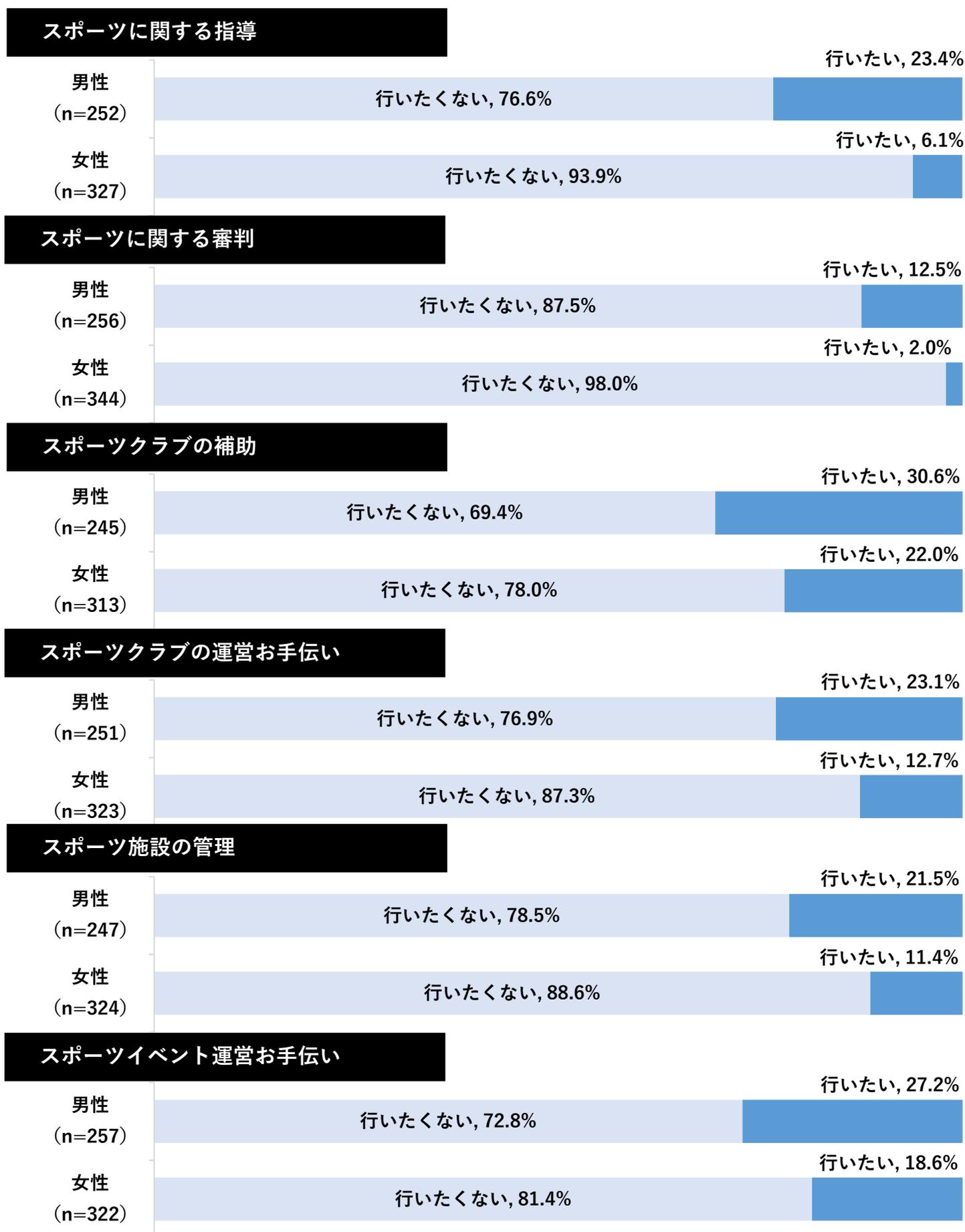


図38. 男女別・スポーツボランティア実施意欲



18. ワールドマスターズゲームズ（WMG）について

図39. WMGの認知率

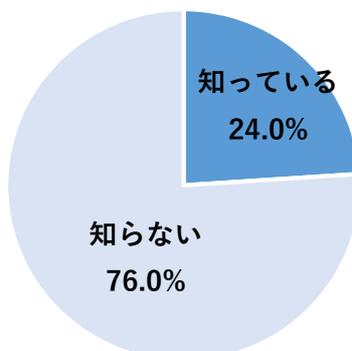


図40. WMGの認知経路

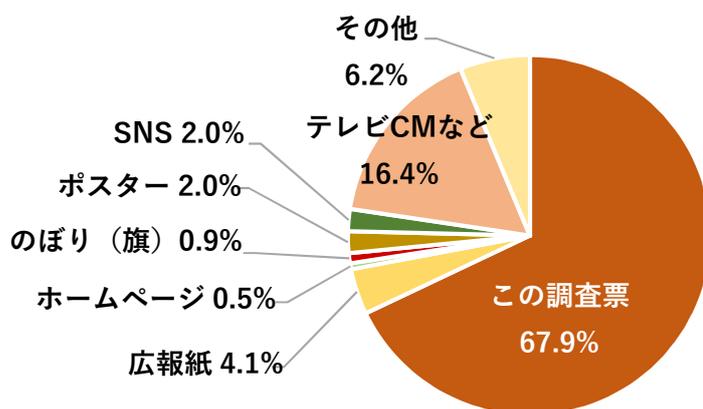


図41. WMGへの興味関心

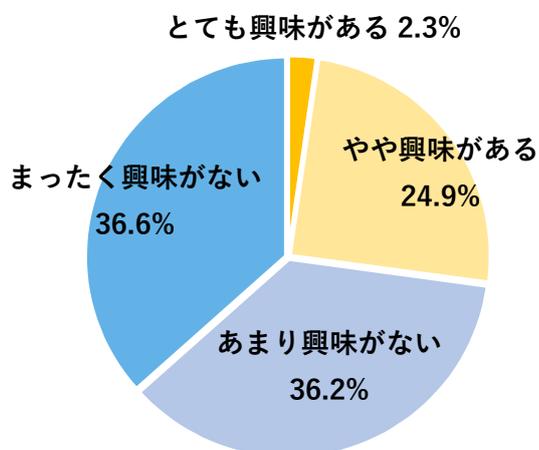


図42. WMGへの参加意欲

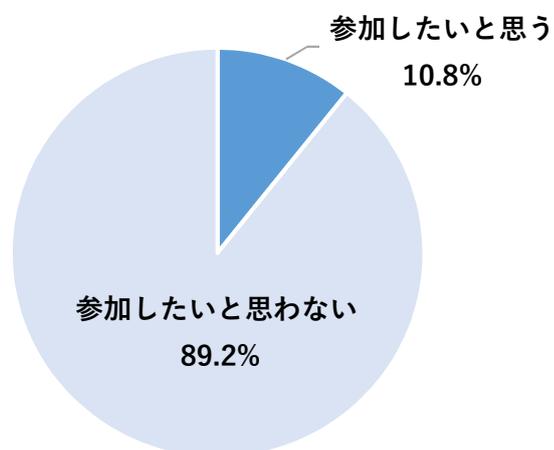
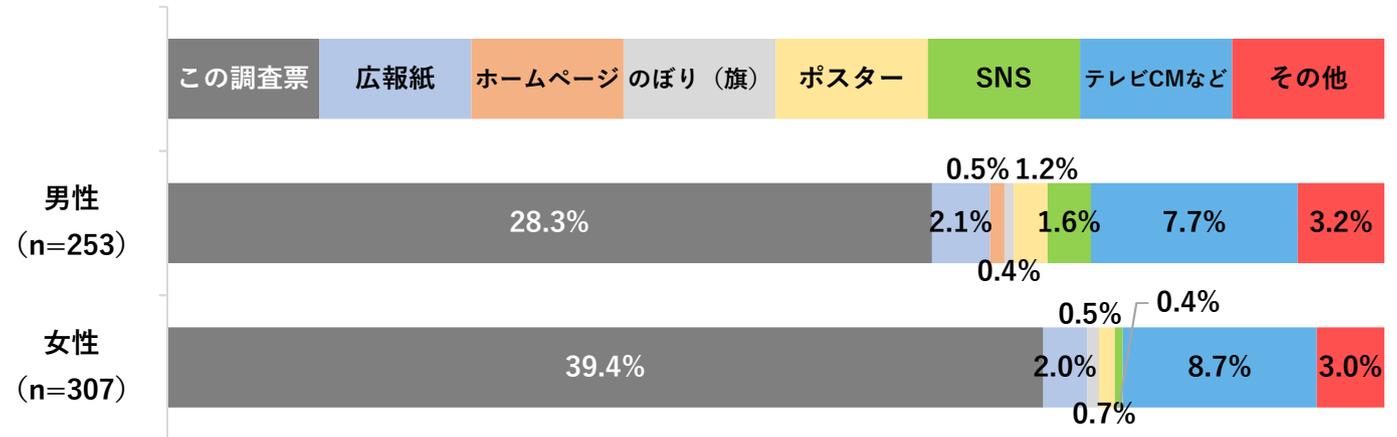


図43. 男女別・WMGの認知・態度

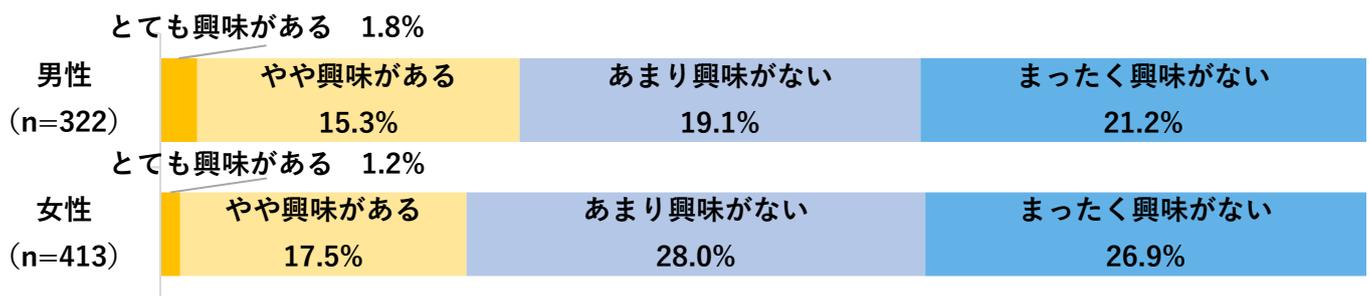
WMGの認知率



WMGの認知経路



WMGへの興味関心



WMGへの参加意欲



19. 自治体に力を入れてほしいこと

図44. 自治体に力を入れてほしいこと [複数回答可] (n=716)

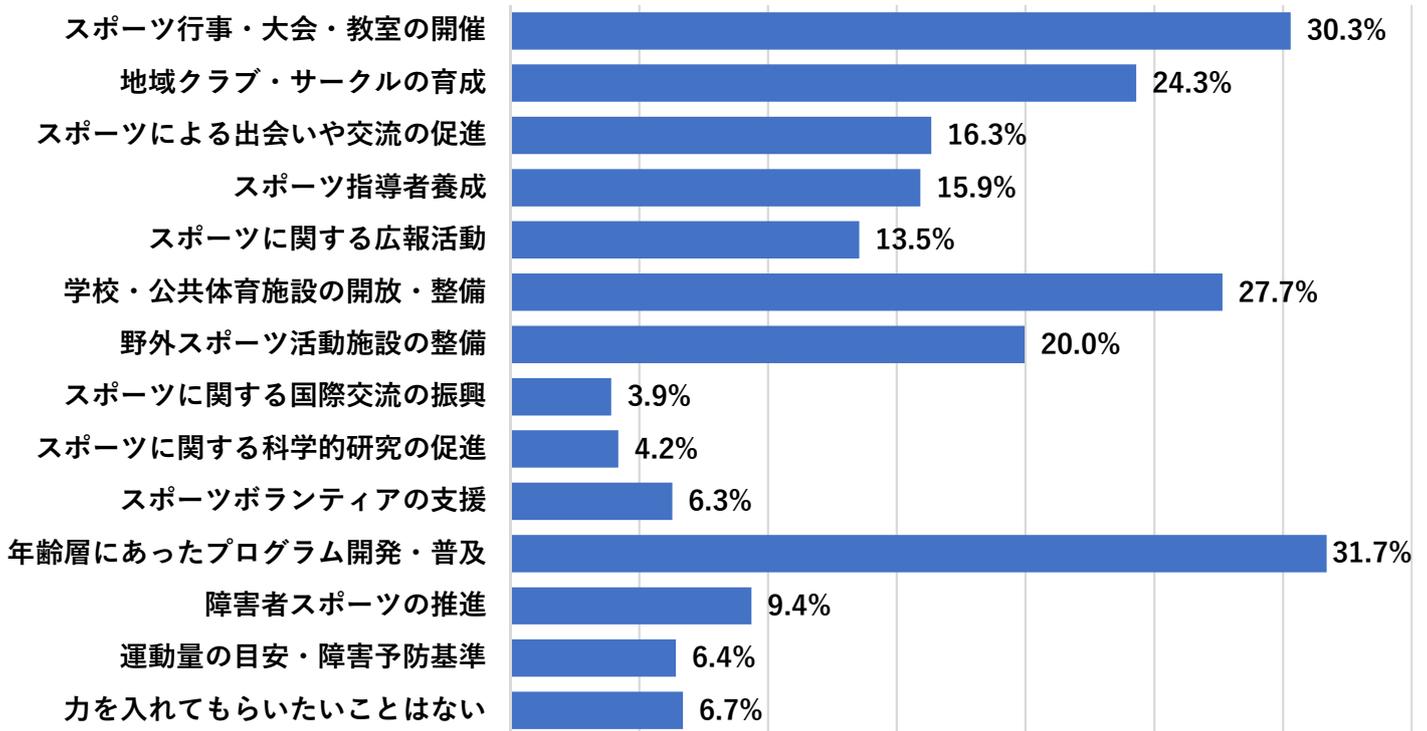


図45. 男女別・自治体に力を入れてほしいこと [複数回答可]

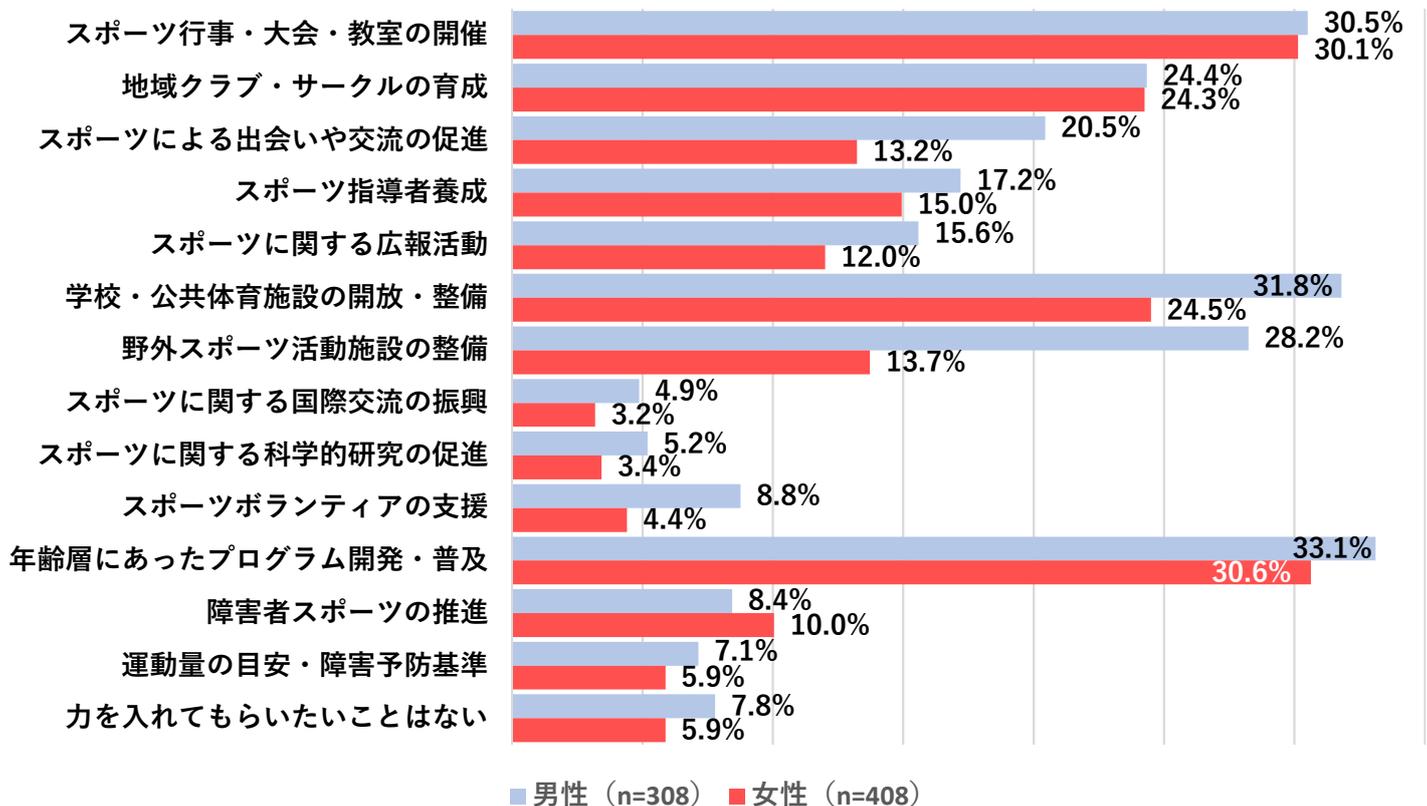
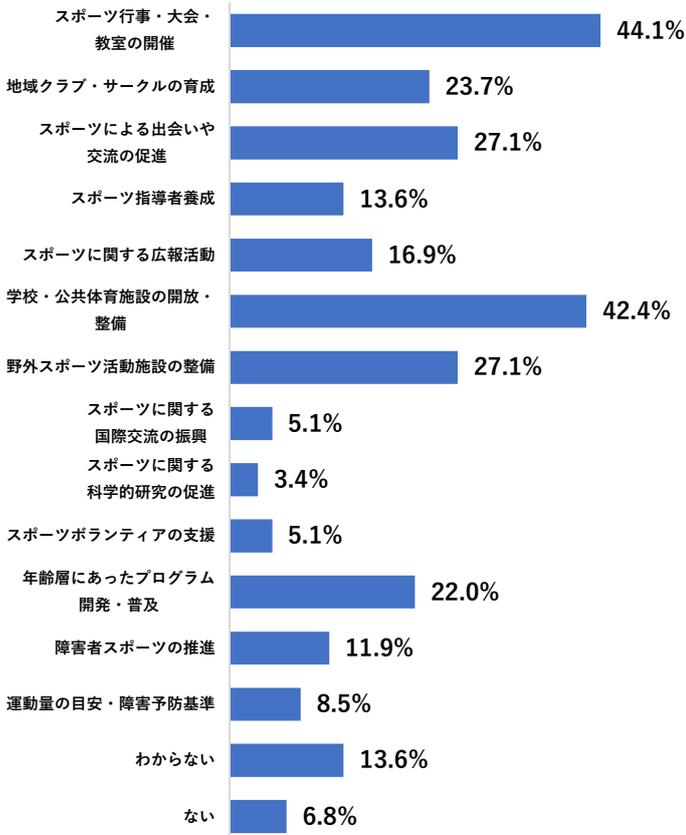
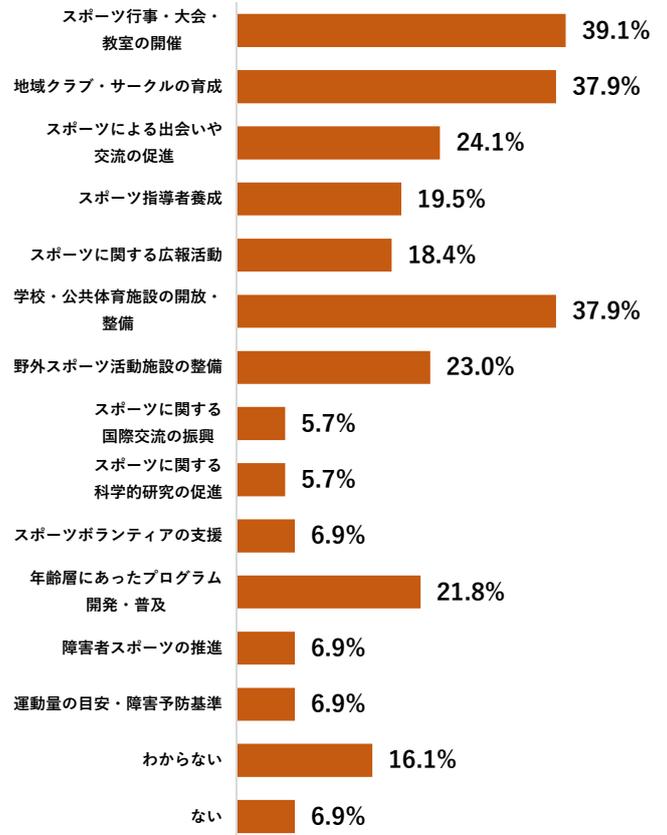


図46. 年代別・自治体に力を入れて欲しいこと [複数回答可]

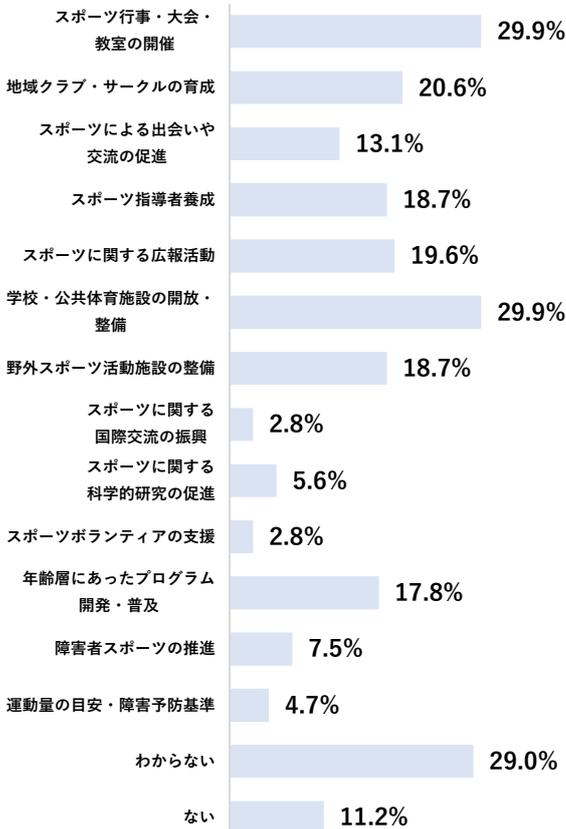
20歳代 (n=59)



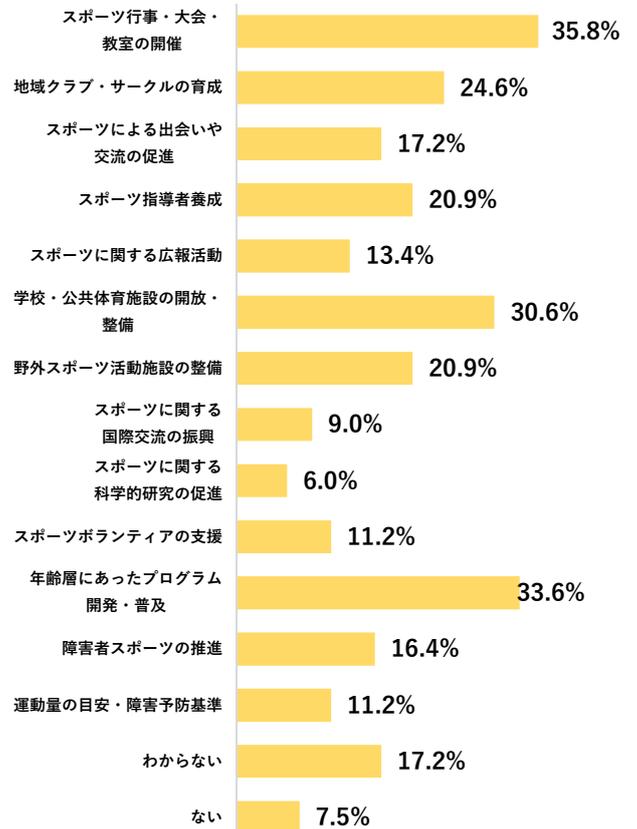
30歳代 (n=87)



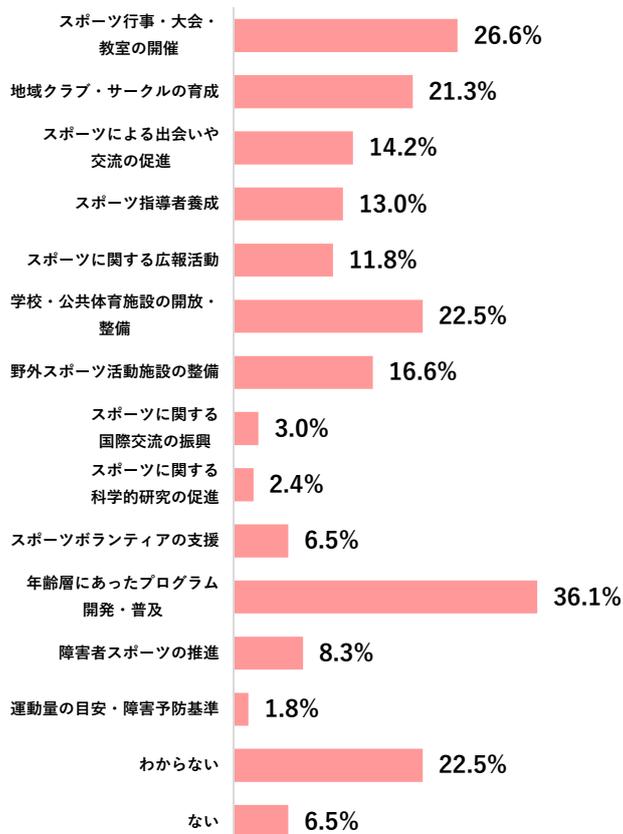
40歳代 (n=107)



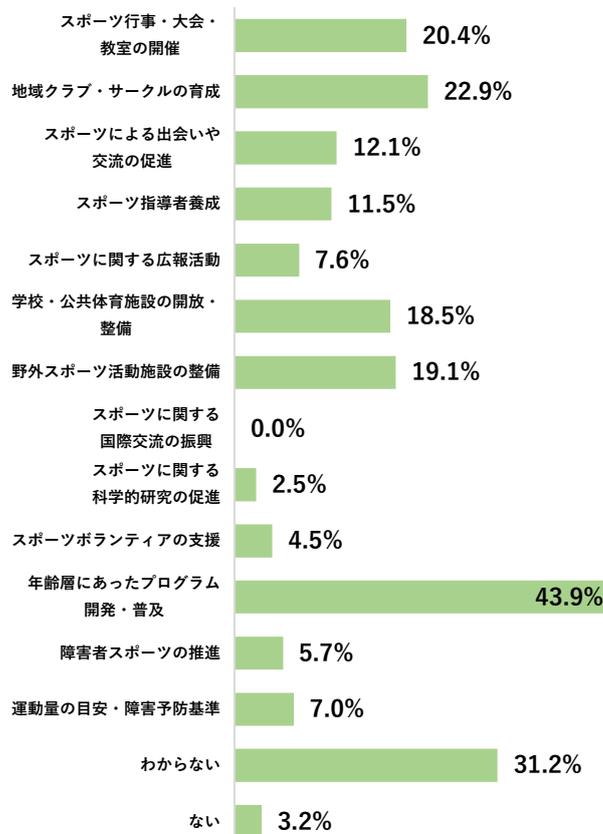
50歳代 (n=134)



60歳代 (n=169)



70歳以上 (n=157)



自治体に力を入れてほしいことを複数回答で答えてもらい、全体、男女別、年代別に示した（図44～46）。全体として、力を入れて欲しいと思っていることは、スポーツ行事・大会・教室の開催、学校・公共体育施設の開放・整備、年齢層にあったプログラム開発・普及の3つであった。若い世代はスポーツ行事・大会・教室の開催の要望が多く、60歳代以上になると年齢層にあったプログラム開発・普及を重視する傾向がみられる。

これらの結果をもとに、全体のニーズに加え、性別・年齢によるニーズを理解することで、効果的にスポーツ振興活動を推進できると考えられる。

20. 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目

表2. 「和歌山県」らしい運動・スポーツ種目（自由記述式2票以上を抜粋）
※ [] 内の数値は2022年調査結果

	種目名	出現数
球技・チーム スポーツ系種目	野球	114 [128]
	高校野球	23 [27]
	サッカー・フットサル	6 [9]
	ゴルフ	7 [9]
	グラウンドゴルフ	3 [5]
	テニス	4 [8]
	卓球・バスマン	6 [-]
	バスケットボール	2 [4]
	バレーボール	4 [3]
	ハンドボール	3 [-]
	陸上ホッケー	3 [-]
	その他	5 [-]
ウォーキング・ ランニング系種目	ハイキング・登山	43 [63]
	ウォーキング	24 [30]
	熊野古道を歩く	7 [3]
	マラソン	12 [23]
	ランニング・ジョギング	3 [8]
	駅伝	3 [5]
	陸上競技	3 [3]
	トライアスロン	5 [8]
	サイクリング・自転車	16 [47]
	水泳	17 [13]
	体操（エクササイズ含む）	10 [4]
	筋力トレーニング	2 [-]
マリンスポーツ系種目	サーフィン	15 [21]
	ヨット・セーリング	13 [20]
	カヌー・ボート	8 [17]
	釣り	10 [18]
	スキューバダイビング	5 [9]
	水上バイク	2 [2]
	ビーチアルティメット	2 [-]
	海水浴	2 [3]
	その他（海水浴、水上バイク等）	24 [29]
武道系種目	合気道	8 [10]
	相撲	5 [8]
	弓道	2 [3]
	フェンシング	3 [-]
	その他	2 [-]
その他種目	スケートボード	2 [6]
	ダンス	2 [-]
	モータースポーツ	2 [-]
	その他	10 [2]

「和歌山県らしい」スポーツ種目に関する自由記述調査の結果が表2である。2022年調査とほぼ同様の結果となっており、野球関連と回答した方が多くみられる。このことが、前述の観戦への興味にも関連していると考えられる。また、山や海に関連する種目が多数挙げられており、自然豊かな和歌山県らしい特色が反映される結果となった。

【資料：調査票】

和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート

アンケートのお願い

皆様には、日頃から県政にご協力いただき、ありがとうございます。

「和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート」は、皆様が日常生活でどのような意見をお持ちかをおうかがいするもので、調査結果は和歌山県の今後のスポーツ振興施策に役立てるための基礎資料とさせていただきます。

ご回答いただく方は、県内にお住まいの20歳代から70歳代までの方から、各世代男女併せて2,400人を市町村の住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

皆様のご意見は、個人が特定されないよう全体を集計して統計的に処理します。また、回答内容や個人情報上記の目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査は個人を対象としていますので、あて名の方ご自身が記入してください。
- 2 回答は、問1から順に、質問ごとに用意した回答の中から、あなた自身にあてはまる番号に○印をつけていただくか、ご意見を記入してください。「その他」にあてはまる場合には、()内に具体的な内容を記入してください。
- 3 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますが、その場合は説明がありますので、指示にしたがってお答えください。
- 4 記入が終わりましたら、アンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、10月31日(木)までに切手を貼らずにご投函ください。(アンケート用紙、返信用封筒には、お名前、ご住所を書いていただく必要はありません)

<この調査についてのお問い合わせ先>
和歌山県企画部企画政策局スポーツ課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
電話：073-441-3688 FAX：073-423-1660

問1 あなたは、以下のスポーツの楽しみ方について、どの程度興味がありますか。それぞれの項目であてはまる番号に○をつけてください。

	まったく 興味がない	あまり 興味がない	やや 興味がある	とても 興味がある
a) スポーツを「する」 (実際にスポーツを実施する)	1	2	3	4
b) スポーツを「みる」 (スポーツの観戦、応援等)	1	2	3	4
c) スポーツを「ささえる」 (スポーツボランティア、誰かがしているスポーツのサポート)	1	2	3	4

問2 過去1年間に運動・スポーツ(学校の授業は除きますが、学校や職場でのクラブ活動は含む)を行いましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。一度でも行ったものがあれば、○をつけてください。一度も行わなかった人は、「(99) この1年間に運動・スポーツは行わなかった」に○をつけてください。

※おうちで行った運動・スポーツがある場合は、「(1) おうちエクササイズ」に○をつけ、さらに具体的な運動・スポーツにも○をつけてください。

(1) おうちエクササイズ	(2) ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き含む)
(3) 登山・ハイキング	(4) ランニング・ジョギング
(5) サイクリング・自転車 (BMX 含む)	(6) 体操 (ラジオ体操、ストレッチなど)
(7) 筋力トレーニング	(8) ヨガ・エアロビクス
(9) 体操競技 (器械体操・美容体操など)	(10) なわとび
(11) 水泳 (競泳、水球など)	(12) アクアエクササイズ (水中歩行など)
(13) 海水浴	(14) 釣り
(15) ボウリング	(16) ゴルフ (コース)
(17) ゴルフ (練習場)	(18) グラウンドゴルフ
(19) ゲートボール	(20) キャッチボール
(21) 野球 (硬式・軟式など)	(22) ソフトボール
(23) バレーボール・ソフトバレーボール	(24) バスケットボール
(25) ハンドボール	(26) バドミントン
(27) インディアカ	(28) テニス・ソフトテニス
(29) 卓球	(30) スキー
(31) スノーボード	(32) アイススケート・アイスホッケー
(33) サッカー	(34) フットサル
(35) インラインスケート・ローラースケート	(36) スケートボード
(37) カヌー	(38) ボート・漕艇
(39) ヨット	(40) ボードセーリング (ウインドサーフィン)
(41) サーフィン	(42) 水上バイク (ジェットスキーなど)
(43) スクーバダイビング	(44) キャンプ
(45) 乗馬	(46) ダンス
(47) 柔道	(48) 剣道・居合道・なぎなた・銃剣道
(49) 空手	(50) 太極拳・テコンドー・合気道
(51) ボクシング	(52) ラグビー
(53) フライングディスク (フリスビー)	(54) 陸上競技
(55) ロードレース (駅伝・マラソン)	(56) 綱引
(57) その他 ()	(58) わからない
(99) この1年間に運動・スポーツは行わなかった	

※ (2) ウォーキングは、通勤や買い物等で1 km 以上歩いた場合を含む

※ (5) サイクリングは、通勤や買い物等で2 km 以上自転車に乗った場合を含む

問3 過去1年間に運動・スポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 週に5日以上 (年251日以上) | (2) 週に3日以上 (年151日～250日) |
| (3) 週に2日以上 (年101日～150日) | (4) 週に1日以上 (年51日～100日) |
| (5) 月に1～3日 (年12日～50日) | (6) 3ヶ月に1～2日 (年4日～11日) |
| (7) 年に1～3日 | (8) 全くしなかった → 問6へ |

○和歌山県では、成人の週1回以上のスポーツ実施率に係る目標を、以下のとおり設定しています。
 ・和歌山県スポーツ推進計画(改訂版)(令和5年6月) R9目標値: 70%
 ・和歌山県長期総合計画(平成29年4月) R8目標値: 70% ※R4時点の実施率 54.5%

問4 問2で答えた、過去1年間に実施した運動・スポーツのうち、①あなた自身にとって最も重要な種目を1つお知らせください。また、その種目を主に、②どこで、③誰と実施しましたか。①～③のそれぞれの項目について、下に記入してください。

①最も重要な種目 (問2の番号で記入)	②その種目を主にどこで	③その種目を主に誰と

問5 問4で答えた種目を行う理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その他に理由がある人は、「(10) その他」に具体的に記入してください

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 健康の回復・維持・増進のため | (2) 体力の回復・維持・向上のため |
| (3) 体型の維持・改善のため | (4) 趣味や娯楽(趣味としての楽しみ)のため |
| (5) 社交や家族との交流のため | (6) 旅行や観光のため |
| (7) 技術向上・達成のため | (8) 記録挑戦や目標達成のため |
| (9) 競技や試合参加のため | (10) その他 () |

【問3で過去1年間に運動・スポーツを「(8) 全くしなかった」と答えた人がお答えください】
問6 過去1年間に、運動・スポーツを行わなかったのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その他に理由がある人は、「(10) その他」に具体的に記入してください

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 仕事や家事、育児が忙しくて時間がないから | (2) 身体が弱いから |
| (3) 年をとったから | (4) 体力に自信がないから |
| (5) 場所や施設がないから | (6) 仲間がないから |
| (7) 指導者がいないから | (8) お金がかかるから |
| (9) 運動・スポーツが好きではないから | |
| (10) その他 () | |

問7 今後、行いたいと思う運動・スポーツ（現在行っている運動・スポーツも含む）がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。今後、行いたいと思う種目がない人は、「(99) 今後、行いたいと思う運動・スポーツはない」に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| (1) おうちエクササイズ | (2) ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き含む） |
| (3) 登山・ハイキング | (4) ランニング・ジョギング |
| (5) サイクリング・自転車（BMX 含む） | (6) 体操（ラジオ体操、ストレッチなど） |
| (7) 筋力トレーニング | (8) ヨガ・エアロビクス |
| (9) 体操競技（器械体操・美容体操など） | (10) なわとび |
| (11) 水泳（競泳、水球など） | (12) アクアエクササイズ（水中歩行など） |
| (13) 海水浴 | (14) 釣り |
| (15) ボウリング | (16) ゴルフ（コース） |
| (17) ゴルフ（練習場） | (18) グラウンドゴルフ |
| (19) ゲートボール | (20) キャッチボール |
| (21) 野球（硬式・軟式など） | (22) ソフトボール |
| (23) バレーボール・ソフトバレーボール | (24) バスケットボール |
| (25) ハンドボール | (26) バドミントン |
| (27) インディアカ | (28) テニス・ソフトテニス |
| (29) 卓球 | (30) スキー |
| (31) スノーボード | (32) アイススケート・アイスホッケー |
| (33) サッカー | (34) フットサル |
| (35) インラインスケート・ローラースケート | (36) スケートボード |
| (37) カヌー | (38) ボート・漕艇 |
| (39) ヨット | (40) ボードセーリング（ウインドサーフィン） |
| (41) サーフィン | (42) 水上バイク（ジェットスキーなど） |
| (43) スクーバダイビング | (44) キャンプ |
| (45) 乗馬 | (46) ダンス |
| (47) 柔道 | (48) 剣道・居合道・なぎなた・銃剣道 |
| (49) 空手 | (50) 太極拳・テコンドー・合気道 |
| (51) ボクシング | (52) ラグビー |
| (53) フライングディスク（フリスビー） | (54) 陸上競技 |
| (55) ロードレース（駅伝・マラソン） | (56) 綱引 |
| (57) その他（ ） | (58) わからない |
| (99) 今後、行いたいと思う運動・スポーツはない | |

※（2）ウォーキングは、通勤や買い物等で1 km 以上歩く場合を含む

※（5）サイクリングは、通勤や買い物等で2 km 以上自転車に乗る場合を含む

問8 問7で答えた、今後行いたいと思う運動・スポーツのうち、①最も行ってみたい種目を1つお知らせください。また、その種目を主に、②どこで、③誰と行ってみたいですか。①～③のそれぞれの項目について、下に記入してください。

①最も行ってみたい種目	②その種目を主にどこで	③その種目を主に誰と
(問7の番号で記入)		

問9 問8で答えた種目を今後行ってみたい理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その他に理由がある人は、「(10) その他」に具体的に記入してください

(1) 健康の回復・維持・増進のため	(2) 体力の回復・維持・向上のため
(3) 体型の維持・改善のため	(4) 趣味や娯楽(趣味としての楽しみ)のため
(5) 社交や家族との交流のため	(6) 旅行や観光のため
(7) 技術向上・達成のため	(8) 記録挑戦や目標達成のため
(9) 競技や試合参加のため	(10) その他()

問10 現在、スポーツクラブやクラブチーム、同好会に加入していますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、「(1) 加入している」を選んだ人は、加入しているスポーツクラブやクラブチーム、同好会名を記入してください。

(1) 加入している	(2) 加入していない
<加入しているスポーツクラブやクラブチーム、同好会名>	

問 11 過去 1 年間に競技場やグラウンドなどで、直接観戦をした種目はありますか。直接観戦をした種目の番号すべてに○をつけてください。直接観戦した種目がない人は、「(99) 直接観戦をした種目はない」に○をつけてください。

(1) プロ野球 (NPB、メジャーリーグ含む)	(2) 高校野球
(3) その他野球、ソフトボール	(4) サッカー日本代表
(5) Jリーグ (J1、J2、J3)	(6) 海外サッカー
(7) その他サッカー	(8) フットサル
(9) ラグビー (リーグワン、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む)	
(10) アメリカンフットボール (NFL 含む)	(11) バレーボール (Vリーグ、日本代表含む)
(12) バasketボール (Bリーグ、NBA 含む)	(13) 大相撲
(14) テニス	(15) バドミントン
(16) ゴルフ	(17) 体操・新体操
(18) 水泳 (競泳、水球、飛び込み等)	(19) マラソン・駅伝
(20) 陸上競技	
(21) 武道 (柔道・剣道・空手)・格闘技・ボクシング・レスリング	
(22) 自転車競技 (競輪を除く)・スケートボード・インラインスケート等	
(23) ヨット・ボート・カヌー・サーフィン等のマリンスポーツ (競艇を除く)	
(24) スキー (アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他)・スノーボード	
(25) フィギュアスケート・スピードスケート・アイスホッケー	
(26) その他 ()	
(99) 直接観戦をした種目はない	

問 12 今後、直接観戦をしてみたい種目は何ですか。①どの種目を、②どこで、③誰と直接観戦してみたいか、①～③のそれぞれの項目について、下にご記入ください。直接観戦をしてみたい種目がない人は、記入の必要はありません。問 13 へお進みください。

①直接観戦をしてみたい種目	②その種目を主にどこで	③その種目を主に誰と
(問 11 の番号で記入)		

問 13 過去1年間にテレビやインターネットで試合等の観戦をした種目は何ですか。観戦をした種目の番号すべてに○をつけてください。観戦をした種目がない人は、「(99) テレビやインターネットで観戦をした種目はない」に○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------|
| (1) プロ野球 (NPB、メジャーリーグ含む) | (2) 高校野球 |
| (3) その他野球、ソフトボール | (4) サッカー日本代表 |
| (5) Jリーグ (J1、J2、J3) | (6) 海外サッカー |
| (7) その他サッカー | (8) フットサル |
| (9) ラグビー (リーグワン、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む) | |
| (10) アメリカンフットボール (NFL含む) | (11) バレーボール (Vリーグ、日本代表含む) |
| (12) バスケットボール (Bリーグ、NBA含む) | (13) 大相撲 |
| (14) テニス | (15) バドミントン |
| (16) ゴルフ | (17) 体操・新体操 |
| (18) 水泳 (競泳、水球、飛び込み等) | (19) マラソン・駅伝 |
| (20) 陸上競技 | |
| (21) 武道 (柔道・剣道・空手)・格闘技・ボクシング・レスリング | |
| (22) 自転車競技 (競輪を除く)・スケートボード・インラインスケート等 | |
| (23) ヨット・ボート・カヌー・サーフィン等のマリンスポーツ (競艇を除く) | |
| (24) スキー (アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他)・スノーボード | |
| (25) フィギュアスケート・スピードスケート・アイスホッケー | |
| (26) その他 () | |
| (99) テレビやインターネットで観戦をした種目はない | |

問 14 過去1年間に運動・スポーツに関する情報をどこから得ましたか。情報を得た項目の番号すべてに○をつけてください。情報を得ていない人は、「(10) 情報を得ていない」に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| (1) 新聞 | (2) 雑誌 | (3) テレビ (ニュース番組等) |
| (4) ネットニュース | (5) YouTube | (6) Twitter |
| (7) Facebook | (8) Instagram | (9) その他 |
| (10) 情報を得ていない | | |

問 15 今後、運動・スポーツに関する情報をどこから得たいですか。情報を得たい項目の番号すべてに○をつけてください。情報を得たいと思わない人は、「(10) 情報を得たいと思わない」に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------|-------------------|
| (1) 新聞 | (2) 雑誌 | (3) テレビ (ニュース番組等) |
| (4) ネットニュース | (5) YouTube | (6) Twitter |
| (7) Facebook | (8) Instagram | (9) その他 |
| (10) 情報を得たいと思わない | | |

問 16 過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがありますか。行ったボランティア活動の番号すべてに○をつけてください。ボランティア活動を行っていない人は、「(8) ボランティア活動を行わなかった」に○をつけてください。

※ここでいうボランティア活動とは、報酬を目的としないで、自分の労力・技術・時間を提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進のために行う活動のことを意味します。ただし、活動に必要な交通費等、実費程度の金額の受け取りは報酬に含めません。

- | | |
|--|-------------------|
| (1) 運動・スポーツの指導 | (2) スポーツの審判 |
| (3) 自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動
(参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、役員や会計係等) | |
| (4) 団体・スポーツクラブの運営やお世話 | (5) スポーツ施設の管理の手伝い |
| (6) 大会・イベントの運営やお世話 | |
| (7) その他 () | |
| (8) ボランティア活動を行わなかった | |

問 17 今後、スポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。それぞれのボランティア活動の種類ごとであなただの思いにあてはまる番号にそれぞれ1つずつ○をつけてください。

ボランティア活動の種類	今後ボランティア活動を行いたいと思いますか。(○は1つ)
a) 運動・スポーツの指導	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
b) スポーツの審判	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
c) 自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
d) 団体・スポーツクラブの運営やお世話	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
e) スポーツ施設の管理の手伝い	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
f) 大会・イベントの運営やお世話	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない

問 18 「ワールドマスターズゲームズ (WMG)」という言葉を知っていますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- (1) はい (2) いいえ

<p>※ワールドマスターズゲームズ (WMG) とは・・・ 国際マスターズゲームズ協会 (IMGA) が4年ごとに主宰する、概ね 30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツ の国際総合競技大会です。 選手その他、監督・コーチ、ボランティアとして参加できます! WMG に関する情報は WMG 和歌山県実行委員会のホームページや SNS (Facebook、Twitter、Instagram) に掲載していますので、是非 ご覧ください!</p>	(QRコード) 	(WMG ロゴマーク) 
--	--	--

問 19 「ワールドマスターズゲームズ (WMG)」という言葉を知りましたか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- (1) この調査票で知った (2) 広報紙 (3) ホームページ
(4) のぼり (旗) (5) ポスター (6) SNS
(7) テレビ (CM など) (8) その他 ()

問 20 2027年 (令和9年) に開催が決定した、関西各地域で開催される「ワールドマスターズゲームズ関西」に対して、興味や関心がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- (1) とても興味がある (2) やや興味がある
(3) あまり興味がない (4) まったく興味がない

問 21 「ワールドマスターズゲームズ関西」に参加したいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、「(2) 参加したいと思わない」と回答した人は、その理由をご記入ください。

- (1) 参加したいと思う (2) 参加したいと思わない

【参加したいと思わない理由 (記述)】

問 22 問 21 で「(1) 参加したいと思う」と回答した人は、どのような立場で参加したいですか。参加したいと思う立場にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| (1) 競技出場者 (選手) | (2) 競技関係者 (監督・コーチ等) |
| (3) ボランティア | |

問 23 スポーツをもっと振興させるために、県や市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。項目にない場合や具体的に記入いただける場合は、「(16) その他」にご記入ください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| (1) 各種スポーツ行事・大会・教室の開催 | (2) 地域のクラブやサークルの育成 |
| (3) スポーツによる出合いや交流の促進 | (4) スポーツ指導者の養成 |
| (5) スポーツに関する広報活動 | (6) 学校体育施設・公共スポーツ施設の開放・整備 |
| (7) 野外スポーツ活動施設の整備 | (8) スポーツに関する国際交流の振興 |
| (9) スポーツに関する科学研究の促進 | (10) スポーツボランティアの支援 |
| (11) 年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発・普及 | |
| (12) 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の推進 | |
| (13) 運動量の目安となる指針・外傷・障害の防止 | |
| (14) わからない | |
| (15) 力を入れてもらいたいと思うことはない | |
| (16) その他 (具体的に： _____) | |

問 24 あなたの思う、「和歌山県らしい運動・スポーツ」は何ですか。また、なぜその運動・スポーツだと思いましたか。簡単に理由をお答えください。

<運動・スポーツ名>

<理由>

【あなたご自身のことについてお聞きします。すべての人がお答えください。】

問 25 性別の番号に○をつけてください。

(1) 男性 (2) 女性

問 26 現在の年齢を記入してください。

() 歳

問 27 主な職業はこの中のどれに当たりますか。あてはまる職種の番号に○をつけてください。

<自営業者>

- (1) 専門・技術職（開業医、弁護士事務所経営者など）
- (2) 事務職
- (3) 販売・サービス・保安職（小売店、飲食店、理髪店など）
- (4) 農林漁業職（植木職、造園師を含む）
- (5) 生産・運輸・建設・労務職（個人タクシー、工務店経営など）
- (6) その他（ ）

<家族従業者>

- (7) 家族従業者（家族が経営する事業の手伝い）

<勤め人（被雇用者）>

- (8) 管理職（官庁・会社の課長以上）
- (9) 専門・技術職（教員、技術者、研究者、弁護士、病院勤務医師など）
- (10) 事務職（事務系会社員・公務員、営業職など）
- (11) 販売・サービス・保安職（販売店の店員、ウェイター、守衛、インストラクターなど）
- (12) 農林漁業職（植木職、造園師を含む）
- (13) 生産・輸送・建設・労務職（工場勤務、運転手など）
- (14) その他（ ）

<その他>

- (15) 主婦・主夫
- (16) 学生
- (17) 無職
- (18) その他（ ）
- (19) 答えたくない

問 28 現在お住まいの地域の番号に○をつけてください。

(1) 和歌山市	(2) 海南市	(3) 橋本市	(4) 有田市	(5) 御坊市
(6) 田辺市	(7) 新宮市	(8) 紀の川市	(9) 岩出市	(10) 紀美野町
(11) かつらぎ町	(12) 九度山町	(13) 高野町	(14) 湯浅町	(15) 広川町
(16) 有田川町	(17) 美浜町	(18) 日高町	(19) 由良町	(20) 印南町
(21) みなべ町	(22) 日高川町	(23) 白浜町	(24) 上富田町	(25) すさみ町
(26) 那智勝浦町	(27) 太地町	(28) 古座川町	(29) 北山村	(30) 串本町

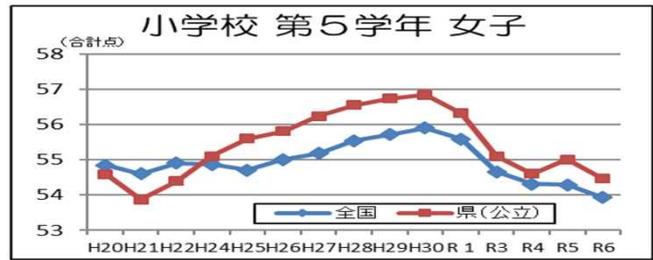
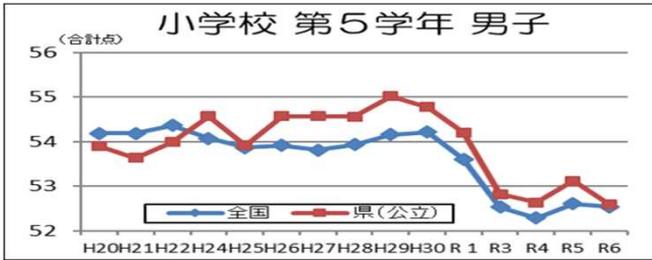
問 29 現在一緒に住んでいるご家族全員に○をつけてください。

(1) 父	(2) 母	(3) 配偶者	(4) 子供 (人)
(5) 祖父	(6) 祖母	(7) 兄弟姉妹 (人)	
(8) 孫 (人)	(9) 1人暮らし	(10) その他 (人)	

以上で、すべての質問が終了です。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

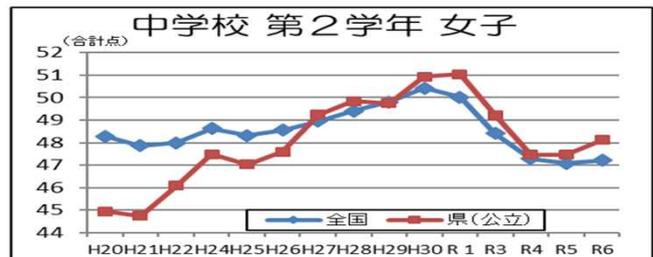
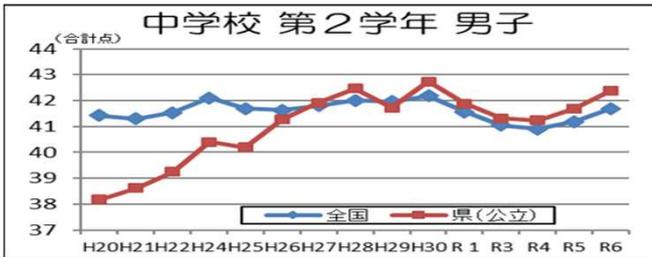
お手数ですが、この調査票は、ご記入漏れのないようご確認の上、同封の「返信用封筒」に入れて
令和6年10月31日(木)までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果等について



小学校 5年 男子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	54.19	53.90	-0.29
H21	54.19	53.63	-0.56
H22	54.36	53.99	-0.37
H24	54.07	54.57	+0.50
H25	53.87	53.91	+0.04
H26	53.91	54.57	+0.66
H27	53.81	54.57	+0.76
H28	53.93	54.56	+0.63
H29	54.16	55.02	+0.86
H30	54.21	54.78	+0.57
R 1	53.61	54.20	+0.59
R3	52.53	52.82	+0.29
R4	52.29	52.63	+0.34
R5	52.60	53.12	+0.52
R6	52.54	52.59	+0.05

小学校 5年 女子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	54.85	54.59	-0.26
H21	54.60	53.87	-0.73
H22	54.91	54.39	-0.52
H24	54.87	55.10	+0.23
H25	54.71	55.60	+0.89
H26	55.01	55.81	+0.80
H27	55.19	56.24	+1.05
H28	55.54	56.56	+1.02
H29	55.72	56.74	+1.02
H30	55.90	56.84	+0.94
R 1	55.59	56.32	+0.73
R3	54.66	55.10	+0.34
R4	54.32	54.61	+0.29
R5	54.29	55.01	+0.72
R6	53.93	54.47	+0.54



中学校 2年 男子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	41.42	38.17	-3.25
H21	41.30	38.61	-2.69
H22	41.54	39.25	-2.29
H24	42.11	40.40	-1.71
H25	41.69	40.19	-1.50
H26	41.63	41.27	-0.36
H27	41.80	41.92	+0.12
H28	42.00	42.47	+0.47
H29	41.96	41.72	-0.24
H30	42.18	42.74	+0.56
R 1	41.56	41.88	+0.32
R3	41.05	41.32	+0.27
R4	40.90	41.23	+0.33
R5	41.18	41.70	+0.52
R6	41.69	42.38	+0.69

中学校 2年 女子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	48.29	44.94	-3.35
H21	47.87	44.74	-3.13
H22	47.99	46.08	-1.91
H24	48.62	47.49	-1.13
H25	48.31	47.03	-1.28
H26	48.55	47.60	-0.95
H27	48.96	49.24	+0.28
H28	49.41	49.84	+0.43
H29	49.80	49.75	-0.05
H30	50.43	50.93	+0.50
R 1	50.03	51.04	+1.01
R3	48.41	49.23	+0.82
R4	47.28	47.47	+0.19
R5	47.08	47.46	+0.38
R6	47.22	48.11	+0.89

☆課題と今後の取組

- 運動する子とそうでない子の二極化
- 小学生の体力低下
- 小学生…柔軟性・スピード・瞬発力
中学生…全身持久力・スピード・瞬発力

※平成23年度は東日本大震災のため中止
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

1. 各市町村・学校の「体力アッププラン」による着実な実践と検証を促進
2. 各市町村教育委員会を訪問し、課題解決への効果的な取組指導

☆新たな指標として検討

指標	基準値 (2022年度)	2023年度 実績値	2024年度 実績値	目標値 (2027年度)
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体育の授業が楽しい・やや楽しいと回答した割合（小学校5年生）	男95.1% 女90.3%	男95.6% 女91.4%	男95.6% 女91.7%	男96%以上 女95%以上
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、保健体育の授業が楽しい・やや楽しいと回答した割合（中学校2年生）	男92.1% 女85.8%	男90.5% 女84.1%	男92.2% 女85.0%	男95%以上 女90%以上
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点（小学校5年生）の本県平均値と全国平均値との差	男+0.34点 女+0.29点	男+0.52点 女+0.72点	男+0.05点 女+0.54点	男+0.8点以上 女+1.3点以上
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点（中学校2年生）の本県平均値と全国平均値との差	男+0.33点 女+0.19点	男+0.52点 女+0.38点	男+0.69点 女+0.89点	男女とも +1.0点以上



「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」
 一駆け上がれ夢の舞台へ 燃え上れ若人の魂一

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、北海道、福島県、和歌山県で開催

- 8位以内の入賞・・・・・・・・・・11競技 32種目（令和5年度…14競技 36種目）
- 8位以内に入賞した学校数・・・13校（令和5年度…19校）
- トピックス
 - * 和歌山商業相撲部63年ぶり団体優勝

【団体の部】

順位	競技	種目	学校名	備考（記録等）
1位	相撲	団体	和歌山商業	
	カヌー	(男子)カナディアンフォア(200m)	神島高校	38秒519
2位	カヌー	(男子)カナディアンフォア(500m)	神島高校	1分52秒180
4位	少林寺拳法	(男子)団体演武	神島高校	
5位	バレーボール	(男子)	開智高校	
	相撲	団体	箕島高校	
	ソフトテニス	(女子)	和歌山信愛	

【個人の部】

順位	競技	種目	学校名	学年	氏名	備考（記録等）
1位	陸上競技	(男子)やり投	海南高校	3	前山 奏	65m83
	相撲	個人	和歌山商業	3	西出 大毅	
2位	ローイング	(女子)ダブルスカル	和歌山北	2	吉村 美紅	4分1秒56
				3	谷口 悠夏	
3位	陸上競技	(男子)砲丸投	紀央館高校	3	永江 翔太朗	16m78
	陸上競技	(男子)円盤投	紀央館高校	3	永江 翔太朗	47m43
	相撲	個人	箕島高校	2	麻田 遥人	
	レスリング	(男子)125kg級	和歌山北	3	松本 晃大	
	ウエイトリフティング	(女子)76kg級スナッチ	和歌山工業	3	坂本 桃果	68
	カヌー	(男子)カナディアンシングル(200m)	神島高校	3	河野 俐久	44秒586
	カヌー	(男子)カナディアンシングル(500m)	神島高校	3	河野 俐久	2分7秒169
4位	ウエイトリフティング	(女子)76kg級トータル	和歌山工業	3	坂本 桃果	148
				3	谷口 萌奈	
5位	相撲	個人	和歌山商業	3	山本 十蔵	
	相撲	個人100kg級	和歌山商業	2	花田 龍信	
	柔道	(男子)60kg級	初芝橋本	2	橋間 心暖	
	レスリング	(男子)80kg級	和歌山北	3	中村 圭佑	
	ボクシング	フライ級	和歌山工業	3	吉田 惇誠	
	ウエイトリフティング	(女子)76kg級クリーン&ジャーク	和歌山工業	3	坂本 桃果	80
6位	ローイング	(女子)シングルスカル	桐蔭高校	3	栗山 仁渚	4分38秒51
7位	陸上競技	(男子)ハンマー投	和歌山商業	3	加藤 希歩	58m83
	カヌー	(男子)カナディアンペア(200m)	神島高校	3	寒川 峻輔	44秒776
				3	中西 駿	
	少林寺拳法	(男子)組演武	神島高校	3	平野 悠伸	
3				東田 侑也		
8位	陸上競技	(女子)ハンマー投	和歌山商業	3	久木 志音	48m35
	ウエイトリフティング	(男子)89kg級スナッチ	紀北農芸	2	寺田 雄誠	108
	少林寺拳法	(女子)単独演武	田辺高校	3	坂本 結彩	

令和6年度全国高等学校総合体育大会 ヨット競技大会【報告】

開催期日 令和6年8月12日（土）～16日（水）

開催場所 和歌山セーリングセンター（和歌浦湾）

参加者 大会出場校 男子：51校 女子：36校 計：70校
(重複校は1校として算出)

選手 男子：209名 女子：127名 計：336名
監督・コーチ：71名

競技結果

男子コンバインド

- 1位 霞ヶ浦（茨城）
- 2位 慶應義塾（神奈川）
- 3位 清風（大阪）
- 10位 和歌山工業（和歌山）

女子コンバインド

- 1位 光（山口）
- 2位 磯辺（千葉）
- 3位 半田（愛知）
- 32位 星林（和歌山）

男子420級

- 1位 霞ヶ浦（茨城）
- 2位 清風（大阪）
- 3位 光（山口）
- 13位 和歌山工業（和歌山）

女子420級

- 1位 境（鳥取）
- 2位 霞ヶ浦（茨城）
- 3位 光（山口）
- 28位 星林（和歌山）

男子レーザーラジアル級

- 1位 鎌倉学園（神奈川）
- 2位 高松第一（香川）
- 3位 暁星（東京）
- 27位 和歌山工業（和歌山）

女子レーザーラジアル級

- 1位 山手学院（神奈川）
- 2位 霞ヶ浦（茨城）
- 3位 西脇（兵庫）

観客 約900名

競技の様子



(提供：P & P 浜松)

インターハイヨット競技大会

令和16年まで和歌山セーリングセンターで固定開催

【参考】全国高等学校総合体育大会（インターハイ）について

開催形態：平成23年度（北東北ブロック）からブロック開催（輪番制）

開催時期：7月下旬～8月下旬

実施競技：30競技

※ 今後の開催ブロック

令和7年度：中国

令和8年度：近畿

令和9年度：南関東

1. 県直接実施の実証事業におけるR6 県立中学校での取組

県立向陽中学校 陸上競技部（5名：男子2名 女子3名）

休日の活動を紀の国アスリートクラブ（紀三井寺陸上競技場他）で行う
 9月19日保護者説明会 10月19日体験会 11月～取組開始
 会費：月2,000円（半年払い）

現状：競技志向の強い生徒が1名いるが、その1名もほとんど参加できていない。
 その他の生徒は平日の学校部活動にのみ参加している。



県立古佐田丘中学校 男子ソフトテニス部（10名）
 女子ソフトテニス部（18名）

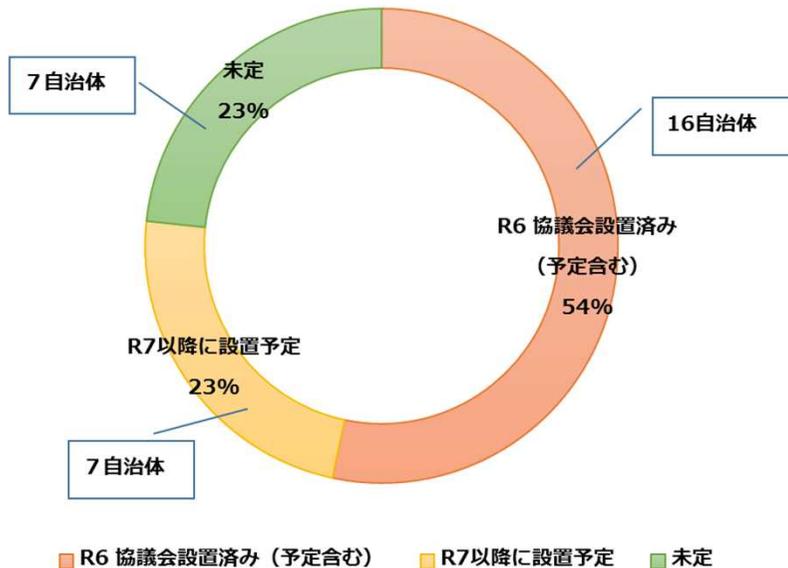


休日の活動を橋本ジュニアソフトテニスクラブ（学文路スポーツパーク）及び九度山ジュニアソフトテニスクラブ（九度山文化スポーツセンター）で行う
 9月17日保護者説明会 10月27日11月2日体験会 11月～取組開始
 会費：月1,000円
 現状：女子から16名、男子から5名が九度山ジュニアに参加申込、男子から4名が橋本ジュニアに参加申込をしている。女子2名と男子1名はどちらにも参加申込をしなかった。天候やスケジュールの関係でクラブと生徒（保護者）との関係づくりに時間がかかり、連絡体制などの課題も学校を通じて連絡があった。

2. 地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）県内取組市町について

R6	
かつらぎ町	地域移行に関する推進協議会を中心に町内の各種団体と連携し、妙寺中学校、笠田中学校においてバレーボール部、陸上競技部、卓球部等で地域の指導者の活用による地域連携から、地域展開を目指す取組を実施。
湯浅町	湯浅中学校の剣道部、バスケットボール部、軟式野球部等の休日の活動を地域クラブ「ASLEAD有田」に展開する取組を実施。隣接する広川町の耐久中学校とも連携し、生徒の活動の充実を目指している。
有田市	有和中学校の柔道部、軟式野球部、ホッケー部等で休日の活動について地域展開を目指した取り組みを実施。柔道部、軟式野球部については学校部活動との併用による実施、ホッケー部については地域クラブへの展開を行っている。
和歌山市	市内中学校の軟式野球部の地域展開を目指した取組を実施。既存の選抜チームを地域クラブ化することで受け皿団体を作り、生徒の活動の充実を目指している。
紀美野町	野上中学校バスケットボール部において、休日の活動について地域展開を実施。地域の指導者の協力を得ながら、生徒の活動の充実を目指している。今後の町内の学校統合も見据えたスケジューリングについても検討している。

3. 和歌山県内市町村における協議会等の設置状況（2025.2時点 県教育支援課調べ）



4. 休日の活動における地域移行に着手している市町村立中学校運動部

有田市	有和中学校	ホッケー部
紀美野町	野上中学校	バスケットボール部
湯浅町	湯浅中学校	剣道部、バスケットボール部、軟式野球部
広川町	耐久中学校	剣道部、バスケットボール部、軟式野球部
上富田町	上富田中学校	バドミントン部、水泳部、柔道部、軟式野球部

パリ2024オリンピック・パラリンピック本県出場者の結果について

資料9

	氏名	競技名	種目等	本県との関係	所属	結果
1	みなみで たい しん 南出 大伸	水泳	マラソンスイミング	海南市出身 海南高校卒	株式会社木下グループ	15位
2	あずま せら 東 晟良	フェンシング	女子フルーレ (団体・個人)	和歌山市出身 和歌山北高校卒	共同カイトック株式会社	個人：2回戦敗退 団体：3位 (銅メダル獲得、フェンシング女子初)
3	よそずみ さくら 四十住 さくら	スケートボード	女子パーク	岩出市出身 伊都中央高校卒	第一生命保険株式会社	10位
4	よしだ しゅいち 吉田 守一	ハンドボール	男子	紀の川市出身 那賀高校卒	HBC Nantes (フランスリーグ)	11位
5	いごま ともき 生馬 知季	パラ陸上	・男子100メートル (車いすT54) ・ユニバーサルリレー	有田市出身 海南高校卒	株式会社グロップサンセリテ	100m：10位 ユニバーサルリレー：4位
6	きただ ちひろ 北田 千尋	車いす バスケットボール	女子	橋本市出身	LINEヤフー株式会社 カクテル	7位
7	くぼき かずしげ 窪木 一茂	自転車	トラック ・チームパーシュート ・マディソン ・オムニアム	2012～2015 和歌山県庁にて勤務	チームブリジストン サイクリング JPCU福島	チームパーシュート：10位 マディソン：6位 オムニアム：6位
8	たなか みさき 田中 美紗樹	セーリング	49erFX級	2015紀の国 わかやま国体 出場(高3)	株式会社豊田自動織機	17位

- 1～4 本県出身選手でオリンピック出場
 5～6 本県出身選手でパラリンピック出場
 7～8 本県ゆかりの選手でオリンピック出場

第78回国民スポーツ大会 本県選手団の成績一覧表

1 総合成績

令和6年10月15日 終了時点

		男女総合成績（天皇杯得点）	女子総合成績（皇后杯得点）
競技得点	冬季大会	0.0点	0.0点
	会期前	59.5点	21.0点
	本大会	206.5点	67.5点
	合計	266.0点	88.5点
参加得点		390.0点	340.0点
得点合計		656.0点	428.5点
総合順位		47位	44位

2 入賞成績（18競技 27種別 49種目）

会期前1回目実施競技

競技	種別	種目	氏名	所属	順位	得点	小計
水泳 (オープンウォーター タースイミング)	男子	—	みなみで たいしん 南出 大伸	木下グループ	1位	8.0点	22.0点
	少年女子A	100m 自由形	えのもと ゆづき 榎本 裕月	粉河高等学校	2位	7.0点	
水泳 (競泳)		少年女子A	50m 自由形	えのもと ゆづき 榎本 裕月	粉河高等学校	2位	7.0点
バレーボール (ビーチバレー ボール)	少年男子	—	たなか ひゆう 田中 陽悠	和歌山北高等学校	7位	4.5点	4.5点
			はなじり あさひ 花尻 朝輝	和歌山北高等学校			
ローイング	成年男子	ダブルスカル	あおき だいすけ 青木 大典	大阪公立大学	8位	3.0点	3.0点
			たかぎ いっぽ 高木 一歩	名古屋大学			

会期前2回目実施競技

競技	種別	種目	氏名	所属	順位	得点	小計
ライフル射撃	成年女子	50mライフル女子 伏射60発競技 (R60PR)	まちだ りこ 町田 莉子	大日本印刷(株)	3位	6.0点	16.0点
		50mライフル女子 三姿勢競技 (R3P)	まちだ りこ 町田 莉子	大日本印刷(株)	8位	1.0点	
	成年男子	50mライフル男子 立射40発競技 (FR40)	まちだ けんたろう 町田 健太郎	(株) 鴻池組	6位	3.0点	
		50mライフル男子 三姿勢競技 (FR3P)	まちだ けんたろう 町田 健太郎	(株) 鴻池組	7位	2.0点	
		10mエア・ピストル 男子60発競技 (AP60)	みやわき まさと 宮脇 正人	大塚歯科医院	5位	4.0点	
クレー射撃 (トラップ)	成年	団体	あき かずひと 安藝 和仁	(株) 和歌山衛研	6位	9.0点	9.0点
			よしかわ つとむ 好川 勉	大鵬薬品工業(株) 和歌山営業所			
セーリング	成年男子	国スポウインドサーフィン級	おがわ じゅん 尾川 潤	(株) 島精機製作所	4位	5.0点	5.0点

本会期実施競技

競技	種別	種目	氏名	所属	順位	得点	小計
相撲	少年男子	団体	あさだ はると 麻田 遥人	箕島高等学校	2位	35.0点	35.0点
			にして だいき 西出 大毅	和歌山商業高等学校			
			うすだ てつろう 白田 哲朗	箕島高等学校			
			すぎもと ちとせ 杉本 智斗勢	箕島高等学校			
			やまもと じゅうぞう 山本 十蔵	和歌山商業高等学校			
レスリング	成年男子	グレコローマン 60kg級	もりした だいすけ 森下 大輔	日本体育大学	3位	5.5点	28.0点
		フリースタイル 74kg級	みわ ゆうと 三輪 優翔	総合警備保障(株)	5位	2.5点	
		フリースタイル 86kg級	よしだ りゅうき 吉田 隆起	自衛隊体育学校	3位	5.5点	
		フリースタイル 97kg級	うちだ たかと 内田 貴斗	自衛隊体育学校	2位	7.0点	
	少年男子	グレコローマン 51kg級	まつみ りくと 松實 陸斗	和歌山北高等学校	5位	2.5点	
		グレコローマン 92kg級	まつしま こう 松嶋 攻	和歌山北高等学校	5位	2.5点	
		フリースタイル 51kg級	まつみ かいと 松實 海斗	和歌山北高等学校	5位	2.5点	
ウエイト リフティング	成年男子	81kg級 スナッチ	しらくさ りゅうた 白草 竜太	和歌山県庁	6位	3.0点	17.0点
		81kg級 クリーン&ジャーク	しらくさ りゅうた 白草 竜太	和歌山県庁	7位	2.0点	
		+109kg級 スナッチ	おおかわ けん 大川 健人	橋本郵便局	6位	3.0点	
		+109kg級 クリーン&ジャーク	おおかわ けん 大川 健人	橋本郵便局	7位	2.0点	
	少年男子	89kg級 スナッチ	てらだ ゆうせい 寺田 雄誠	紀北農芸高等学校	6位	3.0点	
		102kg級 スナッチ	きちか じおん 木近 仁穂	紀北工業高等学校	7位	2.0点	
		102kg級 クリーン&ジャーク	きちか じおん 木近 仁穂	紀北工業高等学校	7位	2.0点	
自転車	男子A	ケイリン	いしくら りゅうじ 石倉 龍二	スパークル大分	5位	4.0点	4.0点
フェンシング	成年女子	フルーレ	くの ももか 九野 桃佳	和歌山県庁	5位	12.0点	15.0点
			いわもと れいな 岩本 鈴菜	日本大学			
			いなだ りょう 稲田 涼	日本女子体育大学			
		サーブル	くの ももか 九野 桃佳	和歌山県庁	8位	3.0点	
			いわもと れいな 岩本 鈴菜	日本大学			
			いなだ りょう 稲田 涼	日本女子体育大学			

競技	種別	種目	氏名	所属	順位	得点	小計
ボウリング	成年女子	団体戦 (4人チーム戦)	あきと きさ 安里 紗希	Apaman Property (株)	6位	9.0点	9.0点
			やまもと かな 山本 菜那	和歌山県ボウリング連盟			
			やまもと なゆ 山本 菜由	和歌山県教育庁			
			いたくら なちみ 板倉 奈智美	ヒサカプロショップ			
空手道	成年男子	組手個人戦 (中量級)	たにくち あきみち 谷口 暁理	亀龍会	5位	2.5点	2.5点
なぎなた	成年女子	演技	やまうち あや 山内 綾	和歌山北高等学校 (教)	4位	15.0点	15.0点
			すみや かおり 角谷 香織	九度山町教育委員会			
馬術	成年男子	六段障害飛越	ふじたに よしはる 藤谷 喜晴	(株) オークワ	1位	8.0点	8.0点
柔道	成年男子	-	あずましやうよう 東 翔陽	和歌山県警察	5位	12.5点	12.5点
			あおき ゆうじ 青木 優治	和歌山県警察			
			おのうえ しんすけ 尾上 進介	京都刑務所			
			すずき たいよう 鈴木 太陽	天理大学			
			くの いちと 久野 亘虎	皇宮警察			
カヌー (スプリント)	成年男子	カヤックシングル (500m)	みやた ゆうすけ 宮田 悠佑	教育センター学びの丘 (職)	8位	1.0点	29.0点
		カヤックシングル (200m)	みやた ゆうすけ 宮田 悠佑	教育センター学びの丘 (職)	2位	7.0点	
	成年女子	カナディアンシングル (500m)	こばやし みお 小林 実央	自衛隊体育学校	4位	5.0点	
		カナディアンシングル (200m)	こばやし みお 小林 実央	自衛隊体育学校	1位	8.0点	
	少年男子	カナディアンシングル (200m)	こうの りく 河野 俐久	神島高等学校	6位	3.0点	
		カナディアンペア (200m)	そうがわ しゅんすけ 寒川 峻輔	神島高等学校	6位	3.0点	
			なかにし しゅん 中西 駿	神島高等学校			
		カヤックシングル (200m)	かさまつ なおあき 笠松 直顕	田辺高等学校	7位	2.0点	
	陸上	成年男子	三段跳	あらき はじめ 荒木 基	順天堂大学大学院	3位	
成年女子		やり投げ	おさ まひる 長 麻尋	国土館クラブ	7位	2.0点	
		走幅跳	まえにし さくら 前西 咲良	筑波大学	2位	7.0点	
		走高跳	まつもと まりん 松本 万鈴	(株) タカショー	2位	6.5点	
少年男子A		棒高跳	まえなか はやと 前中 颯斗	近畿大学附属和歌山高等学校	7位	2.0点	
		やり投げ	まえやま かなで 前山 奏	海南高等学校	2位	7.0点	
少年男子B		円盤投	きはら れんと 木原 蓮斗	紀央館高等学校	8位	1.0点	

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」和歌山県選手団の競技結果について

会期：令和6年10月26日（土）から28日まで

(個人競技)

競技名	氏名	ふりがな	障害区分	種目名	記録	順位	種目名	記録	順位
陸上競技	久保 直人	くぼ なおと	肢体	スラローム	1分26秒9	4	ピーンバッグ投	4m13cm	4
	坂口 雄紀	さかぐち ゆうき	視覚・聴覚	800m	-	DQ	1500m	8分43秒61	7
	末本 浩信	すえもと ひろのぶ	聴覚	ソフトボール投	21m83cm	8	走幅跳	2m81cm	3
	高田 冬馬	たかだ とうま	知的	1500m	4分33秒49	3	800m	2分12秒65	1
	築地 克彦	つきじ かつひこ	肢体	ジャベリックスロー	20m65cm	1	立幅跳	1m45cm	2
	中屋 武留	なかや たける	知的	200m	23秒52	1	100m	11秒55	2
	萬谷 一夫	まんたに かずお	知的	200m	27秒53	5	100m	13秒03	6
	八畑 優海	やはた ゆうみ	知的	100m	15秒96	5	400m	1分21秒88	5
	高田冬馬・中屋武留・萬谷一夫・八畑優海			4×100mリレー	52秒13	4			
水泳競技	譽田 成吾	こんだ せいご	知的	25mバタフライ	13秒54	4	50m自由形	26秒93	2
	曾輪 貴博	そわ たかひろ	肢体	25m自由形	16秒99	2	50m自由形	35秒65	2
	田村 翔太	たむら しょうた	知的	50m自由形	29秒76	3	50m平泳ぎ	38秒64	5
アーチェリー競技	三木 春乃	みき はるの	肢体	リカーブ30m ダブルラウンド	589点	2			
卓球競技	後 悠太	うしろ ゆうた	聴覚	一般卓球	5点	2			
	岡 高弘	おか たかひろ	精神	一般卓球	2点	3			
	笠谷 結菜	かさたに ゆいな	知的	一般卓球	3点	2			
	咲間 八重子	さくま やえこ	肢体	一般卓球	3点	2			
フライング ディスク競技	浅香 一樹	あさか いつき	知的	アキュラシー ディス リート・ファイブ	5投	6	ディスタンスメン ズ・スタンディング	29m20cm	5
	井本 博文	いもと ひろふみ	聴覚	アキュラシー ディス リート・ファイブ	6投	8	ディスタンスメン ズ・スタンディング	35m60cm	4
	長尾 武彦	ながお たけひこ	肢体	アキュラシー ディス リート・ファイブ	9投	2	ディスタンスメン ズ・シティング	24m42cm	1
	松原 久起	まつばら ひさき	知的	アキュラシー ディス リート・ファイブ	8投	4	ディスタンスメン ズ・スタンディング	47m28cm	2
ポッチャ 競技	釜中 聖樹	かまなか とき	肢体	ポッチャ競技	1点	3			
	竹内 悠人	たけうち ゆうと	肢体						
ボウリング 競技	小田 奈穂子	おだ なおこ	知的	ボウリング競技	461	4			
	千野 雅史	ちの まさし	知的	ボウリング競技	619	3			

(団体競技)

バレーボール (知的障害の部・男子)	2位	決勝戦 × (1 - 2) 佐賀県
フットソフトボール	3位	3位決定戦 ○ (9 - 2) 福井県

メダル獲得数

	金	銀	銅
陸上競技	3	2	2
水泳	0	3	1
アーチェリー	0	1	0
卓球	0	3	1
フライングディスク	1	2	0
ボウリング	0	0	1
ポッチャ	0	0	1
バレーボール	0	1	0
フットソフトボール	0	0	1
計	4	12	7

第18回全国障害者スポーツ大会
和歌山県選手団メダル獲得数
金メダル 13個
銀メダル 9個
銅メダル 7個 計29個

第22回全国障害者スポーツ大会
和歌山県選手団メダル獲得数
金メダル 11個
銀メダル 9個
銅メダル 5個 計25個

特別全国障害者スポーツ大会
和歌山県選手団メダル獲得数
金メダル 8個
銀メダル 10個
銅メダル 10個 計28個

※第19回大会は荒天により、第20回大会及び第21回大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため全競技中止